

南城市 スポーツ 推進計画



令和3年5月
南城市教育委員会

目次

序章 計画策定の趣旨

1. 計画の背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画期間	1

第1章 スポーツ推進に関する上位関連計画

1. 上位計画の整理	3
2. 関連計画の整理	5

第2章 スポーツを取り巻く現状と課題

1. 市民の運動・スポーツ活動の現状	7
2. 地域におけるスポーツ活動の現状	17
3. 指導者・支援者の現状	19
4. スポーツ施設の現状	20
5. 南城市が行っている運動やスポーツに関連する取り組み	24

第3章 スポーツ推進の基本的な方向性

1. スポーツ推進の理念	27
2. 基本方針	27
3. 施策の体系	28

第4章 推進のための施策

1. 市民のライフステージに合わせた運動・スポーツの推進	31
2. 運動・スポーツによる地域活性化・まちづくりの推進	39
3. 運動・スポーツ推進のための環境整備	42

第5章 計画の推進に向けて

1. 計画の推進に向けて	49
2. 進捗管理	53

資料編

1. 用語集	55
2. 市民アンケート	57
3. 児童・生徒アンケート	83
4. 計画策定の体制と経過	99
5. 南城市スポーツ推進計画諮問書・答申書	101



序章 計画策定の趣旨

1. 計画の背景と目的

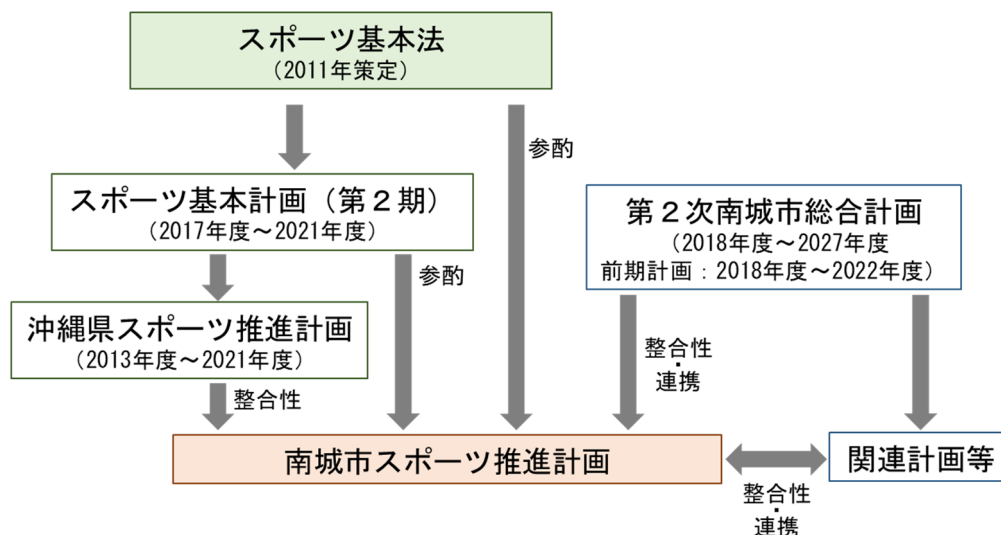
国の第2期スポーツ基本計画では「全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と、きずなの強い世界を創る」ことを基本方針とし、スポーツで人生や社会を変え、世界とつながり未来を創ることの実現のため取り組みが行われています。

本市では沖縄県を代表するハーフマラソン大会である尚巴志ハーフマラソン in 南城市大会のほか市民が気軽に参加できるウォーキングイベント等の開催、高齢者向けの筋力トレーニングプログラムの提供、プロアスリートチームのキャンプ等様々な取り組みが実施されています。また、地域で多世代が様々なスポーツを行うことができる総合型地域スポーツクラブの存在やサッカー協会の設立など市民を中心としたスポーツ活動も盛んに行われています。

このような現状を踏まえ、市民それぞれのライフステージに応じた生涯スポーツの定着とニーズに応じたスポーツ活動の推進により、健康で豊かな充実した暮らしの実現を目指すために『南城市スポーツ推進計画』を策定します。

2. 計画の位置づけ

本計画は、国のスポーツ基本法における地方公共団体の責務及び地方スポーツ推進計画に基づくスポーツ推進を図るための計画です。また、第2次南城市総合計画及び関連計画との整合性や連携を図りつつ、南城市におけるスポーツ推進のための具体的な取り組みについて方向性を示す計画です。



3. 計画期間

本計画の期間は令和3年度から令和12年度までの10年間とし、進捗状況や社会情勢の変化に対応するため必要に応じて見直しを行うものとしします。



第1章 スポーツ推進に関する上位関連計画

1. 上位計画の整理

(1) スポーツ基本計画（第2期）（2017年策定 スポーツ庁）

実施期間：2017年度～2021年度

スポーツ基本法に基づいた計画で、「一億総スポーツ社会」の実現のために総合的かつ計画的な推進を図るため以下の方針を掲げています。

■中長期的なスポーツ政策の基本方針

～スポーツが変わる。未来を創る。Enjoy Sports、Enjoy Life～

1 スポーツで「人生」が変わる！

スポーツは「みんなのもの」であり、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで全ての人々がスポーツに関わっていく。

2 スポーツで「社会」を変える！

スポーツで社会の課題解決に貢献し、前向きで活力に満ちた日本を創る。

3 スポーツで「世界」とつながる！

スポーツで世界に発信・協力し、世界の絆づくりに我が国が貢献する。

4 スポーツで「未来」を創る！

スポーツで人々がつながる国民運動を展開し、(省略)「一億総スポーツ社会」を実現する。

■今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

- 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実
- 2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
- 3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備
- 4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上



(2) 沖縄県スポーツ推進計画【改定計画】(2018年改訂 沖縄県スポーツ振興課)

実施期間：2013年度～2021年度

沖縄県の特長である地理的・自然的条件とスポーツ資源を有効に活かした「スポーツアイランド沖縄」の形成とともに、国際的な沖縄観光ブランドの確立や世界との交流ネットワークの構築を目指すことを目的に以下の将来像や基本方針を掲げています。

■目指す将来像—スポーツアイランド沖縄の将来イメージとは—

- 将来像1 沖縄らしい自然と歴史伝統、文化を大切にするスポーツアイランド
- 将来像2 心豊かで、安全・安心に暮らせるスポーツアイランド
- 将来像3 希望と活力にあふれる豊かなスポーツアイランド
- 将来像4 世界に開かれた交流と共生のスポーツアイランド
- 将来像5 多様な能力を発揮し、未来を拓くスポーツアイランド

■基本方針

基本施策1 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの体力・運動能力の向上 ・ 学校体育の充実 ・ 地域のスポーツ環境の充実
基本施策2 一人ひとりのライフステージに応じたスポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ・ スポーツ・レクリエーション等のイベントの充実 ・ スポーツボランティア活動の推進、スポーツにおける安全の確保
基本施策3 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合型クラブの育成・支援 ・ 地域のスポーツ指導者の育成（スポーツ推進委員等） ・ 地域スポーツ施設の充実、地域スポーツと企業・大学との連携
基本施策4 トップスポーツを目指す競技力の向上に向けたスポーツ環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選手の育成強化及び指導者養成 ・ ジュニアアスリートの発掘・育成 ・ スポーツ医・科学委員会の活用
基本施策5 トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合型クラブ等におけるトップアスリートとの連携・協働の推進 ・ 地域密着型プロスポーツの支援と交流地域スポーツと企業及び大学等との連携
基本施策6 スポーツを活用した地域活性化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ・ツーリズムの推進 ・ スポーツコンベンションの誘致、開催 ・ スポーツアイランド事務局（仮称）の設立
基本施策7 地域のスポーツ資源を活かした特色あるスポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型スポーツチームの支援と交流 ・ 地域の伝統的スポーツの普及 ・ 地理的・自然的特性を活かしたスポーツの推進

2. 関連計画の整理

(1) 第2次南城市総合計画（2018年策定 南城市企画課）

実施期間：2018年度～2027年度（前期計画2018年度～2022年度）

本市の市政運営の基本構想として市のあらゆる計画の最上位に位置付けられている計画で、スポーツ推進に関連する方針が以下のように掲げられています。

■基本計画

基本方針3 暮らしの質が高まる	
基本施策3 暮らしの充実と豊かさ	施策1 医療と健康・福祉の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康に関する意識の醸成と知識の普及、および活動の支援 ・ 高齢者の健康増進と介護予防の充実 ・ 福祉サービスの充実と各種サービスの質的向上 ・ 高齢者、障がい者の生きがいづくり 施策2 体育活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動の習慣をつくり、成果を発揮する機会の提供 ・ 体育活動を行う個人・団体への支援 ・ スポーツに親しむ機会づくりの推進
基本方針5 まちが整う	
基本施策2 公共施設の整備	施策1 公共施設と公園の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設と公園の設備や用具の整備による機能拡充と長寿命化 ・ 公共施設と公園の整備・更新・統廃合に関する検討 ・ 緑地や公園に関する規制緩和を活用した、施設整備等に関する検討 施策2 公共施設と公園の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設と公園の管理、運営に関する指定管理制度導入の推進 ・ 公共施設と公園の管理や活用における市民や事業者の参加に関する検討

(2) 沖縄県教育振興基本計画【後期改訂版】(2017年策定 沖縄県教育委員会)

実施期間：2017年度～2021年度

本県における教育振興のための基本的な計画で、運動やスポーツに関し以下の施策や事業が記載されています。

■主要施策と主な事業

主要な施策	主な事業
2. 自ら学ぶ意欲をはぐくむ学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none">・ 体力づくり推進事業・ 生き生き運動部活動推進事業等
9. スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none">・ 競技力向上対策事業・ 国民体育大会九州ブロック大会開催事業・ 2020東京オリンピック・パラリンピック選手輩出事業・ 体育施設整備事業・ 社会体育施設管理運営事業

(3) 令和2年度南城市の教育施策(2020年策定 南城市教育委員会)

生涯教育・生涯学習の理念のもと南城市総合計画を踏まえ策定された教育目標の中で、市民の運動やスポーツに関連して以下の施策が掲げられています。

■教育施策

7. 体育スポーツの推進

市民の心身の健康・体力の増進を図ると共に各種の競技力の向上を目指して、社会体育・生涯スポーツ・レクリエーションの普及および振興に努める。

(1) 生涯スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none">① スポーツ推進計画の策定② スポーツ推進審議会の開催③ 指導者の育成
(2) 社会体育施設の充実	<ul style="list-style-type: none">① 社会体育施設の維持管理② 社会体育施設の整備、統廃合の検討③ 学校体育施設の開放④ 指定管理の導入
(3) 関係団体の育成支援	<ul style="list-style-type: none">① 南城市体育協会の支援② 南城市スポーツ少年団の支援③ 総合型地域スポーツクラブの育成支援
(4) スポーツイベントの充実	<ul style="list-style-type: none">① 各種スポーツイベントの充実② スポーツ大会の開催③ プロ及びアマチュアスポーツキャンプ等の誘致
(5) スポーツ活動等への支援	<ul style="list-style-type: none">① スポーツ・文化活動等の派遣費補助

第2章 スポーツを取り巻く現状と課題

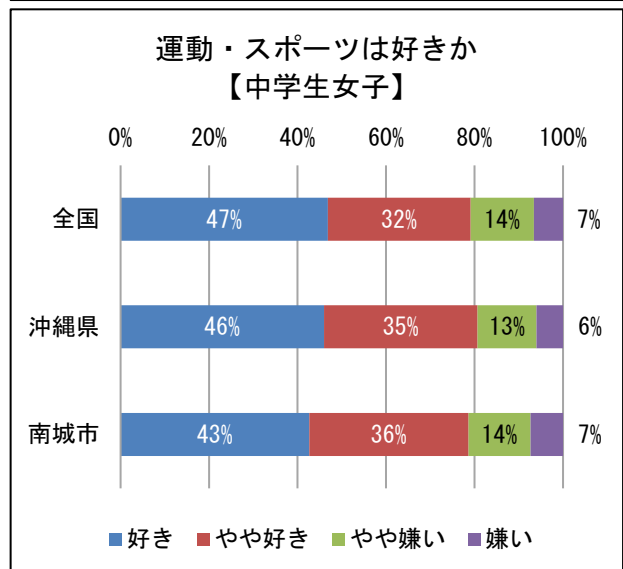
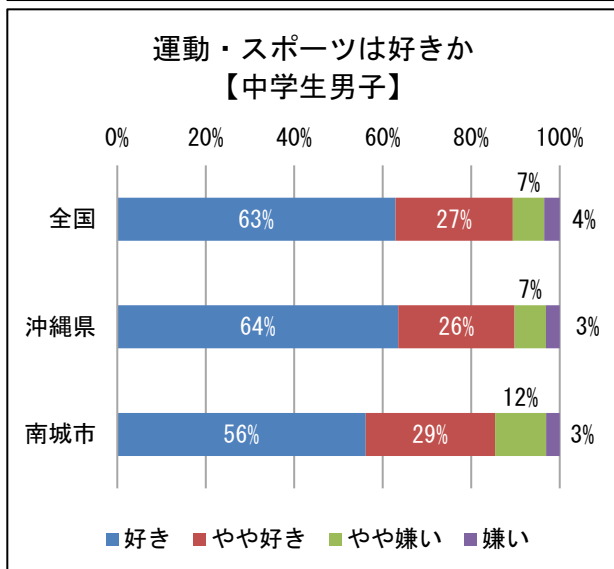
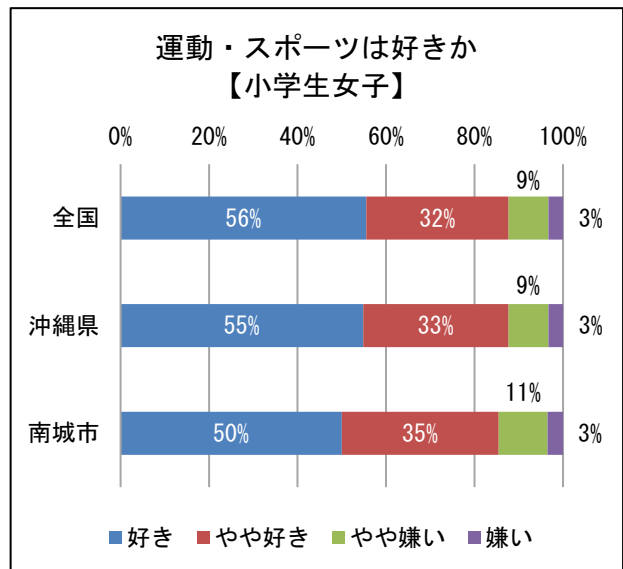
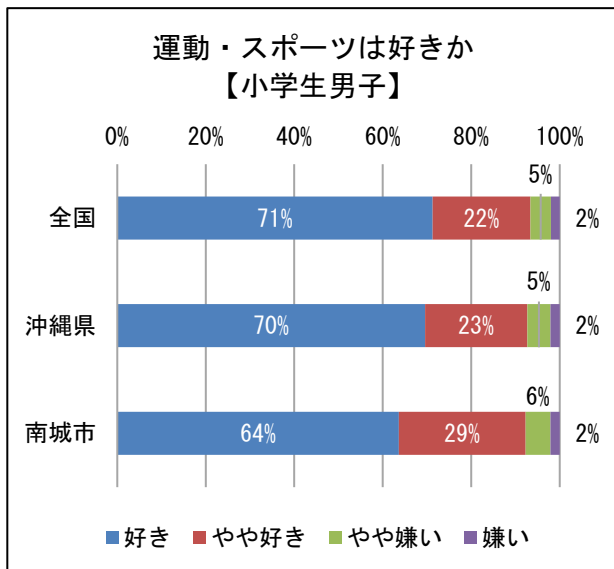
市民および児童・生徒アンケート調査、関係課や関係団体へのヒアリングを基に本市のスポーツ活動に関する現状や課題の整理を行いました。

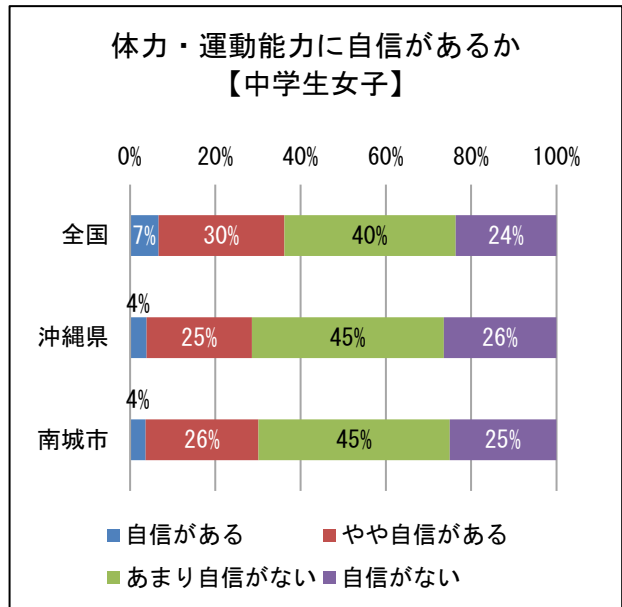
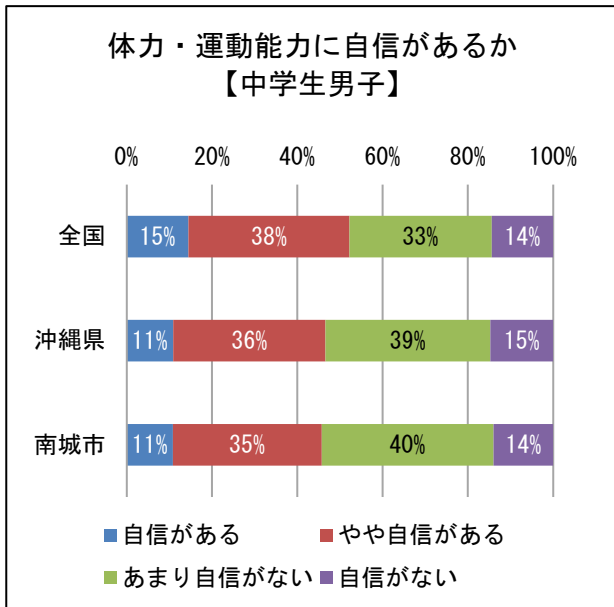
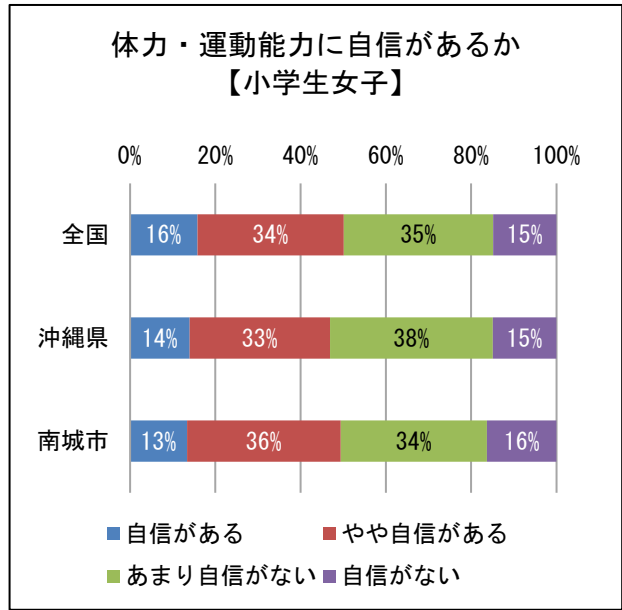
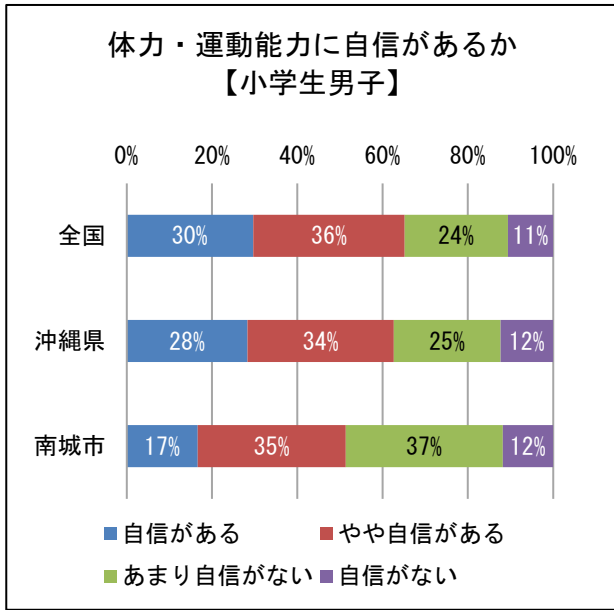
市民および児童・生徒に対するアンケート調査では「県民の体力・スポーツに関する意識調査報告書」、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果と比較し、現状や課題の整理を行いました。

1. 市民の運動・スポーツ活動の現状

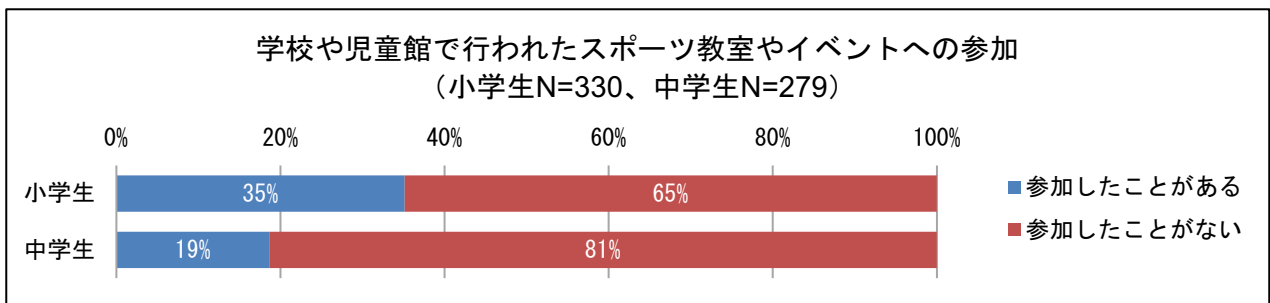
(1) 子どもたちのスポーツ活動について

市内小中学校の小学5年生と中学2年生を対象に実施した児童・生徒アンケート調査において、小中学生とも「運動・スポーツが好き」、「運動・スポーツは大切」、「体力・運動能力に対する自信」、「体育の授業が楽しい」が県全体の結果よりも低い傾向にあります。一方で小学生は約5割、中学生は約8割がスポーツ少年団や部活等でスポーツに参加しています。また、「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると小学生男子の運動部に加入している割合は県と比較して8%高いです。

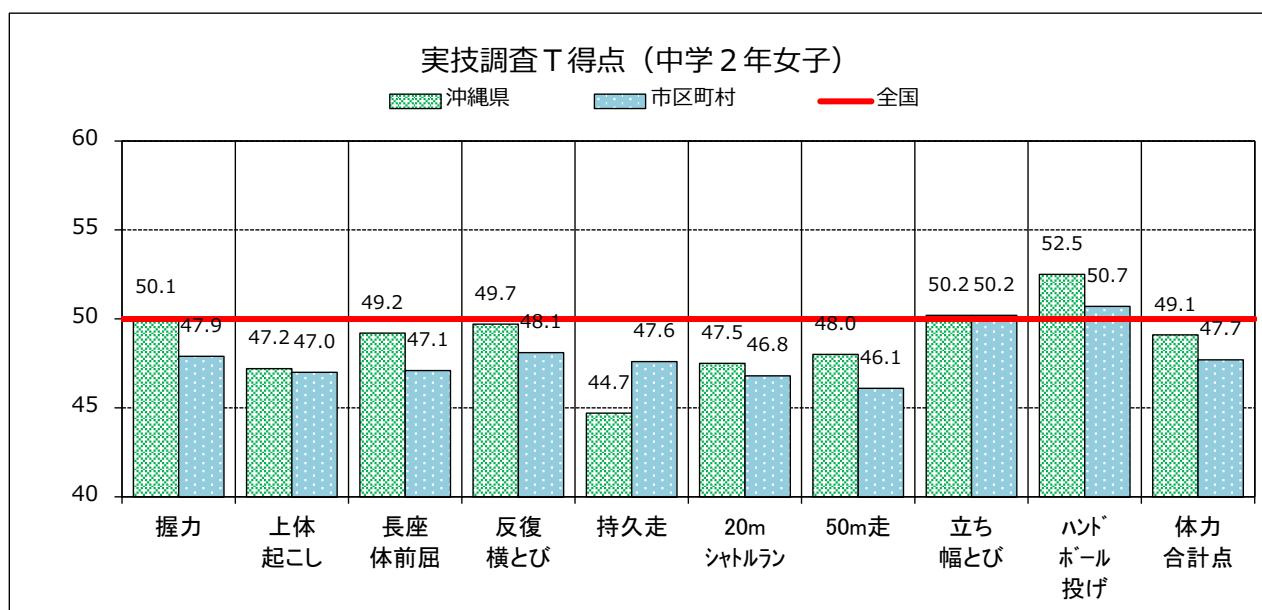
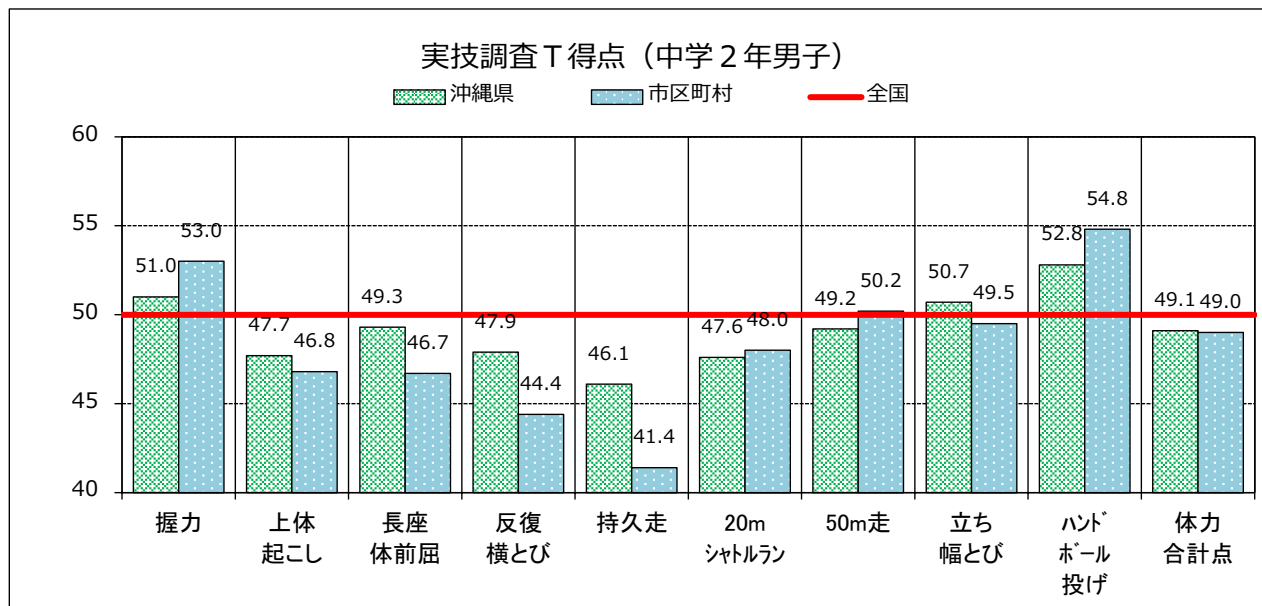




市が主催するスポーツ教室等へ「参加した」と回答した児童・生徒は、新型コロナウイルス感染症防止対策の影響もありごく少数でした。



令和元年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査では、体力合計点において中学生の男女ともに全国よりも下回っています。

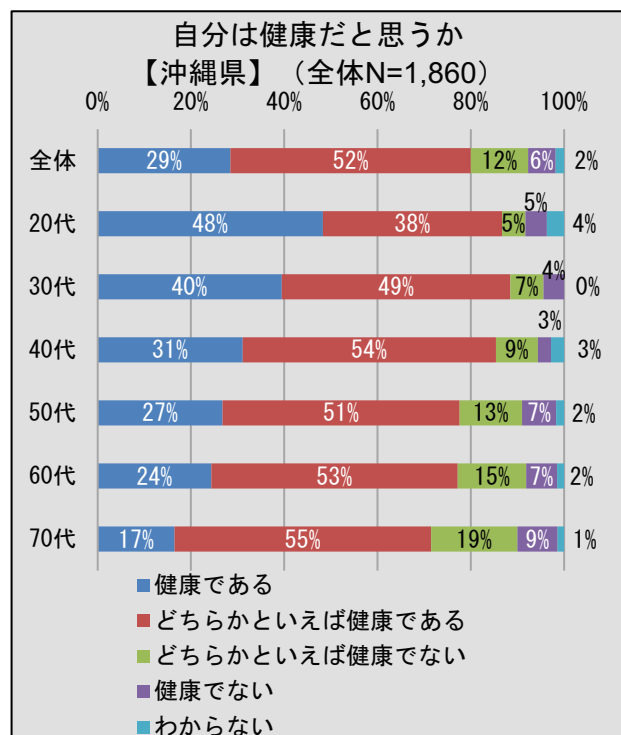
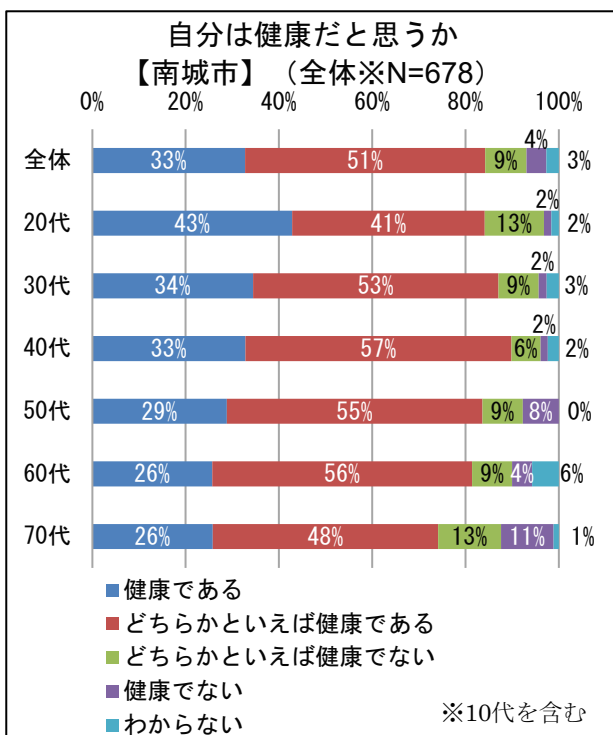
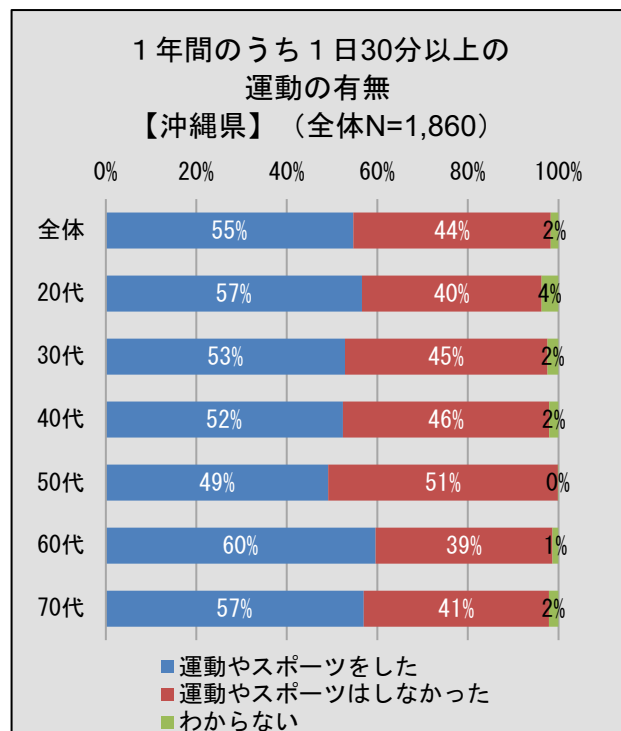
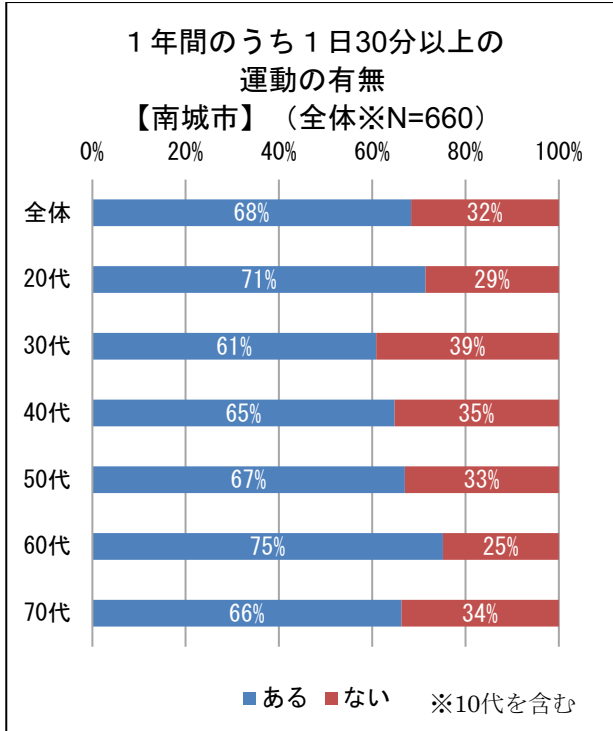


関係課へのヒアリングによると児童とスポーツとの接点は主に学校、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等で、児童館や放課後児童クラブ等では定期的なスポーツのプログラムの提供はほとんど行われていません。

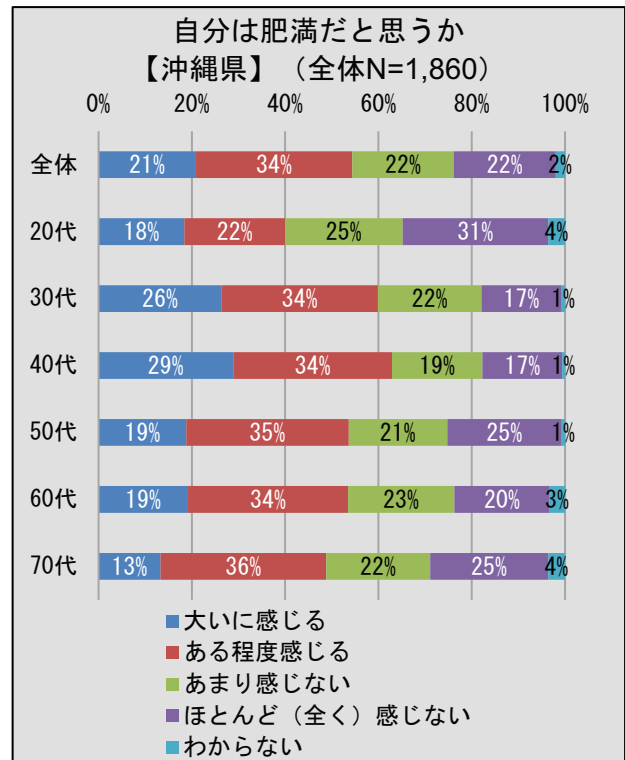
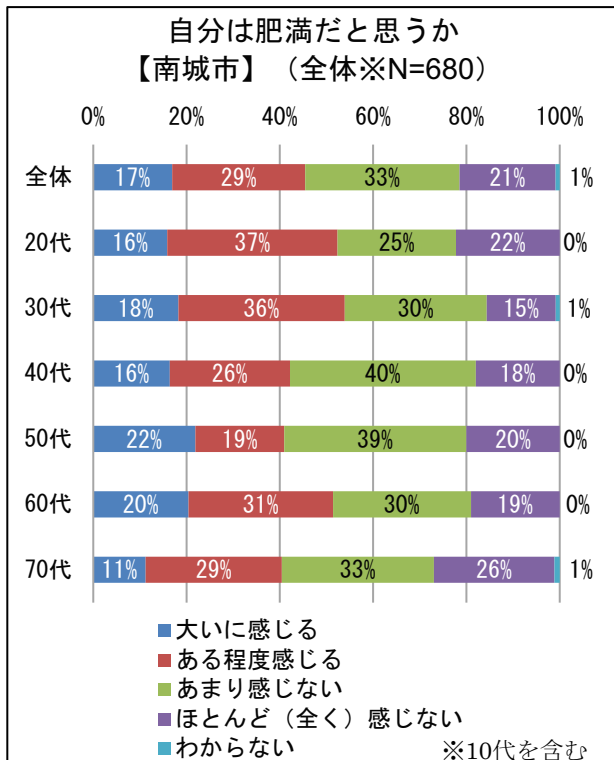
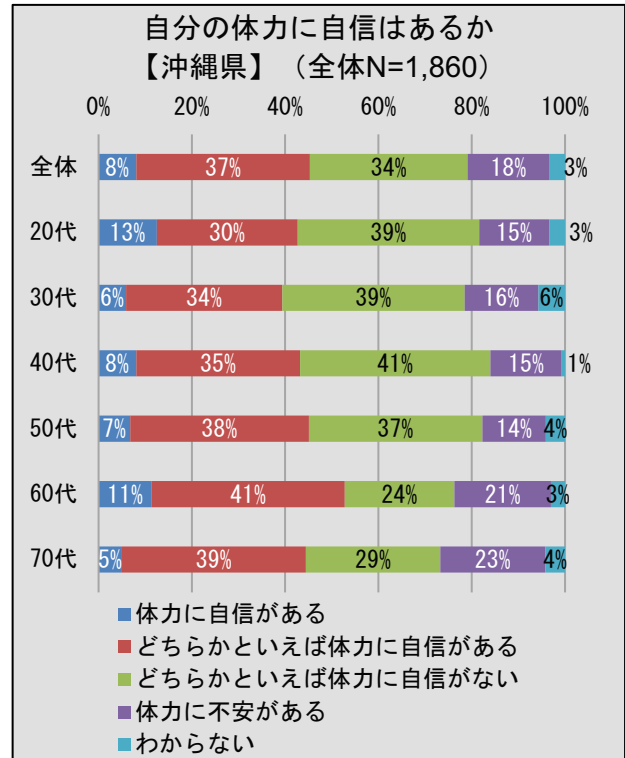
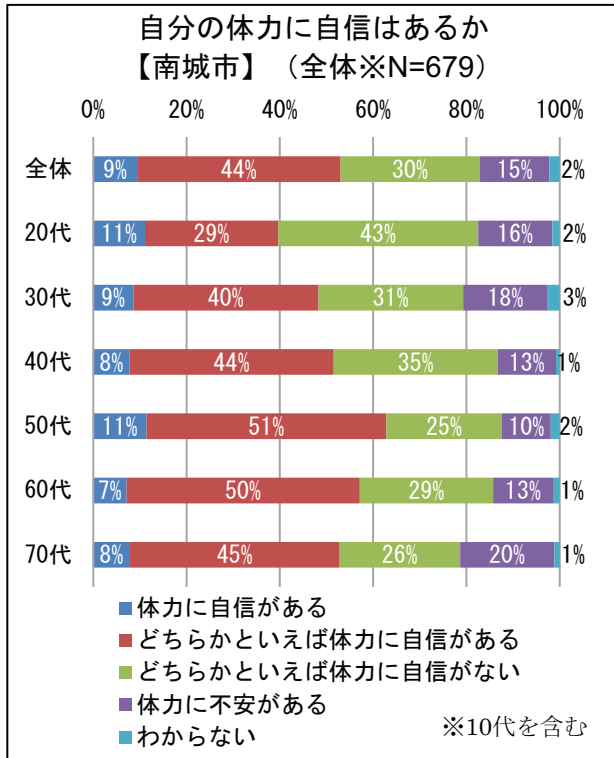
以上の点から、子どもたちのスポーツ活動について、多くのスポーツと接し好きになる機会をつくることや楽しみながら継続できる環境をつくるのが重要です。また、学校や地域のクラブ以外で児童がスポーツと接し得る可能性のある児童館や放課後児童クラブ等では人材の活用や民間事業者との連携等を実施することが必要であると考えられます。

(2) 成人のスポーツ活動について

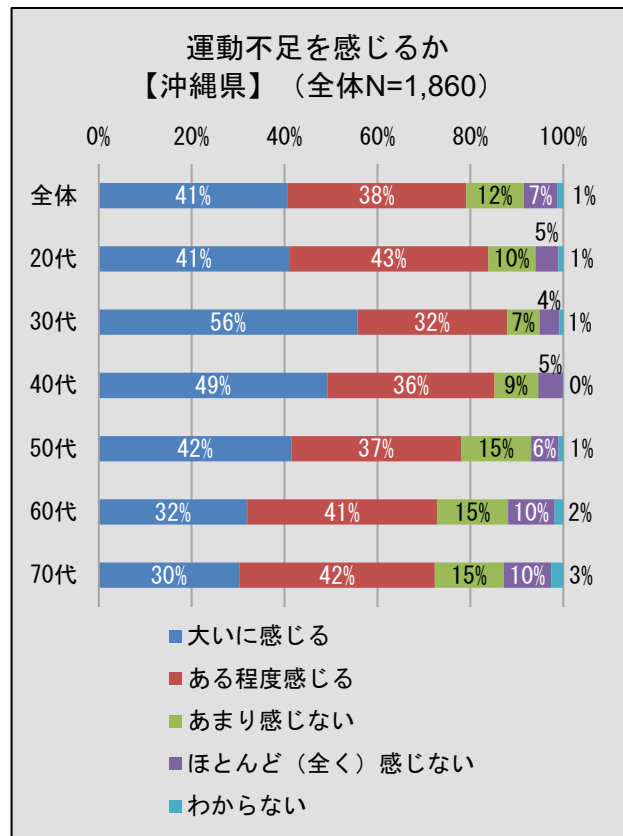
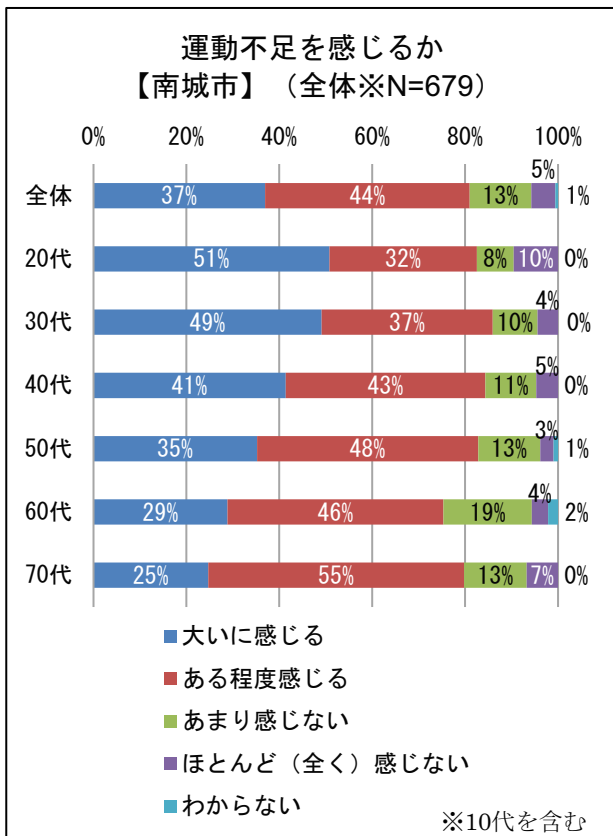
市民アンケート調査と「平成 29 年度の県民の体力・スポーツに関する意識調査」を比較すると、1 年間で 1 日でも 30 分以上の運動をした人の割合は全ての年齢層で県全体を上回っています。しかしながら 30～40 代の実施率が他の年齢層よりも下回っていることから、子育てなどが原因でスポーツを行う時間が十分に取れないことがうかがえます。また、年齢層全体では「健康である」「体力に自信がある」については県全体よりも多いですが、「運動不足と感じる」については県よりもわずかに多い状況となっています。



出典：平成 29 年度の県民の体力・スポーツに関する意識調査



出典：平成29年度の県民の体力・スポーツに関する意識調査



出典：平成 29 年度の県民の体力・スポーツに関する意識調査

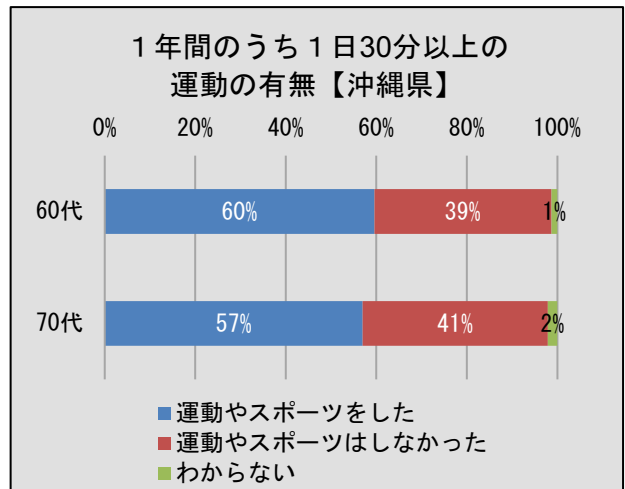
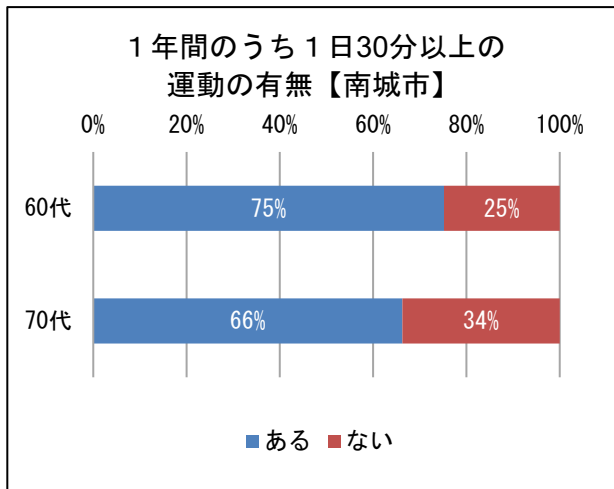
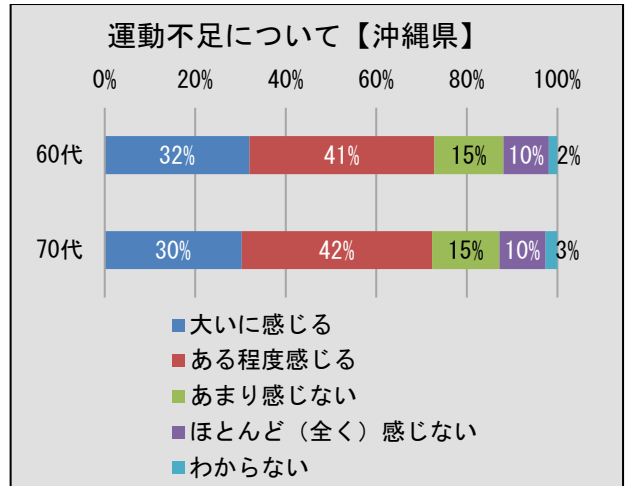
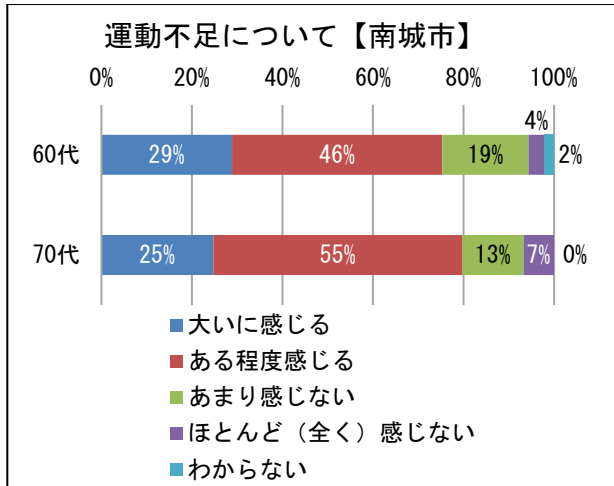
市内で活動するスポーツ団体へのヒアリングによると高校卒業後スポーツから遠ざかってしまうケースが多い傾向にあり、一部の総合型地域スポーツクラブでは参加者の年齢層が高く比較的若い世代の参加が少ないことが課題となっています。

一方、小学校や公共の運動施設を使い定期的にスポーツ活動を行っている団体も多く、地域で子どもから成人までスポーツに参加できる環境や仕組みを目指している総合型地域スポーツクラブもあります。

以上の点から、社会に出てからもスポーツを続けられるように地域や職場等でのスポーツ機会の環境を整え、年齢を重ねても継続でき一生スポーツに親しむ機会を設けられることが重要です。また、子どもと一緒に参加できるスポーツ教室や三世代で参加できるスポーツイベントなど、スポーツに参加しやすい仕組みづくりが必要と考えられます。さらに健康維持や介護予防等の取り組みはスポーツ推進の事業と連携し、より参加者のニーズに対応したプログラムづくりが必要です。

(3) 高齢者のスポーツ活動について

市民アンケート調査によると「健康である」は県と同程度、「体力に自信がある」は県よりもわずかに多く、また、「肥満と感じる」は県と比較して少ない傾向にあります。一方で、60代、70代ともに県と比較して「運動不足と感じる」人が多いです。また、運動状況について60代、70代ともに運動を行っている人の割合は県と比較して高く、本市内の60代と70代を比較すると70代の方が9%運動を行う人の割合が少ない結果となりました。



出典：平成29年度の県民の体力・スポーツに関する意識調査

第2期南城市保健事業実施計画（データヘルス計画）によると若干の改善傾向にありますが依然として1人当たりの医療費が高く財政に影響を及ぼしています。

項目	全体					入院				入院外			
	費用額	増減	伸び率(%)		費用額	増減	伸び率(%)		費用額	増減	伸び率(%)		
			南城市	同規模			南城市	同規模			南城市	同規模	
1 総医療費(円)	H25年度	39億3494万			19億1002万				20億2491万				
	H28年度	39億8239万	4745万	1.21	-0.13	19億7057万	6055万	3.2	0.1	20億1182万	-1309万	-0.65	-0.33
2 一人当たり医療費(円)	H25年度	23,385			11,351				12,034				
	H28年度	24,924	1,539	6.6	8.2	12,333	982	8.7	8.5	12,591	557	4.6	8.0

※医療費については医科のみの費用とする

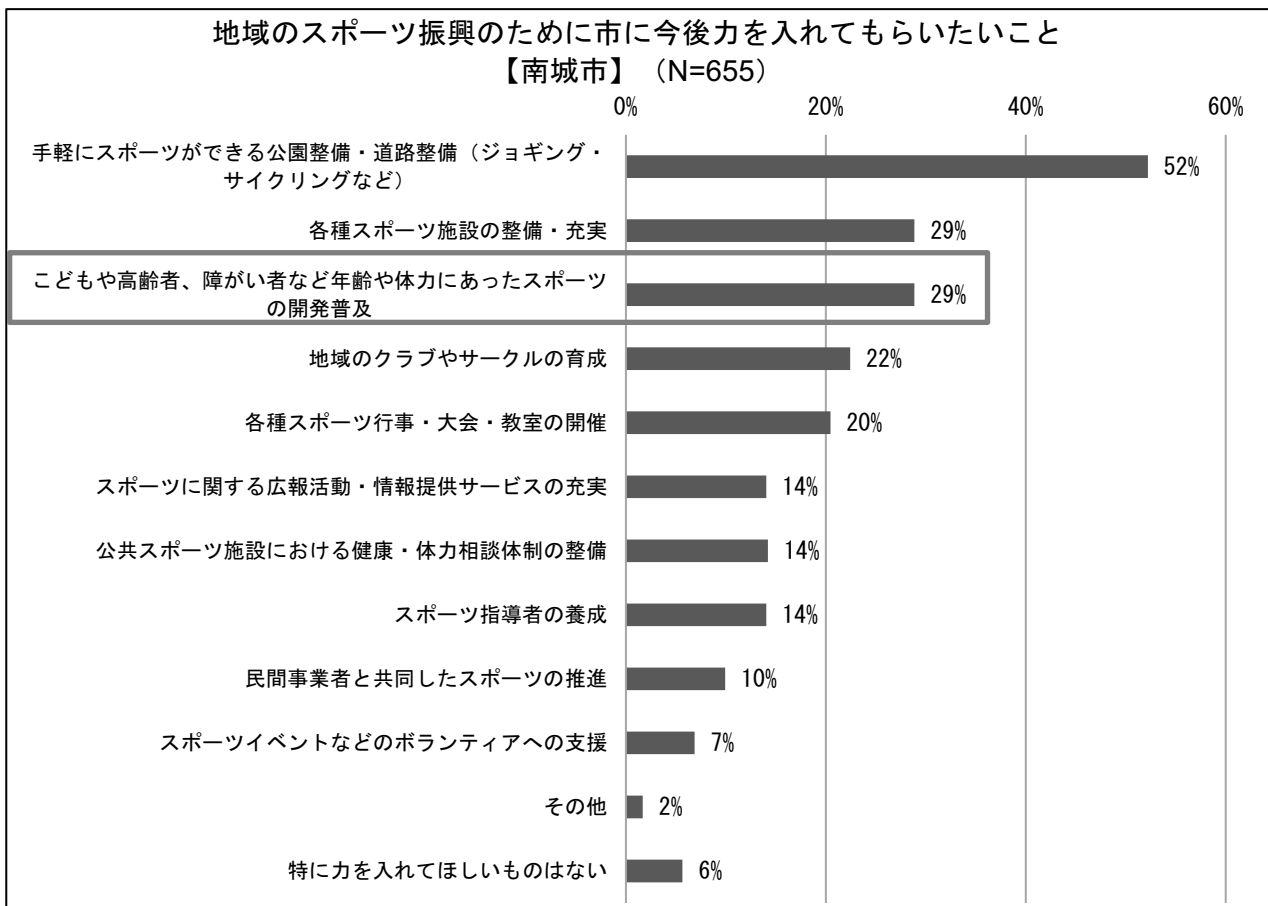
出典：第2期南城市保健事業実施計画（データヘルス計画）

関係課や関連団体へのヒアリングによると、できるだけ若い時期からスポーツに参加することが好ましいですが、がんじゅう教室における男性の参加が少ない状況です。また、一部の施設は老朽化によりがんじゅう教室の開催自体が難しく運営面での改善も指摘されています。さらに、スポーツの取り組みとは連携せず独立した事業として、健康維持、介護予防、生きがいづくりを目的とした事業がそれぞれ実施されています。

以上の点から三世代を対象としたイベントや現在の字別対抗の運動会など高齢者が参加しやすいプログラムや高齢者の健康維持のための取り組みとスポーツを連携したプログラムの開発、体制の整備が必要です。

(4) 障がい者のスポーツ活動について

市民アンケート調査では、今後力を入れるべき取り組みとして、「子どもや高齢者、障がい者など年齢や体力にあったスポーツの開発普及」が2位（「各種スポーツ施設の整備・充実」と同率）となっています。



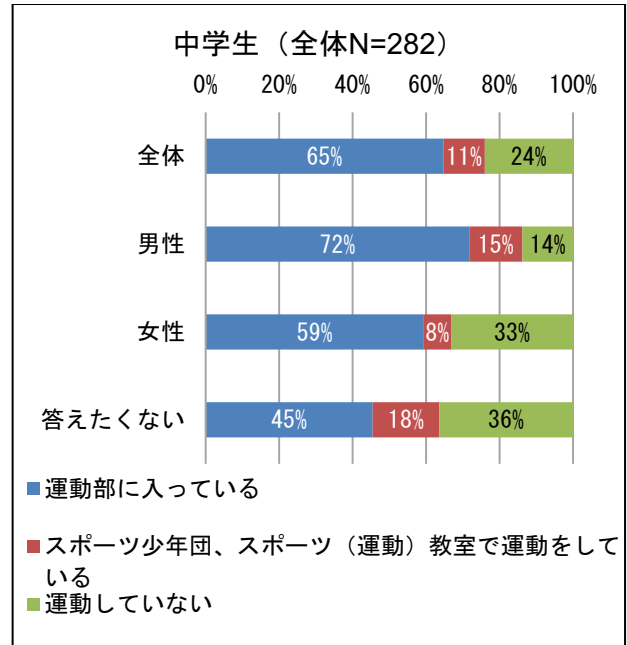
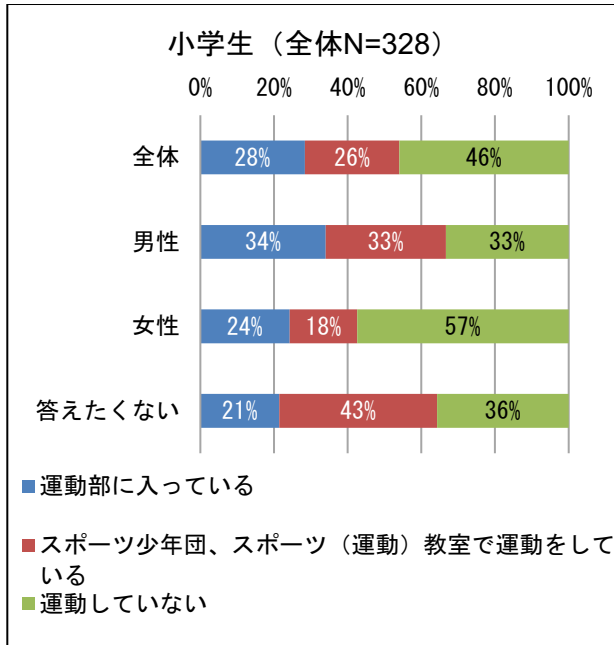
関係課へのヒアリングによると、現在障がい者のスポーツの参加状況は継続的に毎年同様の事業に参加しているだけで市独自の取り組みは行われていません。

一方で、地域で行っている自主的な活動には障がい者でも参加が可能なスポーツの種目もあり、他市では障がい者を対象者としたプログラムを実施している例もあります。

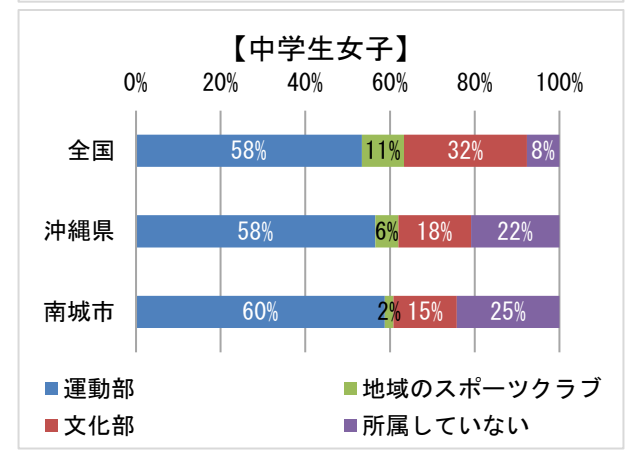
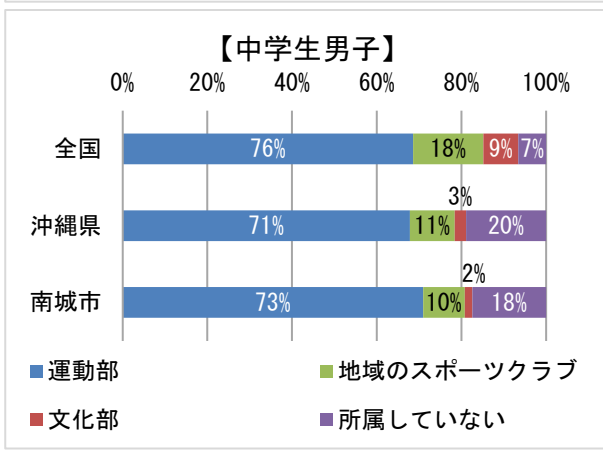
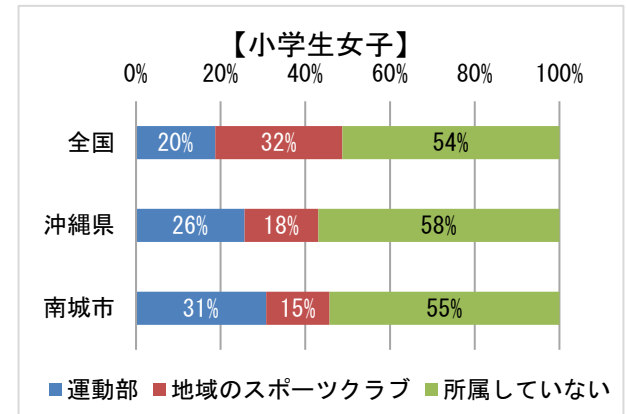
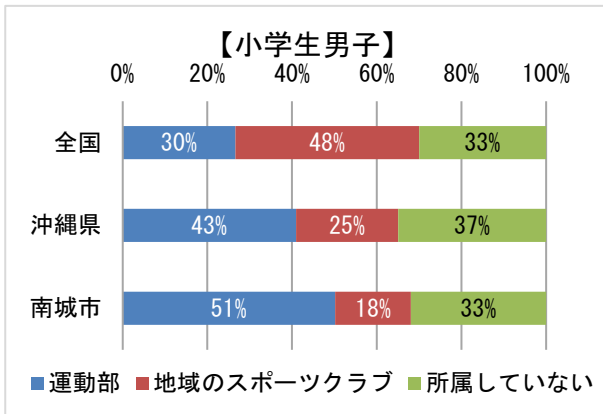
以上の点から、障がいの内容や程度に応じたスポーツのプログラムの開発や、健常者と一緒に行うスポーツプログラムなどを検討する必要があります。

(5) 競技スポーツの活動の現状について

児童・生徒アンケート調査によると小学生は約5割、中学生は約8割が部活等のスポーツに参加しています。また、「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると本市小学生男子の運動部への加入率が県と比較して8%高い結果となりました。



「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による比較



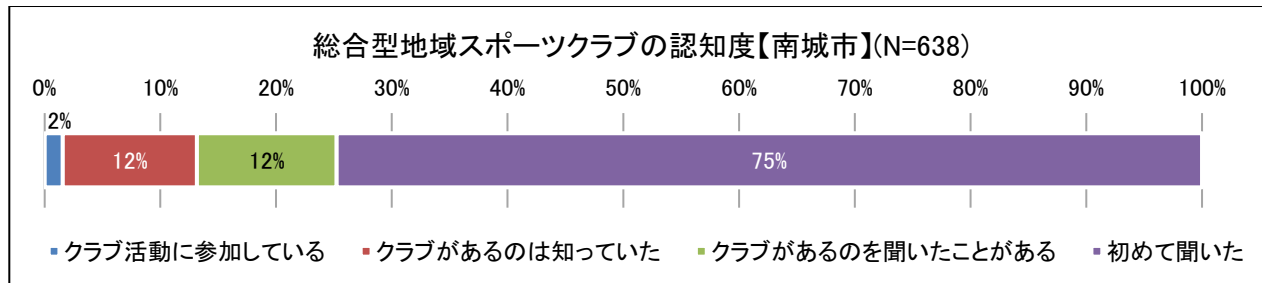
現在、民間のスポーツクラブやスポーツ少年団、サッカー協会を中心に、野球、サッカー、陸上など競技スポーツの積極的な取り組みが継続して行われています。関連団体へのヒアリングでは、各種目に共通した基礎的な運動能力からそれぞれに適した種目を見出すことの必要性やそのための指導者の必要性が指摘されています。

以上の点から、市民のスポーツへの関心を高めるためのトップアスリートとの交流や、全国や世界レベルを目指せるような子どもたちの素質を引き出すことができる指導者の育成や係わりも重要です。また、子どもから成人まで一貫した育成の継続、試合などの交流機会をつくることも必要です。

2. 地域におけるスポーツ活動の現状

(1) 総合型地域スポーツクラブについて

市民アンケート調査によると、総合型地域スポーツクラブの認知度は低く「聞いたことがある」を含めても26%で、そのうち実際に活動している人は2%でした。

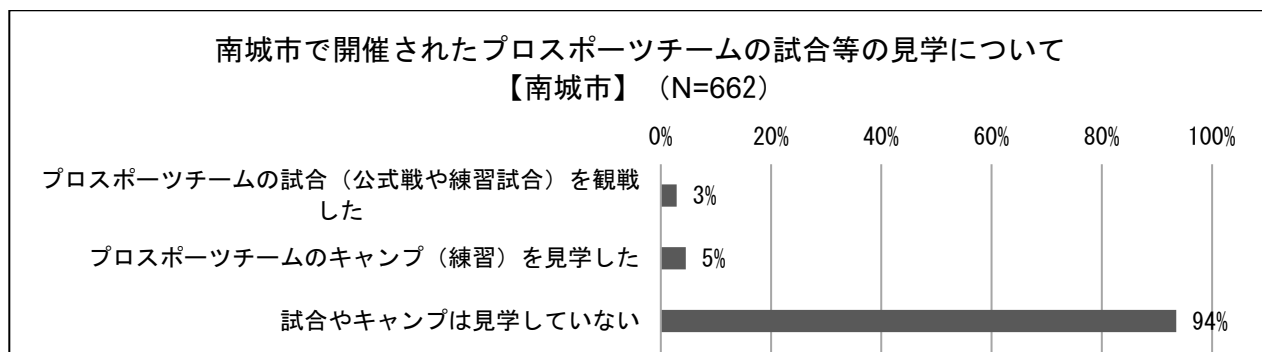


市内の2つの総合型地域スポーツクラブはそれぞれ特色ある運営を行っています。さしきスポーツクラブは各種サークルの複合体のような運営スタイルで、課題は会員の固定化と若い世代の参加、TEAM たまぐすくは地域に密着した運営を行っており、課題は地域での就労とスポーツの両立です。

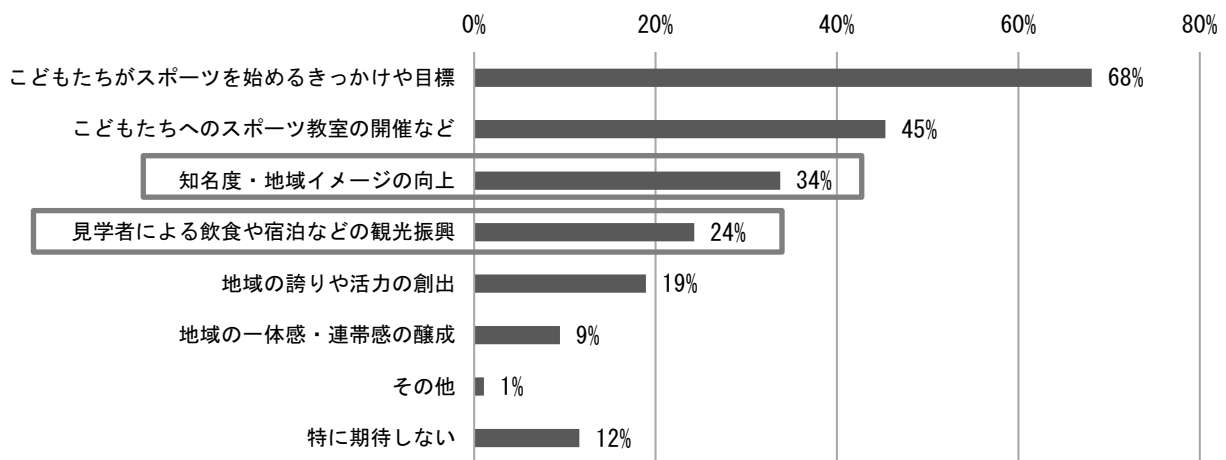
以上の点から、総合型地域スポーツクラブの課題は、運営継続のための新規会員の獲得と運営資金の確保、さらにスポーツを中心とした地域活性化を展開するための横のネットワークづくりなどが考えられます。

(2) スポーツコンベンション・スポーツツーリズムについて

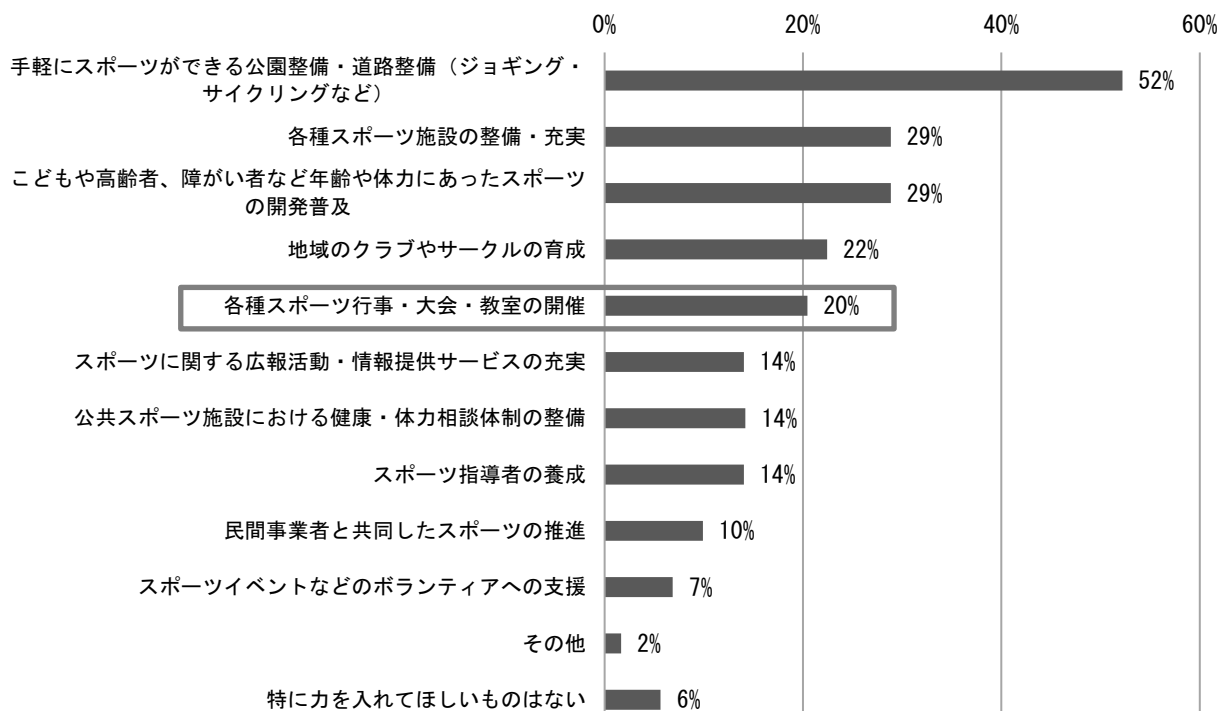
市民アンケート調査では、市内で開催されたプロスポーツチームの試合やキャンプを見学した人は1割にも満たず、「どのような効果を期待するか」という質問に対して「地域の知名度やイメージの向上」「観光振興」は3位4位となっています。また、今後、力を入れるべき項目についても「各種スポーツ行事・大会・教室」は5位となり、市民全体として、地域の活性化よりも子どもたちへの好影響を重要視していることがわかります。



市内でプロスポーツチームがキャンプ等を行うことに期待する
効果について【南城市】（N=655）



地域のスポーツ振興のために市に今後力を入れてもらいたいこと
【南城市】（N=655）



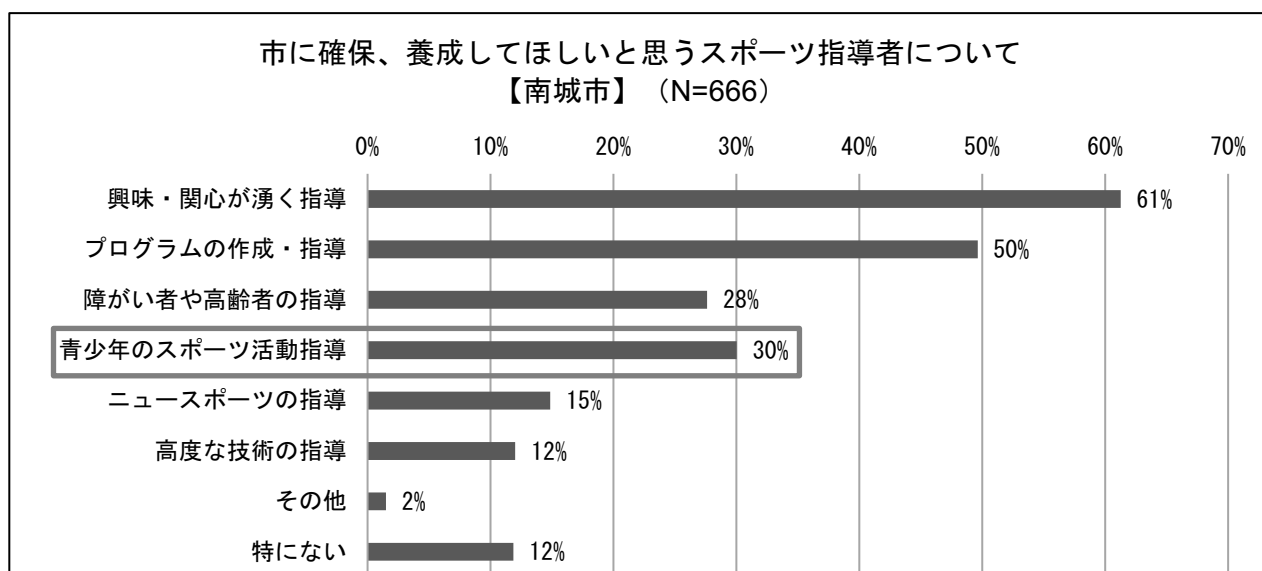
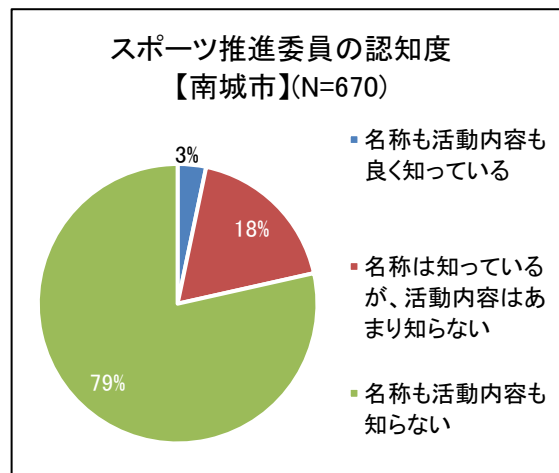
関係者へのヒアリングによると公民館や飲食店が連携して合宿を誘致し、交流を通じて地域活性化につなげる活動をすでに始めている地区もあることがわかりました。

以上の点から、スポーツコンベンション・スポーツツーリズムは、大規模な集客を目的とするようなものではなく、地域との交流を重視しその中でも子どもたちへの良い影響を期待するものに絞って実施する必要があります。また、それを支える体制を構築することも重要であると考えられます。

3. 指導者・支援体制の現状

(1) 人材の育成や活用について

市民アンケート調査によるとスポーツ推進委員の認知度は2割程度と低いですが、「どのような指導者を確保養成すべきか」という質問では「青少年のスポーツ活動指導」の割合が県全体より多い点より、その分野の充実が必要であると考えられます。中学校の部活動では民間の人材が支援する制度を取り入れています。依然として人材が不足しています。一方で、スポーツ推進委員の役割が不明確で有効な活動に結びついていないという指摘もあるため、人材マッチングの方法についても検討する必要があります。



また、子どもたちのスポーツの能力を見出し伸ばすことができる人材が必要という課題が挙げられるなか、それを実践している団体もあります。さらに、子どもたちを指導することにより、指導する側の人間形成に大きな効果を生む可能性もあるとの意見もあり、この点でも地域や民間団体、行政側の役割分担を整理し、有効な連携方法を見出す必要があります。

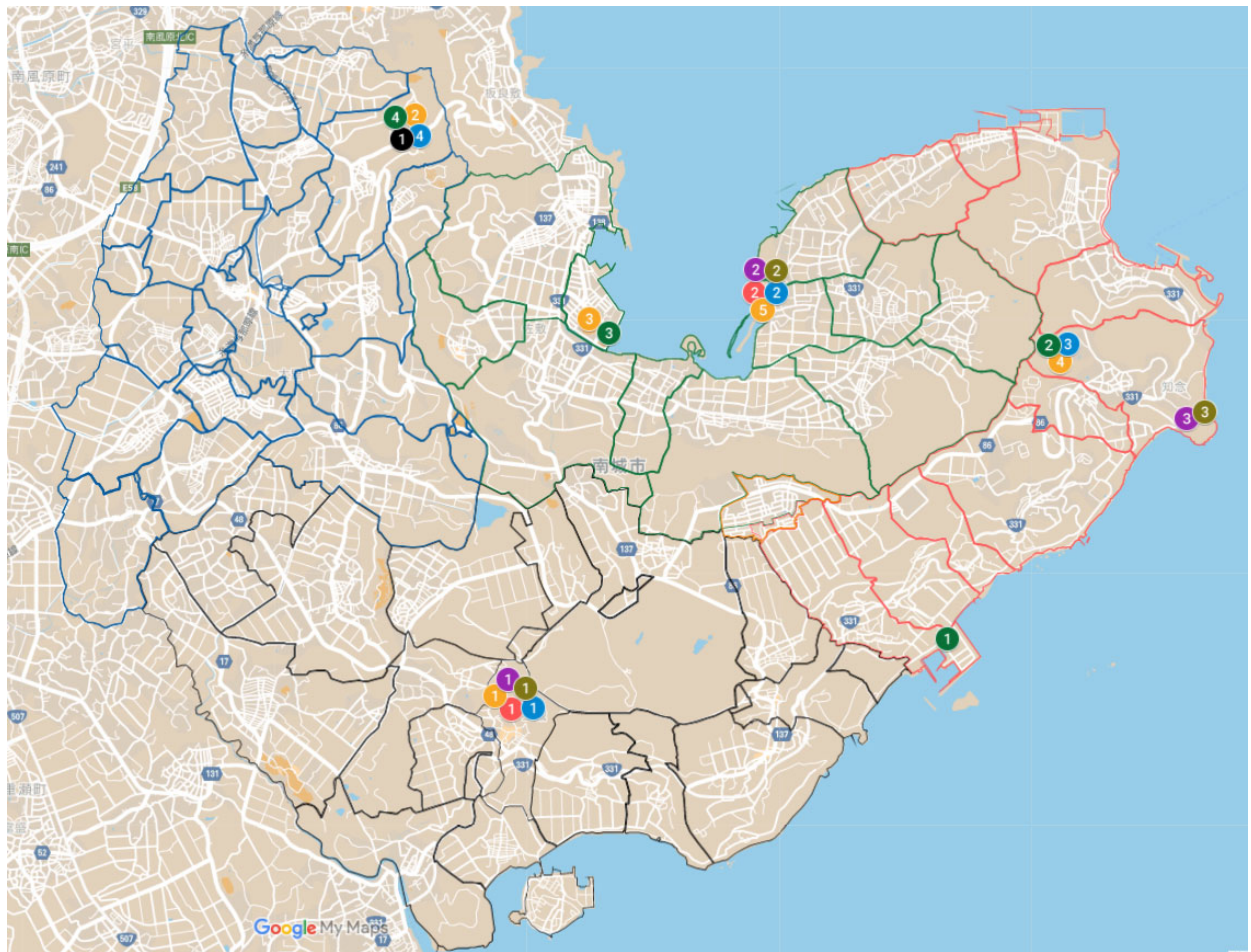
(2) 組織体制について

ヒアリング全体を通して言える点は、町村合併後においてもスポーツ全体を推進するための組織体制はあまり改善されず、行政内やスポーツ関連団体やその他、産業、観光分野との連携が不十分です。山口県宇部市のスポーツコミッションのヒアリングから得られた行政や関連団体が連携した組織によるスポーツ推進の概略や状況、課題を参考に、今後の本市のスポーツ推進全体の組織体制について総合的に検討する必要があります。

また、貧困や居場所づくりなどさまざまな問題に対して、スポーツを通じた解決の取り組みも始まっていることから、その点においても民間団体とのコラボレーションを含め様々な可能性を検討する必要があります。

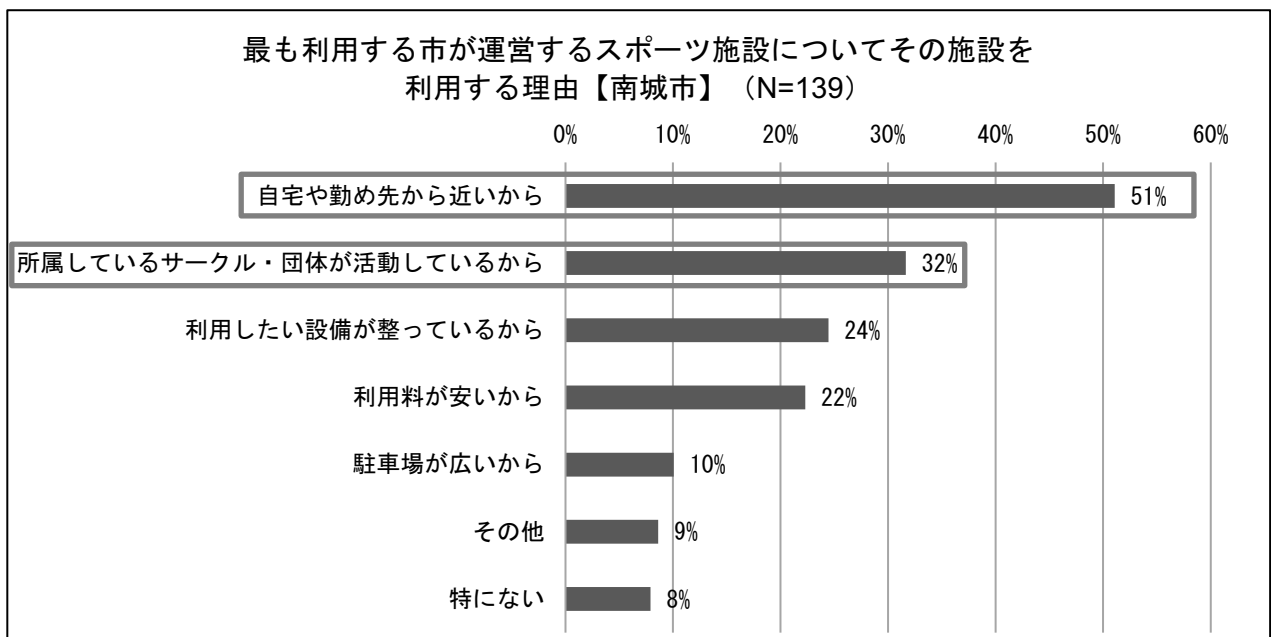
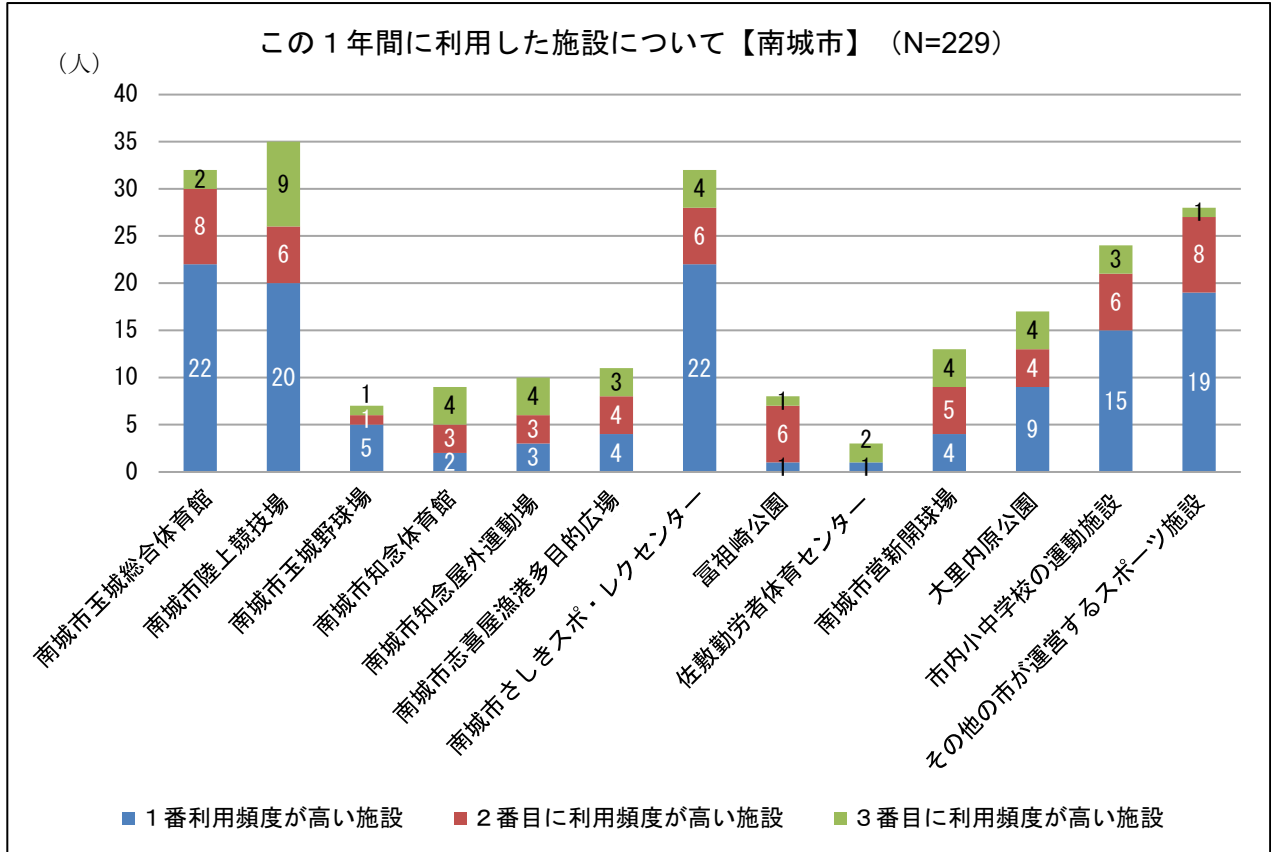
4. スポーツ施設の現状

市内にあるスポーツ施設は以下の通りで、多様なスポーツ施設が点在しています。

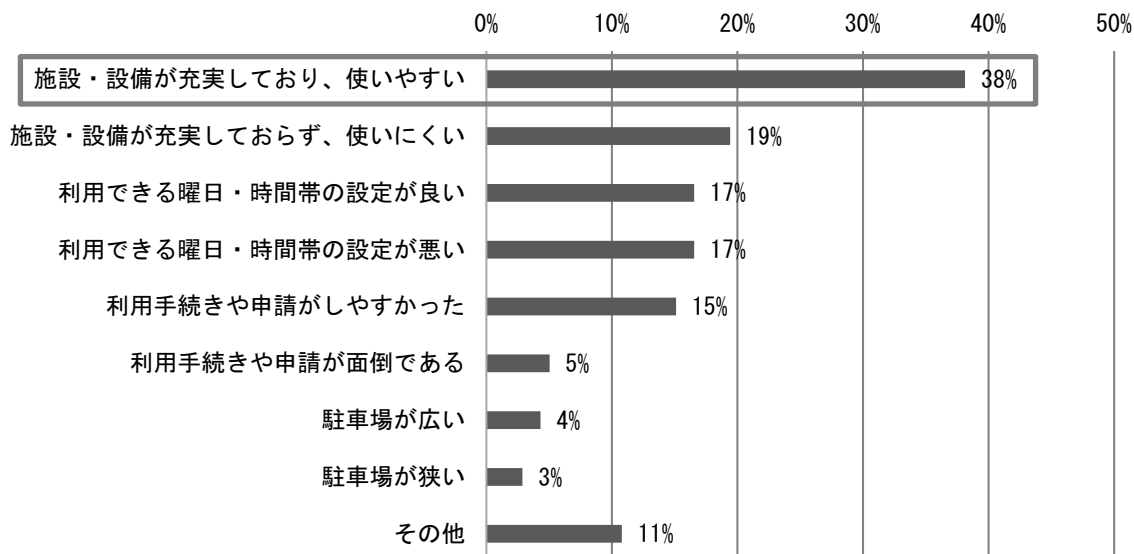


陸上競技場		トレーニング室	
① 南城市陸上競技場		① 南城市玉城総合体育館 トレーニング室	
② 富祖崎公園 陸上競技場		② 南城市さしきスポ・レクセンター トレーニング室	
野球場		多目的運動広場	
① 南城市玉城野球場		① 南城市志喜屋漁港多目的広場	
② 大里内原公園 多目的広場※		② 南城市知念屋外運動場 多目的グラウンド	
③ 南城市宮新開球場 野球場		③ 南城市宮新開球場 多目的広場	
④ 南城市知念屋外運動場 多目的グラウンド※		④ 大里内原公園 多目的広場	
⑤ 富祖崎公園 野球場		体育館	
テニス		① 南城市玉城総合体育館	
① 南城市玉城庭球場		② 南城市さしきスポ・レクセンター	
② 富祖崎公園 庭球場		③ 南城市知念体育館	
③ 南城市知念屋外庭球場		ゲートボール	
④ 大里内原公園 庭球場		① 大里内原公園 ゲートボール場	
※野球場としての利用も多いため野球場にも分類			

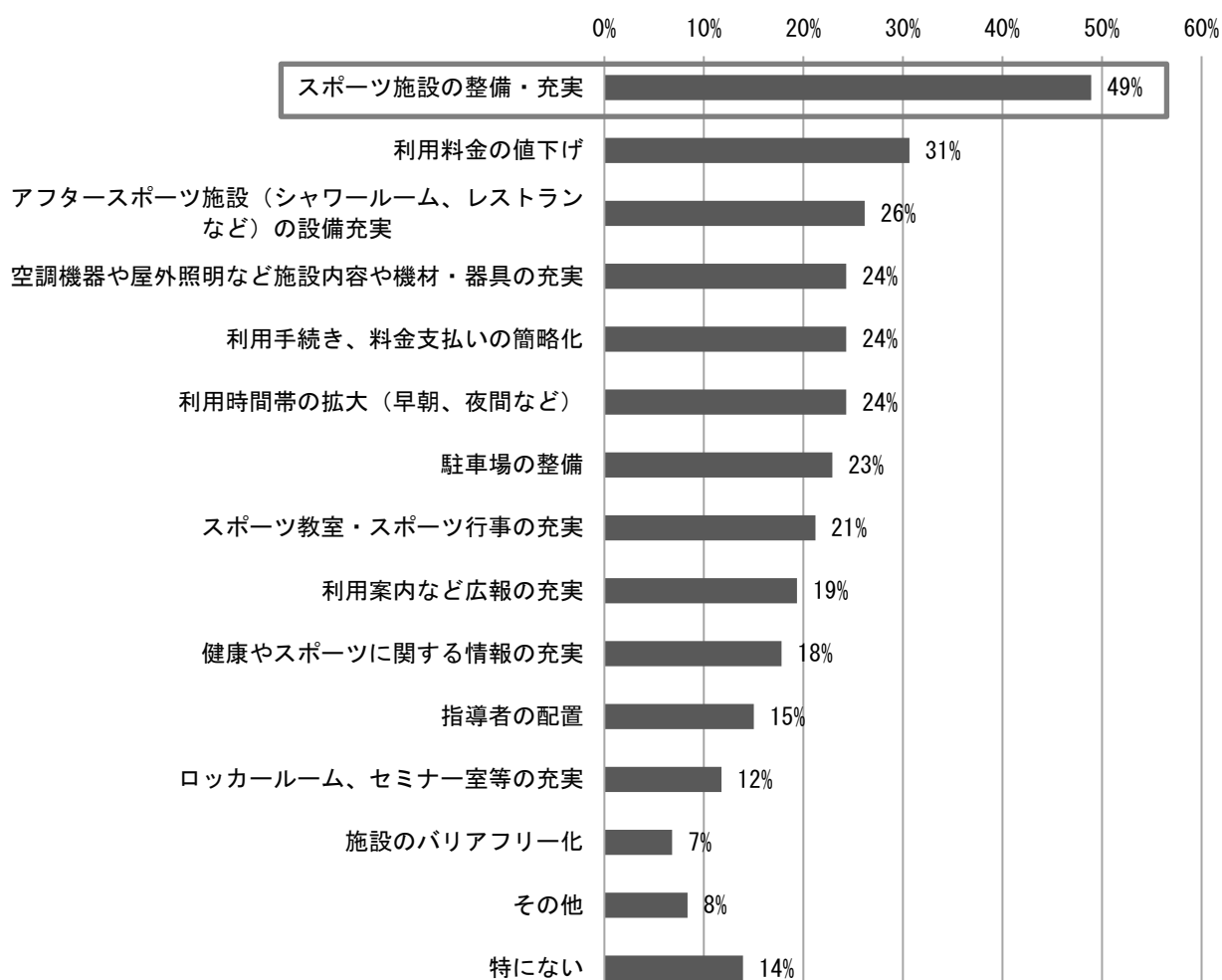
市民アンケート調査によると、市民の利用は南城市玉城総合体育館、南城市陸上競技場、南城市さしきスポ・レクセンター及び市内の小中学校の運動施設に集中しています。利用する理由として、「自宅や勤め先から近い」が最も多く「サークル・団体が利用している」という理由が続いています。施設の評価は「施設・設備が充実している」が多く比較的満足度は高いことが推測できますが、『どのような設備やサービスを望むか』という質問に対して「スポーツ施設の整備・充実」が最も多いことから、スポーツ施設がより一層充実することを要望していると推測されます。



最も利用する市が運営するスポーツ施設について利用した感想
【南城市】 (N=139)

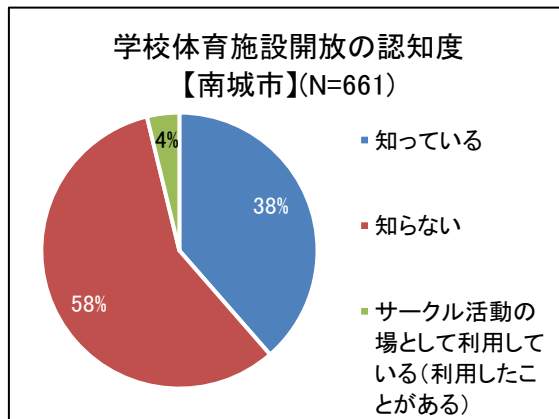


南城市のスポーツ施設にどのような設備やサービスを望むか
【南城市】 (N=646)



小中学校の運動施設の開放における認知度は4割程度で、これまで以上に情報を発信する必要が感じられます。さらに、利用者ヒアリングでは、一部の体育施設では「人気で予約が取りづらい」や「鍵の貸し借りがめんどろ」などの意見がありました。また管理が行き届かないため利用が少ない施設もあります。

公園内の運動施設やその他の運動施設は、財政の点から統廃合の検討が進められていますが、スポーツの利用ニーズや特性にあった再配置を行う必要があり、また運用に関しても単なる場所貸しだけでなく、より多くの人を利用するようなプログラムを実施するなど運用方法の検討を行う必要があると考えられます。



5. 南城市が行っている運動やスポーツに関連する取り組み

現在本市で取り組んでいる運動やスポーツに関連する事業は以下の通りです。複数人での参加や居住区毎で行っている事業が多く、健康だけでなく参加者間の交流を目的とした取り組みが行われています。

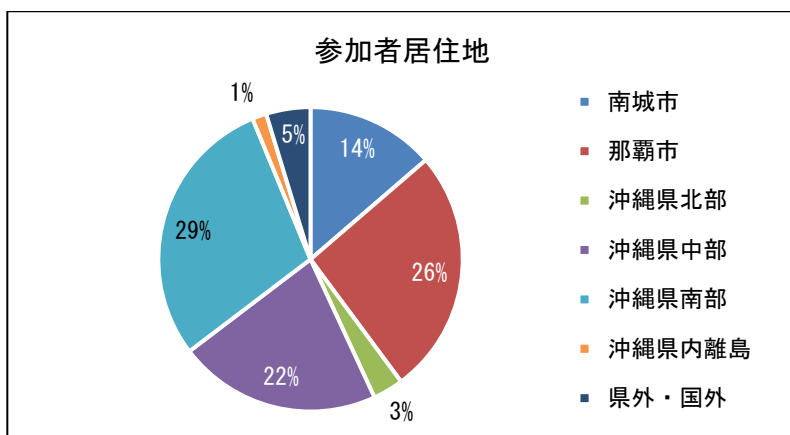
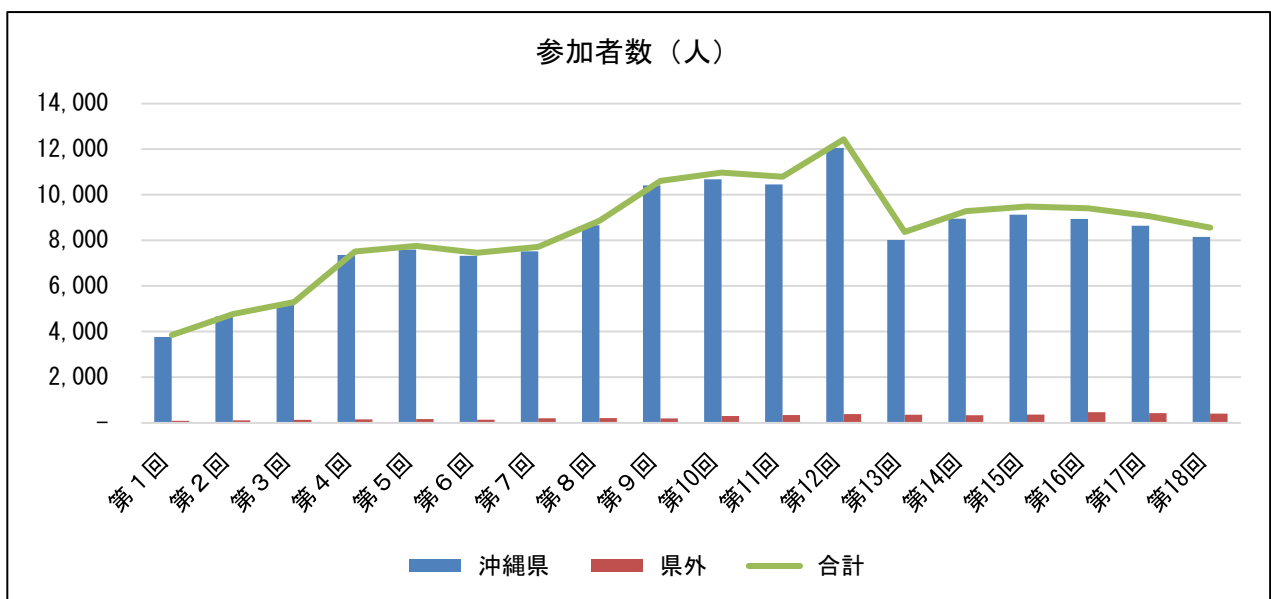
課名	事業名	事業内容
子育て支援課	市内児童館での遊び等の提供	市内7児童館で3B体操教室やスポーツチャンバラ教室、ニュースポーツ教室などを行っています。
まちづくり推進課	尚巴志ハーフマラソン in 南城市大会	本市のシンボリックな存在である「尚巴志」の県内外への周知と周辺地域の活性化を図ることを目的として開催しており、本市と県を代表するハーフマラソン大会として成長しています。
観光商工課	ポタうまーい（観光交通）	家族や友人などグループで市内を自転車で巡り、サイクリングコースを開拓してもらう事を目的としたイベントです。
生涯学習課	南城市壮年スポーツ(ソフトボール)交流大会	日常生活の中でスポーツに接する機会のない35歳以上を対象としたソフトボール大会で、体力づくりや心身の健康、参加者の親睦を深めることを目的として開催されています。
健康増進課	ウォーキング大会	健康増進を目的に熟練者コースと初心者コースに分かれ市内の景色や史跡めぐりを楽しめるウォーキング大会です。
	ナイト・ウォーキング大会	星空や夜景と一緒にウォーキングも楽しめる大会です。
生きがい推進課	高齢者筋力トレーニング事業（がんじゅう教室）	市内5地区で65歳以上の元気な高齢者を対象に心身の機能回復や健康増進を図るためのトレーニングや体操指導などを行っています。（社会福祉協議会への委託事業）
	シニアライフ向上事業	加齢に伴う身体機能の低下の改善を目的に65歳以上を対象にした水中運動やマシントレーニングなどを提供し、自立生活の支援を行っています。（民間トレーニングジムや水泳教室への委託事業）
	地域ふれあいミニデイサービス事業	高齢者が健康でいきいきとした日常生活が送れるよう健康チェックや軽体操を行っています。また、社会的孤立感の解消するため各自治会公民館を活用してサービスの提供をしています。

本市が行っている取り組みの1つである尚巴志ハーフマラソンは尚巴志を生んだ本市の自然や歴史、文化に触れ尚巴志ロマンを体感することで本市の魅力の発信や地域の活性化に寄与することを目的として開催されている大会です。

2002年の第1回大会は申込者数が3,848人だったのに対し、2019年の第18回大会では8,555人と2倍以上で申込者数が増加傾向にあり、人気のある大会となっています。参加者の多くは沖縄県内居住者ですが、県外居住者の参加も年々増加傾向にあります。

参加者数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
沖縄県	3,762	4,658	5,166	7,359	7,592	7,319	7,518	8,659	10,411
県外	86	108	127	150	162	135	199	201	192
合計	3,848	4,766	5,293	7,509	7,754	7,454	7,717	8,860	10,603

参加者数	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回
沖縄県	10,677	10,452	12,052	8,015	8,947	9,126	8,938	8,639	8,152
県外	293	339	383	353	330	358	464	424	403
合計	10,970	10,791	12,435	8,368	9,277	9,484	9,402	9,063	8,555





第3章 スポーツ推進の基本的な方向性

1. スポーツ推進の理念

スポーツ基本法では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとともに、スポーツが、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造等において多面にわたる役割を担うことを明らかにしています。また、第2期スポーツ基本計画（全国計画）ではスポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創るとしています。

そこで本市においては、子どもから高齢者まですべての市民の心身の健康を維持し、スポーツを通じた人格形成や支える人材の育成、コミュニティづくりや地域交流の促進等を目指し、次の理念を掲げこの理念に基づき、本市のスポーツ施策を体系的に推進します。

「スポーツを通じた、健康づくり・人づくり・地域づくり」

2. 基本方針

（1）市民のライフステージに合わせた運動・スポーツの推進

運動・スポーツをすることは心身の健康維持だけでなく意識・行動に効果があり地域社会の発展に寄与することができます。そのため、年齢や性別、障がい等を問わず、幅広い市民が運動・スポーツに関心を持ち、適性等に応じたスポーツに参画することができるように運動・スポーツを推進します。

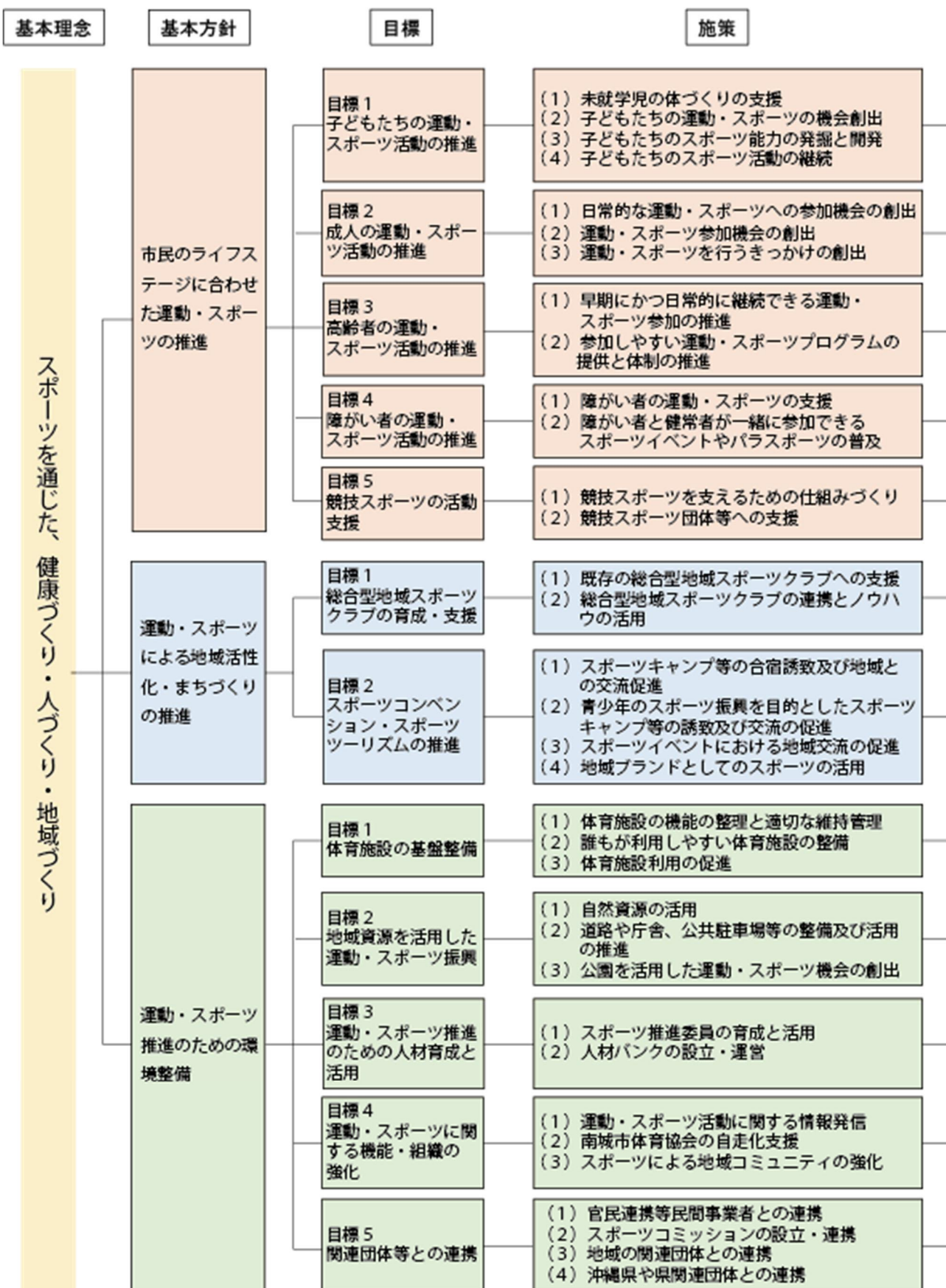
（2）運動・スポーツによる地域活性化・まちづくりの推進

本市の温暖な気候や豊かな自然、都市部からのアクセスの良さは、運動・スポーツを行う環境として適しています。既存のスポーツイベントだけではなく、自然や地形を活用した新たなスポーツイベントを行うことも可能です。また、スポーツは地域をまとめる力があり、ムラヤー構想によるまちづくりと連携した地域交流を促進し、地域活性化やまちづくりを推進します。

（3）運動・スポーツ推進のための環境整備

市民が手軽にスポーツに親しみ継続できるよう、また運動・スポーツから遠ざかっている人も再び参加できる環境をつくるため、施設・設備等や人材、さらに各団体組織やその組織間の連携等について、総合的な環境整備を進めます。

3. 施策の体系



具体的な取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児向けの遊びを通じた運動プログラムの提供 ・市内小中学生とアスリートとの交流機会提供 ・学校毎で実施する基礎体力の向上 ・関連団体やスポーツ少年団、民間スポーツクラブ等との連携によるイベントの開催・運営支援 ・指導者等の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に応じた遊びの重要性等を保護者へ周知 ・児童館、放課後児童クラブでの積極的な運動機会の提供 ・子どもたちが気軽に参加できるイベントの開催 ・子どもたちのスポーツ活動への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツに関する情報発信 ・既存の運動・スポーツイベントの継続 ・ライフスタイルに合わせた運動やスポーツイベントの提供 ・手軽に運動やスポーツに取り組むためのきっかけの創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内体育施設利用向上のための情報発信
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が気軽に運動へ参加できる機会の提供 ・男性も参加しやすい運動・スポーツプログラムの提供 ・運動・スポーツを通じた地域でのコミュニティづくりの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して運動に取り組むための仕組みづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の運動・スポーツを支援する人材育成及び支援体制の構築 ・施設のバリアフリーや支援体制等の情報発信 ・障がい者と健常者が一緒に参加できるスポーツイベントの企画・運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツの普及啓発
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団、部活動のレベルアップのための指導者育成 ・子どもたちのスポーツ活動に対する保護者の理解や支援 ・競技力アップのための支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツで活躍している選手の支援 ・必要に応じた競技スポーツへの支援
<ul style="list-style-type: none"> ・既存総合型地域スポーツクラブの認知度向上のための情報発信やイベント開催の支援 ・活動に関する経営基盤の整備支援 ・自治会や小学校、社会福祉協議会等と連携した活動の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存クラブの連携やノウハウの共有
<ul style="list-style-type: none"> ・大学やその他のスポーツ合宿の誘致支援 ・子どもたちとの交流機会創出 ・地域主体の交流イベント等への企画実施支援 ・スポーツによる地域ブランドの可能性の検討、モデル事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ体制の構築支援 ・キャンプの周知及び様々な視点での情報発信 ・地域自治会や各種団体等のネットワークづくり ・ブランド化のための推進体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> ・各体育施設の機能整理と再編成 ・各体育施設のバリアフリー化 ・利用していない方に対する利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な維持管理の検討と環境整備 ・体育施設の運営方法の改善
<ul style="list-style-type: none"> ・自然資源を活用した運動・スポーツの推進 ・サイクリングやウォーキングコース等の環境整備 ・庁舎の一部を活用した運動・スポーツの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然資源を活用した活動団体の支援 ・公共駐車場を活用した運動・スポーツの推進 ・公園内の運動施設のスポーツ利用の促進
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の知見の向上 ・人材バンクの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の活用 ・人材バンクの人材発掘及び運営
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の運動・スポーツ活動の情報発信 ・活動と組織体制の見直し ・自治会や字単位でのスポーツ活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのスポーツ活動に関する情報発信 ・協会とのより密接な連携体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者やPFI事業者等との対話の場等の提供 ・スポーツコミッションの設立 ・体育協会やスポーツ少年団、その他産業団体等団体間における連携体制の構築 ・関連団体や関連産業との連携促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が運動・スポーツを行う機会の提供 ・本市の特色を生かしたスポーツの推進 ・県や関連団体との情報共有 ・運動・スポーツに関する事業実施の連携



第4章 推進のための施策

前述の基本理念と基本方針の実現に向け目標を掲げ、それを達成するための施策と取り組みを示します。また、事業実施の期間は計画年度を初年度として段階的に取り組むことを想定し、以下のように設定します。

継続	すでに取り組んでいて今後も継続する事業
短期	～3年以内に着手を目指す事業
中期	3年～5年以内に着手を目指す事業
長期	5年～10年以内に着手を目指す事業

1. 市民のライフステージに合わせた運動・スポーツの推進

目標1 子どもたちの運動・スポーツ活動の推進

(1) 未就学児の体づくりの支援

スキヤモンの発育発達曲線によると運動能力をつかさどる神経は3歳頃に80%、6歳頃に90%、12歳頃までには100%に達し、それ以降は伸ばすことが難しいと言われています。このことから幼児期に様々な動作を経験することが重要であるため、幼児期の子どもたちへ体を動かす機会を提供します。

① 未就学児向けの遊びを通じた運動プログラムの提供

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・保育所や認定こども園、幼稚園、家庭保育等の子どもたちへの運動プログラムの情報提供	子育て支援課 教育指導課 健康増進課		●	

② 子どもの発達に応じた遊びの重要性等を保護者へ周知

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・SNSや広報誌による情報発信 ・イベント等による体験教室の実施	子育て支援課 教育指導課 健康増進課	●		

(2) 子どもたちの運動・スポーツの機会創出

スポーツ少年団や部活動、民間スポーツクラブに属していない児童・生徒は運動やスポーツ活動を行う機会が少ない傾向にあります。子どもたちは日常生活の中で自分に合ったスポーツに出会わないまま運動やスポーツから遠ざかっている場合もあるため、様々なスポーツとの出会いや取り組む機会を創出します。また、基礎体力を向上させることにより運動やスポーツに対する自信を養います。

① 市内小中学生とアスリートとの交流機会提供

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・アスリートによる講話会等の実施 ・スポーツ体験会等アスリートと共に実践する場の提供	生涯学習課 教育指導課		●	

② 児童館、放課後児童クラブでの積極的な運動機会の提供

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・児童館、放課後児童クラブへ地域人材の情報提供、人材の派遣	生涯学習課 子育て支援課 体育協会		●	
・市内児童館での遊び等の提供		継続		

③ 学校毎で実施する基礎体力の向上

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・各学校独自の体力づくり活動の推進	生涯学習課 教育指導課	継続		

④ 子どもたちが気軽に参加できるイベントの開催

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・ポタうまーいの開催 ・ナイト・ウォーキング大会の開催 ・ウォーキング大会の開催	観光商工課 健康増進課	継続		

(3) 子どもたちのスポーツ能力の発掘と開発

子どもたちのスポーツ能力は発掘の機会や適切な提言により大きく飛躍する可能性があることが指摘されています。そのため、能力の発掘の機会をつくり、さらにその能力を伸ばすための支援を行います。

① 関連団体やスポーツ少年団、民間スポーツクラブ等との連携によるイベントの開催・運営支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・市スポーツ少年団主催による各種交流大会の開催 ・総合型地域スポーツクラブや民間による各種スポーツ教室等の開催	生涯学習課 教育指導課 体育協会 総合型地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 体育施設指定管理者		●	

(4) 子どもたちのスポーツ活動の継続

本市では野球やサッカーを始めとする様々な競技のスポーツ少年団や部活動、民間スポーツクラブが活発に活動しています。それらの活動の結果、県や九州の大会で優勝するなど優秀な成績を残しています。このような子どもたちのスポーツ活動を継続するため、それらの活動を支援します。

① 指導者等の確保

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・スポーツ少年団や部活動に対する部活動支援員等の派遣	生涯学習課 教育指導課 体育協会	継続		
・スポーツ大会の運営に関する人材派遣等を推進			●	

② 子どもたちのスポーツ活動への支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合型地域スポーツクラブでの子どもたちに対するスポーツ活動の支援 ・ 各種スポーツ少年団活動の支援 	生涯学習課 体育協会 総合型地域スポーツクラブ	●		

目標2 成人の運動・スポーツ活動の推進

(1) 日常的な運動・スポーツへの参加機会の創出

市民アンケート調査によると市内体育施設の利用率が低いことや気軽にできるスポーツ等の情報を求める意見が多い状況にあります。そのため、運動プログラムや体育施設の利用方法等の情報発信を行い、市民が日常的に運動やスポーツに参加する機会の創出を図ります。

① 運動・スポーツに関する情報発信

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動プログラムの情報提供 ・ スポーツサークルの紹介等情報発信 	生涯学習課 健康増進課 総合型地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 体育施設指定管理者		●	

② 市内体育施設利用向上のための情報発信

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の体育施設やその他の体育施設の運用改善 ・ 施設利用紹介等の情報発信 	生涯学習課 体育施設指定管理者	●		

(2) 運動・スポーツイベントへの参加機会の創出

総合型地域スポーツクラブで行われたイベントで、育児サービスを併設したことで子育て世代の女性が多く参加した実績があります。また、本市の地形を生かしたハーフマラソンや地域の親睦を目的としたスポーツイベントも行われています。このように様々なライフスタイルや目的に合わせ、誰もが気軽に参加できるイベントの開催や仕組みづくりの検討を行います。

① 既存の運動・スポーツイベントの継続

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 尚巴志ハーフマラソンin南城市大会の開催 ・ ポタうまーいの開催 ・ 南城市壮年スポーツ（ソフトボール）交流大会の開催 ・ ナイト・ウォーキング大会の開催 ・ ウォーキング大会の開催 	生涯学習課 健康増進課 まちづくり推進課 観光商工課	継続		

② ライフスタイルに合わせた運動やスポーツイベントの提供

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSやアプリ等を活用したスポーツイベント開催の検討 ・ スポーツイベント開催時に子育て世代の女性が参加しやすい仕組みづくりの推進 	生涯学習課 健康増進課 子育て支援課 総合型地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 体育施設指定管理者		●	

(3) 運動・スポーツを行うきっかけの創出

① 手軽に運動やスポーツに取り組むためのきっかけの創出

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォン等を使ったスポーツの実施に応じたポイント制度を検討 	生涯学習課 健康増進課		●	

目標3 高齢者の運動・スポーツ活動の推進

(1) 早期にかつ日常的に継続できる運動・スポーツ参加の推進

高齢者の健康づくりのため早期にかつ継続して運動に参加できるプログラムの開発や体制づくりを推進し、将来的な医療費等の軽減を図ります。

① 高齢者が気軽に運動へ参加できる機会の提供

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者筋力向上トレーニング事業（がんじゅう教室） ・ なんじょう元気プロジェクトNGP 	生きがい推進課 社会福祉協議会	継続		
<ul style="list-style-type: none"> ・ シニアライフ向上事業 	生きがい推進課	継続		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ふれあいミニデイサービス事業 	生きがい推進課 社会福祉協議会	継続		

② 継続して運動に取り組むための仕組みづくり

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくり推進員連絡協議会の積極的な活用 	健康増進課	●		

(2) 参加しやすい運動・スポーツプログラムの提供と体制の推進

本市ではがんじゅう教室やミニデイサービス等への男性参加が低いこと等が課題となっています。そのためスポーツ履歴を考慮するなどより多くの方々が気軽に参加しやすいプログラムを提供するとともに、総合型地域スポーツクラブ等と連携しその体制づくりを推進します。

① 男性も参加しやすい運動・スポーツプログラムの提供

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・高齢者筋力向上トレーニング事業の実施 (がんじゅう教室) ・男塾、シニア健康塾 (なんじょう元気プロジェクトNGP)	生きがい推進課 社会福祉協議会	継続		
・各種スポーツ大会等の実施 (ペタンク大会、ゲートボール大会等)	生きがい推進課 老人クラブ連合会	継続		
・年齢を区切らない三世代交流イベント等の検討 (三世代交流パークゴルフ大会)	生きがい推進課 老人クラブ連合会	継続		

② 運動・スポーツを通じた地域でのコミュニティづくりの支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・運動・スポーツと他のプログラムの連携による コミュニティづくりの検討	生涯学習課 まちづくり推進課 健康増進課 老人クラブ連合会		●	
・ナイト・ウォーキング大会の開催 ・ウォーキング大会の開催 ・グランドゴルフ大会の開催		継続		
・総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツイベント等の検討	生涯学習課 生きがい推進課		●	

目標4 障がい者の運動・スポーツ活動の推進

(1) 障がい者の運動やスポーツの支援

障がいを持った人も運動・スポーツを行うことで健康の維持・増進だけでなく社会への参加、ストレス解消など様々な効果が期待されます。一方で、障がい者へスポーツを指導するインストラクター等の人材が不足している状況もあります。そこで誰もが無理なく運動やスポーツを楽しめるよう、個々の障がいのレベルに合わせた運動・スポーツを推進するための人材育成や支援体制を構築します。

① 障がい者の運動・スポーツを支援する人材育成及び支援体制の構築

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・専門家や関連団体と協力した支援体制構築の推進	生涯学習課 生きがい推進課		●	
・スポーツ推進委員やインストラクター等必要な人材育成の推進	生涯学習課 生きがい推進課		●	

② 施設のバリアフリーや支援体制等の情報発信

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・広報やSNSでの情報発信	生きがい推進課	●		

(2) 障がい者と健常者が一緒に参加できるスポーツイベントやパラスポーツの普及

パラスポーツを通じた障がい者への理解向上や地域での親睦を深めることを目的に、障がい者と健常者が共に参加でき市民同士が交流する機会を設けます。

また、スポーツ推進委員会を中心に人材育成を行い、誰でも気軽に楽しめるパラスポーツの普及を推進します。

① 障がい者と健常者が一緒に参加できるスポーツイベントの企画・運営

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・パラスポーツ体験イベントの実施	生涯学習課 生きがい推進課 社会福祉協議会		●	

② パラスポーツの普及啓発

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・パラスポーツ普及のための人材育成を推進	生涯学習課 生きがい推進課 社会福祉協議会		●	

目標5 競技スポーツの活動支援

(1) 競技スポーツを支えるための仕組みづくり

スポーツ少年団や学校の部活動、社会人サークルなど競技スポーツに取り組んでいる団体は多いですが、その活動を支援する人材や情報は十分とは言えない状況にあります。そこで、市内外の人材や団体との連携し、競技スポーツに取り組む団体や個人に対して総合的に支援するための仕組みづくりを推進します。

① スポーツ少年団、部活動のレベルアップのための指導者育成

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・指導者向け講演会など指導方法を学ぶ場の提供を検討	生涯学習課 体育協会 スポーツ推進委員	●		
・体育協会、スポーツ少年団、部活動、各民間スポーツクラブの連携体制を構築	生涯学習課 教育指導課 体育協会 スポーツ推進委員	●		

② 子どもたちのスポーツ活動に対する保護者の理解や支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・指導者や保護者を対象としたスポーツ少年団等の情報発信やスポーツ栄養学講座等の開催	生涯学習課 健康増進課 体育協会		●	
・スポーツ少年団等への派遣費軽減等の支援	生涯学習課 体育協会 スポーツ推進委員	継続		

③ 競技スポーツで活躍している選手の支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・競技スポーツで活躍している選手の広報活動等での支援を検討	生涯学習課 体育協会		●	

(2) 競技スポーツ団体等への支援

市内には多くの競技スポーツ団体が存在しており、そのなかには野球やサッカー等競技人口が多い種目だけでなく、競技人口が少ない種目もあります。それぞれの団体や協会が継続、発展するための各団体や協会の活動に応じた支援を行います。

① 競技力アップのための支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・ 大会出場などへの支援拡大	生涯学習課 教育指導課 体育協会 スポーツ推進委員	●		
・ 市内アスリートや部活動支援員による部活動等への活動支援	生涯学習課 教育指導課 体育協会	●		

② 各種競技協会への支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・ 協会活動への支援	生涯学習課 体育協会			●

③ 必要に応じた競技スポーツへの支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・ 総合型地域スポーツクラブの支援	生涯学習課	●		

● 目標値

指標	現状	目標 (R12)	根拠資料
全国体力・運動能力テスト結果 (合計点)	中2男女平均 48.35点 (R1)	沖縄県平均以上	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
成人の週1回以上のスポーツ実施率	全体 66% (R2) 40代 42% (R2) 50代 45% (R2)	全体 72% 40代 47% 50代 49%	アンケート等で調査
高齢者筋力向上トレーニング事業の登録者数	656人 (R1)	754人	社会福祉協議会集計

2. 運動・スポーツによる地域活性化・まちづくりの推進

目標1 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

(1) 既存の総合型地域スポーツクラブへの支援

本市内には玉城地区、佐敷地区にそれぞれ総合型地域スポーツクラブがあります。それぞれ特徴のある活動を継続しており、これらのクラブが継続、発展するため、情報提供やアドバイス等の支援を行います。

① 既存総合型地域スポーツクラブの認知度向上のための情報発信やイベント開催の支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報やSNSを使った活動情報の発信 ・ 認知度向上のためのイベントに対する実施支援 	生涯学習課 総合型地域スポーツクラブ	●		

② 活動に関する経営基盤の整備支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者制度へ参加するための課題や可能性の検討支援 ・ その他経営基盤強化のための検討支援 	生涯学習課 総合型地域スポーツクラブ			●

(2) 総合型地域スポーツクラブの連携とノウハウの活用

既存総合型地域スポーツクラブ同士の連携を図り、それぞれのノウハウを共有し運営に生かすとともに、関連団体と連携して組織の基盤を強化し、そのノウハウを活かした活動の展開を図ります。

① 既存クラブの連携やノウハウの共有

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携可能性の検討支援 ・ 既存クラブが連携するための話し合う場を設置 ・ モデル事業等試験的な取り組みの支援 	生涯学習課 総合型地域スポーツクラブ		●	

② 自治会や小学校、社会福祉協議会等と連携した活動の検討

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報交換の機会を提供 ・ 連携した事業の可能性調査 ・ 連携先・連携した取り組みの検討 ・ 連携事業のモデル事業等試験的な取り組み支援 	生涯学習課 教育指導課 生きがい推進課 社会福祉協議会		●	

目標2 スポーツコンベンション・スポーツツーリズムの推進

(1) スポーツキャンプ等の合宿誘致及び地域との交流促進

玉城地区では、総合型地域スポーツクラブを中心に地域との交流を活かした合宿を誘致した経験があります。このように地域との連携体制を構築して合宿誘致を行い、地域や青少年との交流機会を設け地域活性化や青少年の健全育成を促進するための支援を行います。

① 大学やその他のスポーツ合宿の誘致支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 誘致に関する情報収集支援 誘致のための情報発信及び誘致活動支援 	生涯学習課 まちづくり推進課 体育協会 体育施設指定管理者		●	

② 受け入れ体制の構築支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 役割分担の整理、組織化、資料作成等支援 	生涯学習課 体育協会 体育施設指定管理者		●	

(2) 青少年のスポーツ振興を目的としたスポーツキャンプ等の誘致及び交流の促進

本市ではスポーツキャンプを誘致しているものの、交流機会が少なく参加人数も少ないことから十分にその機会を活かしきれっていません。そのため、十分な情報発信とともに様々な交流機会をつくります。

① 子どもたちとの交流機会創出

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 交流機会の企画・調整 	生涯学習課 体育協会 体育施設指定管理者	●		

② キャンプの周知及び様々な視点での情報発信

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 広報やSNSを使った周知 トレーニング方法など様々な視点でのキャンプ見学の情報発信 	生涯学習課 体育施設指定管理者	●		

(3) スポーツイベントにおける地域交流の促進

本市の継続しているスポーツイベントとして尚巴志ハーフマラソンがありますが、これまで以上に地域の活性化に結びつけるため、取り組みを見直し、体制を整備します。

① 地域主体の交流イベント等への企画実施支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・ イベント企画・調整支援 ・ イベント実施支援	まちづくり推進課 商工会 観光協会 青年連合会	●		

② 地域自治会や各種団体等のネットワークづくり

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・ 役割分担の整理、組織化、資料作成等の支援	まちづくり推進課 商工会 観光協会 青年連合会	●		

(4) 地域ブランドとしてのスポーツの活用

地域のブランド化は、地域の商品やサービスと地域イメージが結びつくことにより、地域外の人材や資金を呼び込むことができるといわれています。そのため、本市の地域ブランドの1つとしてスポーツによる地域ブランド化の可能性を検討し推進します。

① スポーツによる地域ブランドの可能性の検討、モデル事業の実施

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・ 地域ブランド化の可能性調査の実施 ・ 地域ブランド化のモデル事業実施	生涯学習課 まちづくり推進課 観光商工課 商工会 観光協会	●		

② ブランド化のための推進体制の構築

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・ 役割分担の整理、組織化、資料作成等支援	生涯学習課 観光商工課 商工会 観光協会		●	

● 目標値

指標	現状	目標 (R12)	根拠資料
総合型地域スポーツクラブの認知度	25% (R2)	40%	アンケート等で調査
総合型地域スポーツクラブ会員数	260人 (R2)	520人	各総合型地域スポーツクラブ集計
総合型地域スポーツクラブ数	2チーム(玉城、佐敷)	4チーム(市内全地区)	担当課集計
サッカー教室等への市内子どもの参加数	約100人 (R1)	150人	担当課集計

3. 運動・スポーツ推進のための環境整備

目標 1 体育施設の基盤整備

(1) 体育施設の機能の整理と適切な維持管理

本市には旧町村時代の体育施設があり、その施設機能の重複が見られ、かつ一部は老朽化が進んでいる状況です。そのため、各施設の利用状況や利用者ニーズ等を考慮して施設機能を整理し再編等を行います。さらに、本市内の体育施設では定期的な草刈りや照明機器の故障など、維持管理面においての課題が多くみられることから、適切で効率的な維持管理方法を検討し、実施します。

① 各体育施設の機能整理と再編成

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 各体育施設の機能整理と再編成（統廃合含む）の検討 市民の理解を得るための情報発信 	生涯学習課 施設管理課			●

② 適切な維持管理の検討と環境整備

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 各体育施設状況調査 故障機器の修繕・整備 指定管理者による運営と維持管理 	生涯学習課 施設管理課	●		

(2) 誰もが利用しやすい体育施設の整備

より多くの市民がスポーツの機会を得るためには、体育施設の安全性・利便性も重要となります。そのため、ユニバーサルデザインの考え方に基づいて各施設の整備を推進します。

① 各体育施設のバリアフリー化

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 各施設のバリアフリー調査 各施設に必要なバリアフリー化のための改修 	生涯学習課 施設管理課		●	

(3) 体育施設利用の促進

本市では各学校体育施設の開放など各体育施設において多くの市民が利用できる状況にありますが、その利用は利用者の一部固定化がみられ稼働率が低い施設等もあります。そのため、学校体育施設を含めた各体育施設が利用可能であることの周知等より多くの市民に活用してもらえるような取り組みを実施します。

① 体育施設の運営方法の改善

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 各体育施設の利用時間・利用料金の見直し 利用手続きの簡素化 	生涯学習課 施設管理課		●	

② 利用していない方に対する利用促進

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育施設の利用方法等周知のための取り組み ・ 体育施設無料開放日の設置検討 ・ 用具・スポーツ機器の貸し出し ・ トレーニングルームの利用指導等の実施 	生涯学習課 施設管理課	●		

目標2 地域資源を活用した運動・スポーツ振興

(1) 自然資源の活用

本市の豊かな自然を活かして様々な人が運動やスポーツ等を行っている状況があります。このような地域の自然資源を保全しながら活用する取り組みを支援し、市内外の方のスポーツ活動に寄与します。

① 自然資源を活用した運動・スポーツの推進

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ ビーチ等活用したイベントの実施、支援 ・ 安全に運動・スポーツを行うための情報発信 	生涯学習課 観光商工課 観光協会		●	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 南城市ウェルネス事業 		継続		

② 自然資源を活用した活動団体の支援

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動団体の情報発信 	生涯学習課 観光商工課 観光協会		●	

(2) 道路や庁舎、公共駐車場等の整備及び活用の推進

本市は高低差のある地形のため坂が多くサイクリングを行う人から練習の場として好まれています。また、日常的にウォーキングやジョギングに励む市民も多いことからより安全に楽しく運動やスポーツ活動に取り組めるように環境の整備を行います。

① サイクリングやウォーキングコース等の環境整備

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 除草や外灯設置等道路整備の推進 ・ 交流施設等へのサイクリングスタンドの設置推進 	生涯学習課 都市整備課 施設管理課 観光商工課			●

② 公共駐車場を活用した運動・スポーツの推進

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共駐車場を活用したウォーキングコースの設置 ・ 公共駐車場を活用した運動・スポーツの支援 	生涯学習課 観光商工課		●	

③ 庁舎の一部を活用した運動・スポーツの推進

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
・ トライアルサウンディングの周知	生涯学習課	●		

(3) 公園を活用した運動・スポーツ機会の創出

本市内の体育施設等ではスポーツ少年団や各スポーツサークルの利用がみられますが、一方で、多くの市民の健康や体力づくりのための施設として活用されることも望まれます。そのため、より多くの市民が公園内の運動施設を利用して運動やスポーツに取り組めるように環境の整備を行います。

① 公園内の運動施設のスポーツ利用の促進

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園施設等を活用した運動・スポーツの支援 ・ 公園における遊歩道等の整備 ・ 公園の利便性・安全性向上の推進 	生涯学習課 都市整備課 都市計画課 施設管理課		●	

目標3 運動・スポーツ推進のための人材育成と活用

(1) スポーツ推進委員の育成と活用

スポーツ推進委員の役割はスポーツ推進のための事業実施にかかる連絡調整及び市民に対するスポーツの実技指導やその他スポーツに関する指導及び助言することです。そのため、スポーツ推進委員の知見を深め、市民ニーズに応えられる指導者としての育成を図ります。さらに各地区への派遣等、有効的な人材活用を推進します。

① スポーツ推進委員の知見の向上

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国や県で実施する指導者研修機会の参加促進 ・ 指導者資格取得支援 ・ ニュースポーツ等技術取得支援 	生涯学習課 体育協会	●		

② スポーツ推進委員の活用

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども向けスポーツ教室の指導 ・ 各地区で求められる指導者としての派遣 ・ イベントの運営に関する人材派遣等を推進 	生涯学習課 体育協会	●		

(2) 人材バンクの設立・運営

スポーツに関わる人材には、プレイヤーや指導者のみならず、医療、栄養、スポーツ科学等の専門知識を有する人がいます。これらの方々が市民のスポーツ活動へ必要に応じ専門家として関わることで、より良質な運動やスポーツ機会が得られるとともに、専門家としての活躍の場の提供が可能となります。そのため、これらの方々の人材バンクの設立を検討し、実施します。

① 人材バンクの検討

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・人材バンクとして必要な分野の調査 ・ルールの検討 ・運営方法の検討 	生涯学習課 体育協会		●	

② 人材バンクの人材発掘及び運営

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・関連分野における人材確保の方法の検討 ・関連団体との協議による運営主体の検討 ・必要に応じたマッチングを検討 	生涯学習課 体育協会			●

目標4 運動・スポーツに関する機能・組織の強化

(1) 運動・スポーツ活動に関する情報発信

本市では幅広い年代が様々な種目の運動やスポーツ活動に取り組んでいます。しかしながら、運動やスポーツを実施していない市民も多くいることから、より多くの市民がスポーツの機会を得られるように、市内で行われている運動やスポーツ活動の情報を発信し、その活動に参加しやすくします。また、小中学生のスポーツ活動の実態等をわかりやすく情報発信することで、子どものスポーツ活動への理解や協力が得られるようにします。

① 市内の運動・スポーツ活動の情報発信

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・SNSや広報誌を活用した情報発信 ・スポーツ活動団体の情報交換の場の提供 ・メールマガジン等の活用検討 	生涯学習課		●	

② 子どもたちのスポーツ活動に関する情報発信

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生のスポーツ活動の実態周知 ・SNSや広報誌によるスポーツ教室やイベント等広報 	生涯学習課 教育指導課 体育協会	●		

(2) 南城市体育協会の自走化支援

南城市体育協会においては、これまで市民のスポーツ力向上に向けた取り組みを実施しており、地域とのつながりも強いことから、今後も本市をスポーツで盛り上げるために同協会と行政の連携は不可欠です。そのため、同協会の自走化を目指すための支援を実施します。

① 活動と組織体制の見直し

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ協会設立等の支援 スポーツ少年団の強化、育成 自主財源確保も含めた中長期事業計画策定の検討 	生涯学習課 体育協会	●		

② 協会とのより密接な連携体制の構築

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 組織体制と活動方針見直し 人材バンクとの連携 スポーツコミッションとの連携 南城市総合体育大会の実施 	生涯学習課 体育協会		●	

(3) スポーツによる地域コミュニティの強化

本市ではムラヤー構想により、地域住民総参加による住みよい地域づくり、ムラヤー利活用戦略を掲げ、地域コミュニティの活性化を目指しています。そのため、スポーツの面からも地域コミュニティ強化を目指し、地域単位で行われるスポーツの取り組みに対して行政としての支援を実施します。また、各地域がスポーツを活用し地域の課題等を解決する取り組みを支援します。

① 自治会や字単位でのスポーツ活動の推進

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 区民運動会等の支援 ムラヤー利活用戦略に基づいたスポーツの取り組み支援 	生涯学習課 まちづくり推進課 体育協会	●		

目標5 関連団体等との連携

(1) 官民連携等民間事業者との連携

本市では体育施設や公園施設に対し指定管理者制度等を導入しています。そのため、指定管理者等の民間事業者と連携し効果的な施設の運営や運動・スポーツ分野での市民サービスの充実を図ります。

- ① 指定管理者やPFI事業者等との対話の場等の提供
- ② 市民が運動・スポーツを行う機会の提供

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・各体育施設事業者の話し合う場を設置 ・効率的な施設運営のための調査分析 ・市民が運動やスポーツを行うためのイベントや教室等自主事業の実施 	生涯学習課 都市計画課 施設管理課 指定管理者	●		

(2) スポーツコミッションの設立・連携

今後運動やスポーツの推進を行う上で、行政や体育協会等の関連協会、宿泊や飲食、医療等各種民間事業者の連携も重要だと考えられます。そのため、スポーツコミッションを設立し市全体での運動やスポーツ推進を図ります。

- ① スポーツコミッションの設立
- ② 本市の特色を生かした運動・スポーツの推進

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコミッションの設立 ・南城市の地域特性の調査とそれを活かした今後の展開の検討 ・複数の団体が連携したイベントの実施 	生涯学習課		●	

(3) 地域の関連団体との連携

市内のスポーツ関連団体や観光、その他産業等、様々な分野が連携することにより、市民のスポーツ活動やスポーツキャンプなどスポーツによる地域の活性化に様々な広がりを見せる可能性があります。そのため、各関連団体の連携した取り組みや情報共有等を促進し、これらの連携がスポーツコミッションの活動として参加できるように誘導します。

- ① 体育協会やスポーツ少年団、その他産業団体等団体間の連携体制の構築

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の連携に関わる情報を整理し、見直しを含めた再構築 	生涯学習課 体育協会	●		

- ② 関連団体や関連産業との連携促進

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコミッション参加の誘導 ・定期的な情報共有と連携した取り組みの実施 ・関連団体・関連産業によるスポーツセミナー等の開催支援 	生涯学習課 体育協会		●	

(4) 沖縄県や県関連団体との連携

県や関連団体との連携を図り、本市における運動やスポーツによる地域活性化を推進します。

- ① 県や関連団体との情報共有
- ② 運動・スポーツに関する事業実施の連携

主な取り組み	関連課・団体	短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> ・国や県の事業への情報提供 ・各種調査による情報共有 ・県で実施するスポーツイベントへの参加・協力等 	生涯学習課 体育協会	●		

● 目標値

指標	現状	目標 (R12)	根拠資料
学校体育施設開放事業の認知度	39% (R2)	50%	アンケート等で調査
市内体育施設の稼働率 (南城市玉城総合体育館、南城市陸上競技場※のみ)	南城市玉城総合体育館 全体29.7% (R1) 南城市陸上競技場 全体21.8% (R1)	南城市玉城総合体育館 全体50% 南城市陸上競技場 全体42%	体育施設指定管理者 集計
スポーツ推進委員のイベント等参加 延べ人数	14人	70人	担当課集計

※芝生の養生期間もトラックを利用した場合の稼働率

第5章 計画の推進に向けて

1. 計画の推進に向けて

(1) 計画推進のための役割分担

1) 行政

ライフステージや身体能力など市民ニーズに応じたスポーツ機会の提供や、施設を含む環境の整備など市民のスポーツ活動の推進、健康増進のために必要な施策の展開を担います。施策の実現にあたり庁内関係課や市内関連団体、民間事業者等と連携・協力し推進します。

2) 南城市体育協会

本市におけるスポーツ活動の実務的な中核組織として、競技スポーツ及び生涯スポーツの振興並びにスポーツコンベンションの推進に取り組むことが期待されます。さらに、子どもから高齢者までを対象に各スポーツ団体等と連携した活動を展開し、各地域におけるスポーツ活動の推進を図ることが期待されます。

3) 総合型地域スポーツクラブ

子どもから高齢者まで多くの市民に手軽なスポーツ機会を提供する役割だけでなく、スポーツを通じたコミュニティ形成、拡大を図ることも期待されます。そのため、新たなプログラムや参加者相互の交流機会の提供、他の団体との連携を検討する必要があります。

4) スポーツ少年団

スポーツ少年団は児童がスポーツを楽しみながら交流の輪を広げ、スポーツを通して子どもたちの健全な教育を促すことが期待されます。今後は様々な人材を受け入れるなどオープンで積極的な運営を行うことによる機能の充実と拡大が期待されます。

5) 体育施設公園等指定管理者

体育施設のサービス向上や維持管理の効率化を図るだけでなく、市民ニーズを把握しこれまで行政が実施できなかったスポーツ教室の開催等、体育施設や公園を活用したスポーツによる健康づくりや住民相互の交流を促すこと等の役割が期待されます。

6) スポーツ推進委員

市や関連団体と連携を図り、住民に対するスポーツの実技指導や助言など、施策実現のためにスポーツ活動の促進や支援する役割が期待されます。今後は地域スポーツ振興のコーディネーターや推進役としての役割も期待されます。

7) 民間のスポーツクラブ等

競技力の向上を図るため選手の人材育成や、市やスポーツ少年団等各種スポーツ団体への情報提供など、専門性を活かした連携や支援が期待されます。また、スポーツを楽しむ機会や場の提供を行い市民の健康増進を促す役割も期待されます。

8) 南城市観光協会

観光振興に繋がるスポーツイベント等の推進だけでなく、市や関連団体と連携し合宿の誘致など地域資源を活用したスポーツによる観光を推進する役割が期待されます。

9) 南城市商工会

合宿等スポーツを目的として市外から訪れる人との交流機会を創出し、地域消費の拡大を推進する役割が期待されます。今後さらに地域での消費拡大を目指し、市や関連団体と連携してスポーツによる地域ブランディングを推進する役割も期待されます。

10) 南城市社会福祉協議会

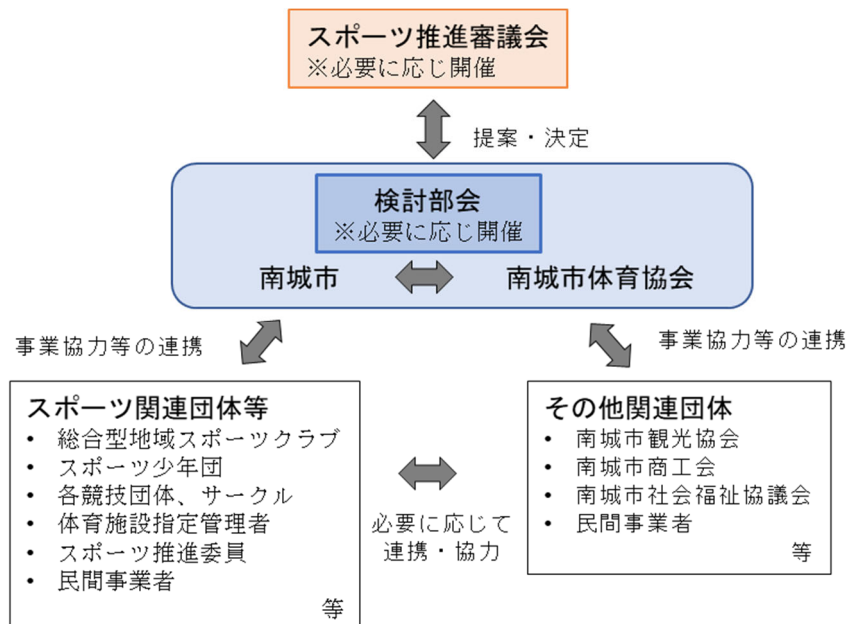
高齢者や障がい者に対するスポーツ活動を提供する役割だけでなく、多世代や障がいの有無に関係なくスポーツを通じた住民相互の交流を促し、また、今後スポーツ活動を含めた地域のリーダーとなる人材を育成する役割も期待されます。

11) 学校

子どもたちに対しスポーツを通じた心身の健全な育成や体を動かすことの楽しさを実感することを目的とした活動を推進する役割を担います。

(2) 推進体制

本計画について以下の体制で推進します。



(3) 計画の推進に向けて

1) マーケティングとマネジメント機能の強化

スポーツ推進計画においては、市民のスポーツに参加する機会を増やし、スポーツによる地域の活性化を推進するなど施策の効果が求められますが、そのため、現状を詳細に分析し、その結果から新たな活動に結びつけるようなマーケティング機能を強化します。また、関連する機関や団体等との連携した活動も多いことからマネジメント機能も強化します。

2) 学校・自治会との連携

小中学生のスポーツに接する機会はそれぞれの学校が大きな割合となり、その結果も学校が把握しているため学校と情報共有など連携を行います。自治会は市民が手軽に参加できるスポーツ機会を提供する場として、またスポーツを通じたコミュニティづくりも地域活性化の効果が期待できるため継続的な連携を維持します。

3) 沖縄県スポーツ協会との連携

沖縄県スポーツ協会は、沖縄県民体育大会の開催を始め、競技力の強化、指導者育成、普及啓発、スポーツ振興に関する研究など様々な活動を行っています。本市におけるスポーツ活動を推進していくため、同協会が実施する事業に参加することだけでなく、新たな取り組みに対するアドバイスなどを含め同協会との継続的な情報交換等の連携を行います。

4) 庁内体制と事業実施体制の構築

前述のように、スポーツ推進計画では計画期間内に数多くの取り組みを展開することを予定しています。関連課を中心に実施することとなりますが、関連する課や関係団体との情報共有等の連携が重要であるため庁内体制と事業実施体制を構築します。

また、本市のスポーツが行える公共施設は今後 PPP・PFI 等の導入が検討されており、従来の「誰もが利用できる」から「より多くの人々が快適に利用し満足感が得られる」施設の運営が求められています。そのため、より市民ニーズに答えることができる庁内体制を整備します。

5) 南城市体育協会の組織強化

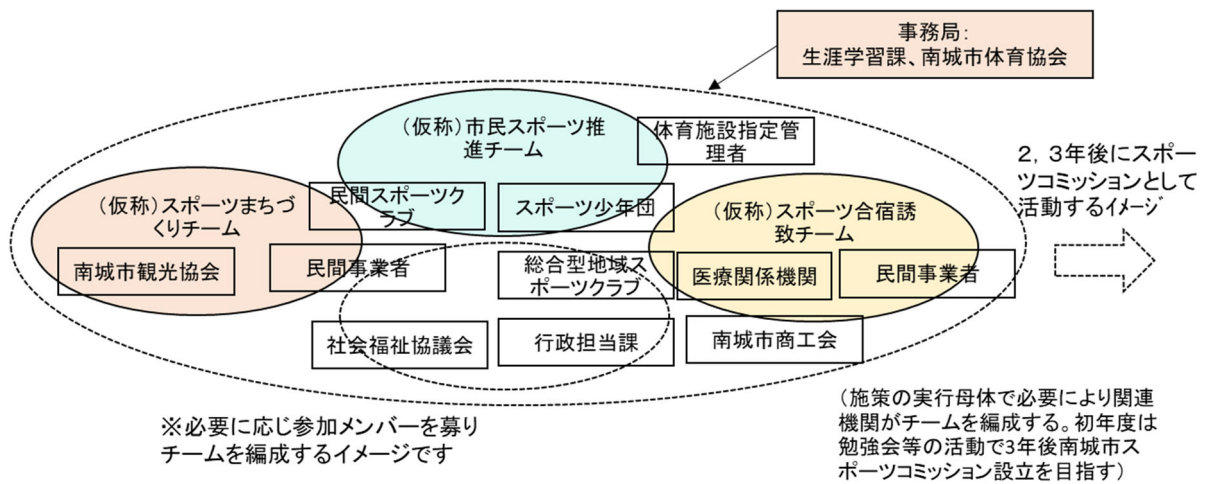
南城市体育協会は本市におけるスポーツ推進の中核的な役割を有し、南城市総合体育大会や小学校四種陸上記録会等を開催し、各自治会とも密接な連携を図っています。しかしながら、その組織は人材が不足し脆弱であるため、必要な機能を補強し現在実施している取り組み以外にも幅広く活動できる体制を構築します。

6) (仮称)南城市スポーツコミッションの設立

本市におけるスポーツ推進は、多くの市民がスポーツに接し心身の健康維持だけでなく、地域の活性化、コミュニティづくりなど幅広い目的があります。そのため、南城市観光協会や南城市商工会を始め、民間事業者や民間のスポーツクラブなど多くの関係団体との連携やそのノウハウの活用が必要となります。それらを効率的に活用し十分な効果を引き出すため、できるだけ早期に官民一体型の専門組織である(仮称)南城市スポーツコミッションの設立・運営を目指します。

なお、(仮称)南城市スポーツコミッションの設立方法の案として、まず下図のように1つの目的に対し参加する団体等を募り試験的な活動を行い、その中から可能性や課題を共有した後、賛同する団体等により組織として立ち上げるというような方法も考えられます。

(仮称)南城市スポーツコミッション立ち上げイメージ



2. 進捗管理

(1) 進捗管理の必要性

本計画で示した施策の進捗状況の確認とその効果は、第三者を含めた組織により適切に評価される必要があります。また、進捗の状況やその効果により、必要に応じて計画の見直しを行います。そのため、進捗確認を行う内容や手法についても庁内で共通認識としておく必要があります。

(2) 既存調査による継続的な進捗確認

本市のスポーツ推進においては、時代の変化等に対応した施策を展開しますが、その進捗確認は同一の指標を継続的に検証する必要があります。そのため、本調査のみならず、定期的実施される国や県、本市の総合計画やその他関連計画の調査より得られる統計データ等を活用し、継続的に進捗の確認を行います。

(3) 庁内における進捗状況と効果の共有

スポーツ推進を実施することにより、市内子どもたちの健やかな心身の成長、市民の健康増進、競技スポーツの躍進、地域力の向上、本市のブランディングの促進など、さまざまな効果が考えられます。このような多面的に効果が得られることから、進捗状況とその効果について関連課とお互いに情報を共有することが必要です。

(4) 議論の場の設置

施策の進捗状況の確認とその効果は適切に評価される必要があるため、行政や関連団体で構成される「南城市スポーツ推進審議会」において定期的な成果指標の達成状況の確認を行い、さらなる施策展開のための情報共有と議論を行います。



資 料 編

1. 用語集
2. 市民アンケート
3. 児童・生徒アンケート
4. 計画策定の体制と経過
5. 南城市スポーツ推進計画諮問書・答申書



資料編

1. 用語集

【あ行】

- **アスリート**
運動選手のこと。

【さ行】

- **スポーツコミッション**

スポーツと景観・環境・文化などの地域資源を掛け合わせ、戦略的に活用することでまちづくりや地域活性化につなげる取り組みを推進するために地方公共団体とスポーツ団体、観光産業などの民間企業が一体となった組織。スポーツ庁では平成27年度よりスポーツコミッションの活動を支援する事業を実施している。

- **スポーツ推進委員**

市町村におけるスポーツ推進のため、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツ実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うもの。

- **総合型地域スポーツクラブ**

身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブのこと。子どもから高齢者までさまざまなスポーツを愛好する人々が、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる特徴を持った地域住民により自主的・主体的に運営される。

【た行】

- **地域ブランド**

地域の特徴を生かした商品やサービスの銘柄。または地域そのものの魅力や価値の総体をいう。

- **トップアスリート**

その競技で最高水準の実力を認められている運動選手。

- **トライアルサウンディング**

市が保有する公共施設等の暫定利用を希望する民間事業者を募集し、一定期間、実際に利用してもらう制度のこと。

【な行】

- **ニュースポーツ**

新しく考案、または日本に紹介されたスポーツの総称。一般的に勝敗を競うよりも楽しむことを主とした、誰もが楽しめるスポーツのこと。

【は行】

- **バリアフリー**

高齢者や障がいのある人が不便を感じないで生活できるよう障壁を取り除くこと。出入口の段差解消やトイレや廊下等の必要な箇所に手すりを設置することがその例。

- **パラスポーツ**

障がいのある方が行うスポーツのこと。障がいの種類や程度に応じてルールや用具を工夫して行うという特徴があり、障がいの有無にかかわらずともに楽しめるスポーツとして発展していく可能性を秘めている。

2. 市民アンケート

(1) アンケート結果

市民に対しアンケート調査を行い、市民の運動・スポーツへの状況について分析を行うとともに、類似するアンケート項目について「平成 29 年度県民の体力・スポーツに関する意識調査報告書」と比較を行いました。

(2) 調査概要

調査期間 令和 2 年 9 月 9 日～令和 2 年 10 月 15 日

調査対象 ・南城市在住の 16 歳以上 79 歳以下の男女 2,065 名を人口比率により抽出し郵送
 ・主要スポーツ施設への設置、南城市ホームページ、Facebook での募集

調査項目 ・属性 ・健康・体力について ・運動・スポーツの実施状況について
 ・今後の意向について ・市内スポーツ施設について
 ・スポーツクラブでの活動について
 ・地域スポーツイベントへの参加状況と今後の意向について
 ・スポーツ情報の入手方法について ・今後の南城市のスポーツ推進について

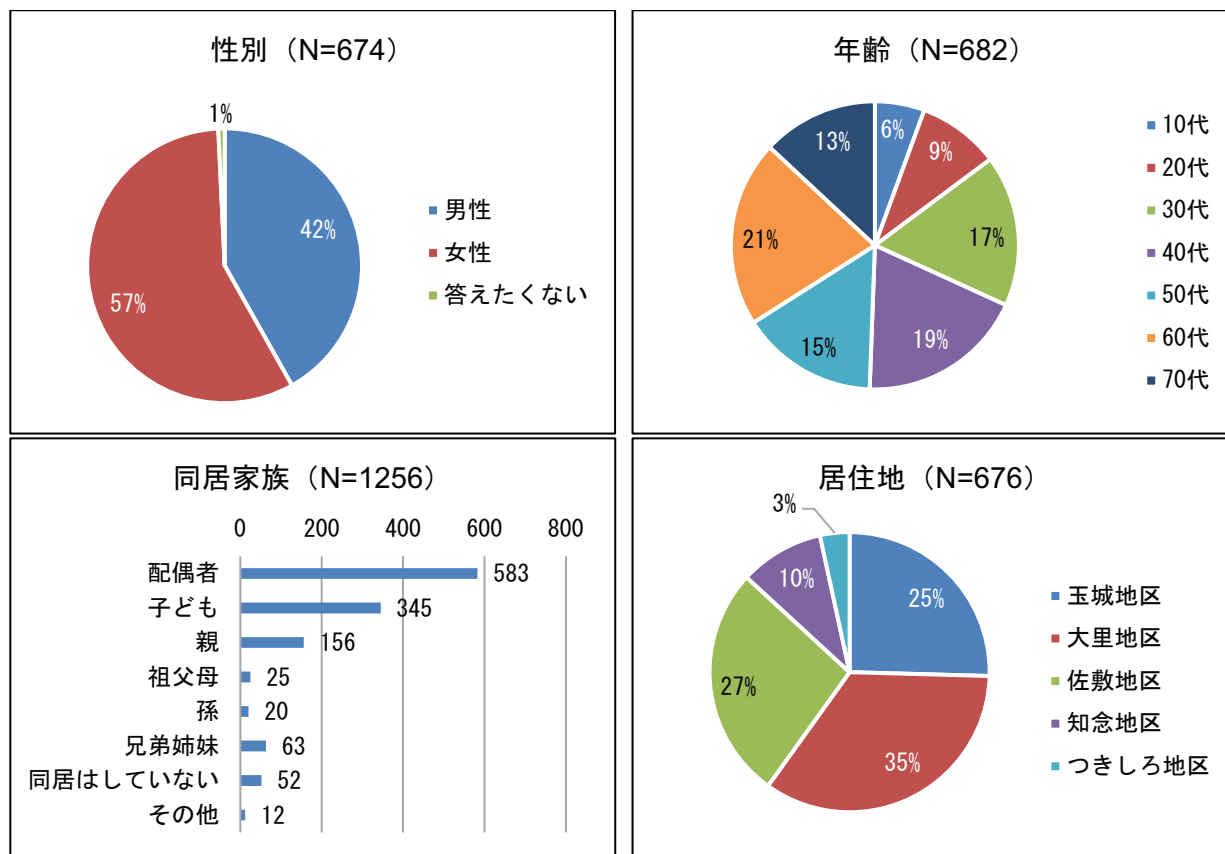
回収結果 回答数 684 件（郵送での回答 453 件、インターネットでの回答 231 件）

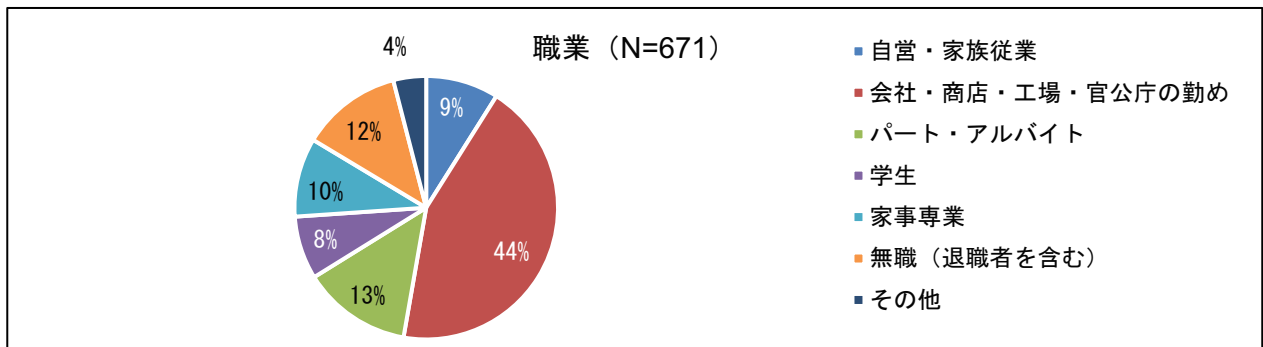
回収率 31%（郵送での配布数とその他の方法で入手・回答した方の合計 2,163）

(3) 単純集計

1) 属性

①属性（性別、年齢、同居家族、職業、居住地区）



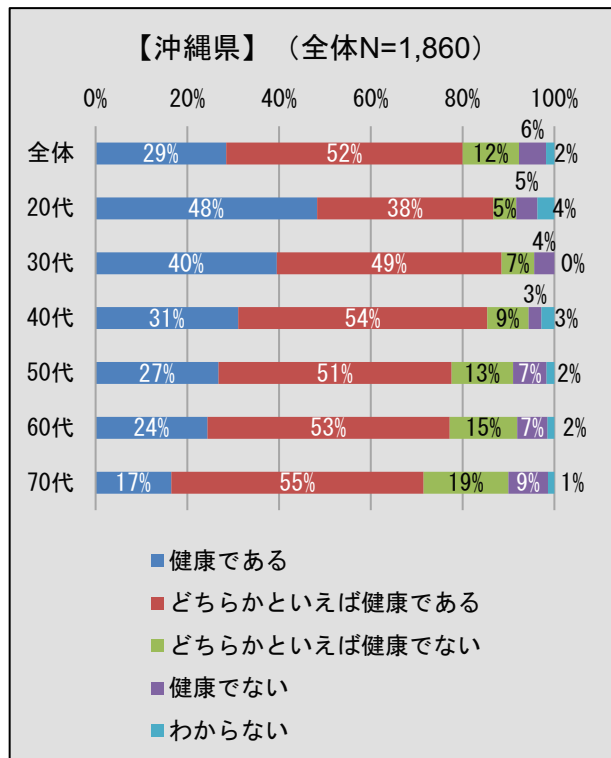
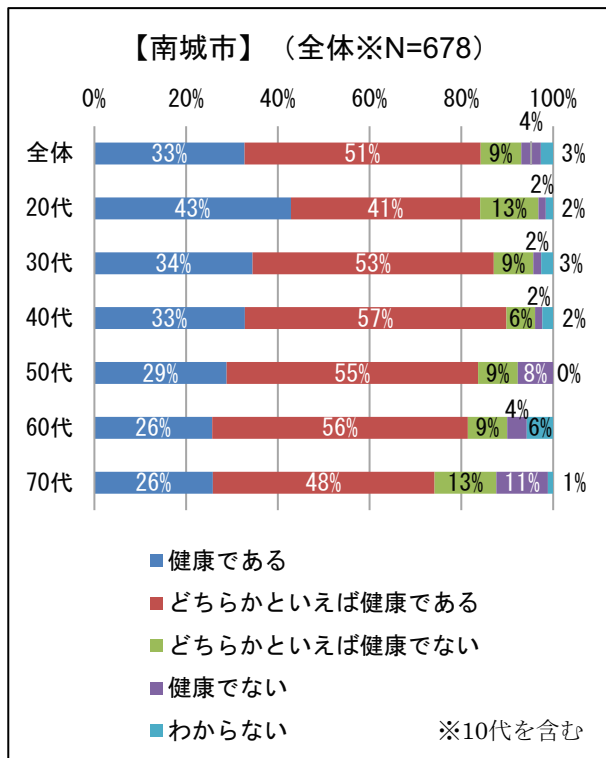


2) 健康・体力について

自身の健康や体力について、県と比較して本市の方が健康で体力に自信があると感じている人が多く肥満だと感じている人がやや少ないです。一方で、運動不足だと感じている人の割合が県と比べてやや多いです。また、健康について約90%が気を付けており、その中でも健康や体力の維持増進のため約40%が運動やスポーツを行っていると回答しました。

①健康について

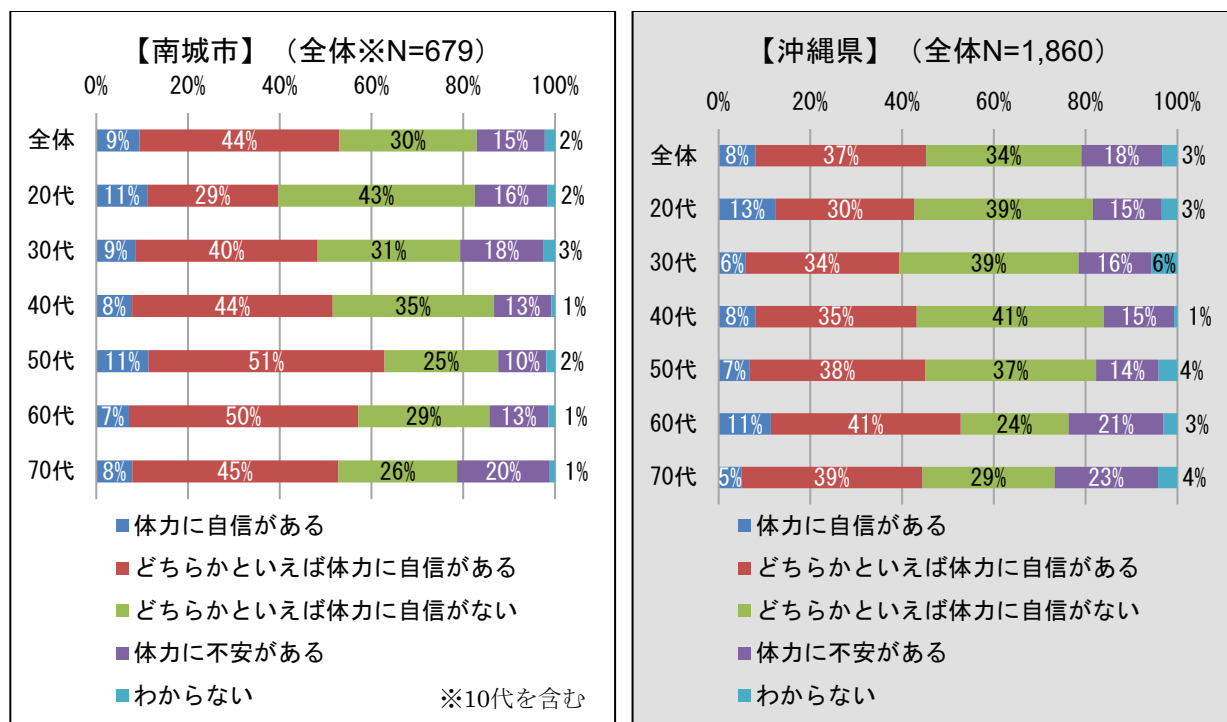
自分の健康状態について「健康である」「どちらかといえば健康である」と回答した人の割合が本市は84%なのに対し、県は81%で本市の方が県と比較して健康だと思っている人の割合がやや多いです。



出典：平成29年度の県民の体力・スポーツに関する意識調査

②体力について

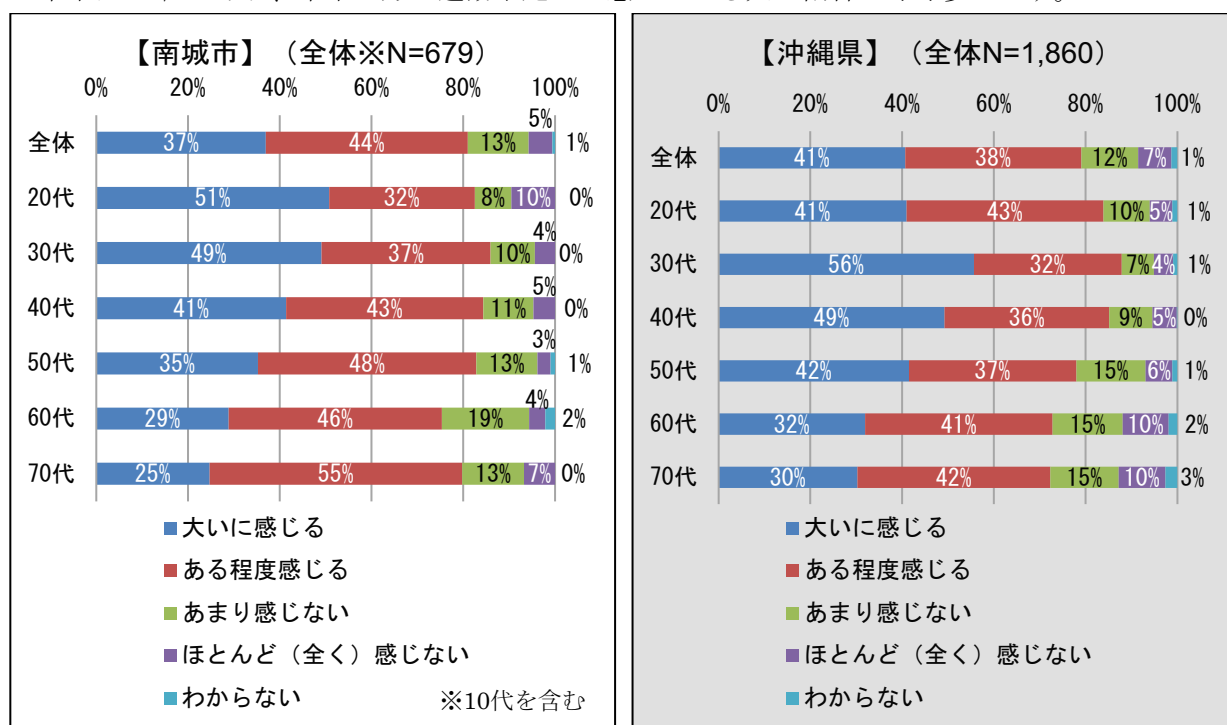
「体力に自信がある」「どちらかといえば体力に自信がある」と回答した人の割合が本市は53%なのに対し、県は45%で本市の方が体力に自信がある人の割合がやや多いです。



出典：平成29年度の県民の体力・スポーツに関する意識調査

③運動不足を感じるか

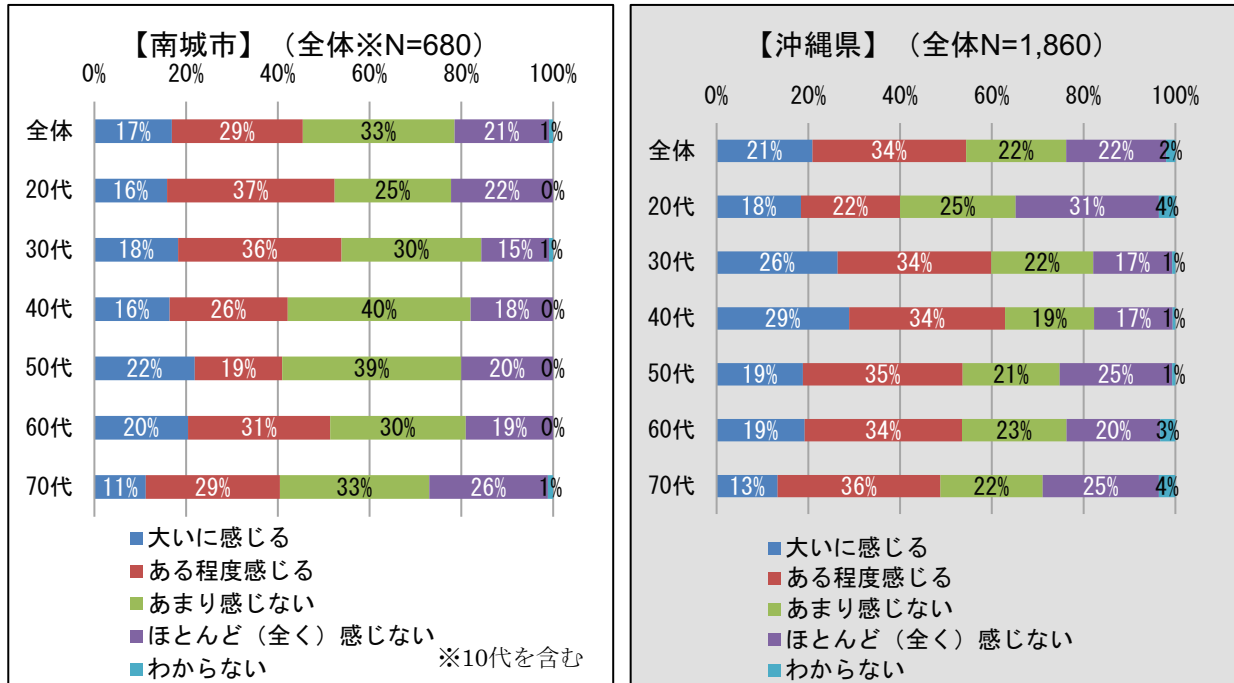
運動不足について「大いに感じる」「ある程度感じる」と回答した人の割合は県の79%に対し、本市は81%であり、本市の方が運動不足だと感じている人の割合がやや多いです。



出典：平成29年度の県民の体力・スポーツに関する意識調査

④肥満だと思うか

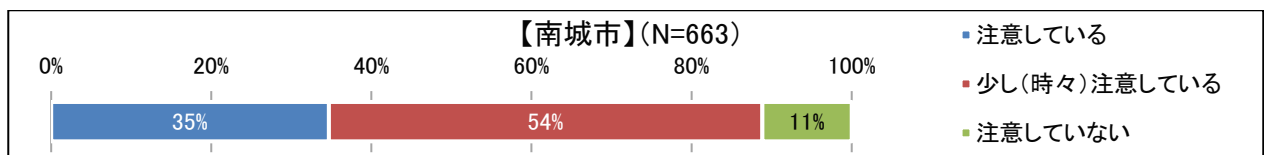
自分のことを肥満だと思うかについて「大いに感じる」「ある程度感じる」と回答した人の割合は、県の55%に対し、本市は46%で本市の方が肥満だと思っている人の割合はやや低いです。



出典：平成29年度の県民の体力・スポーツに関する意識調査

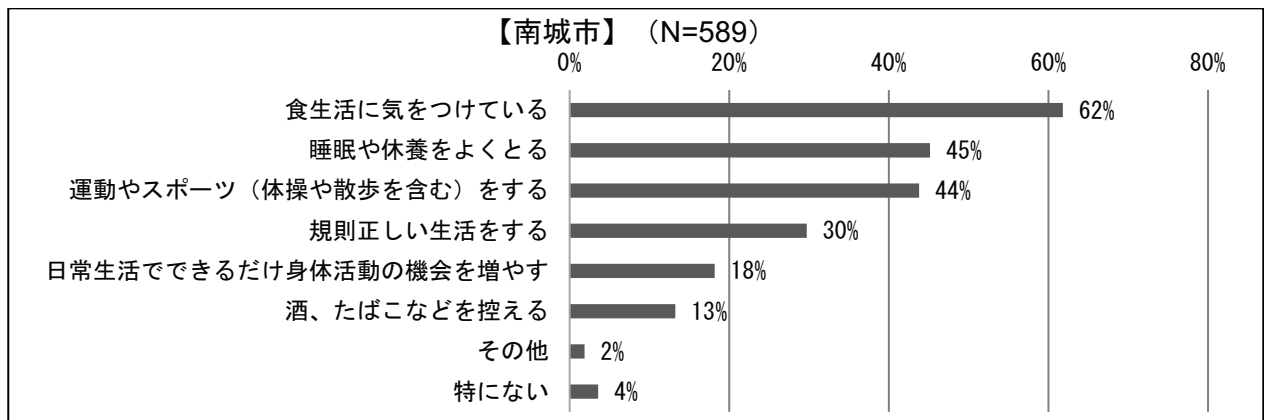
⑤健康や体力に注意しているか

健康や体力について「注意している」「少し(時々)注意している」と回答した人が89%と多くの市民が健康や体力に日ごろから注意をしています。



⑥健康や体力の維持増進のために心がけていること(あてはまるもの3つまで選択)

健康や体力について「注意している」「少し(時々)注意している」と回答した人が日頃心がけていることとして、「食生活に気を付けている」と回答した人が約6割で最も多い結果となりました。また、「運動やスポーツをする」と回答した人は約4割で3番目に多い結果となりました。



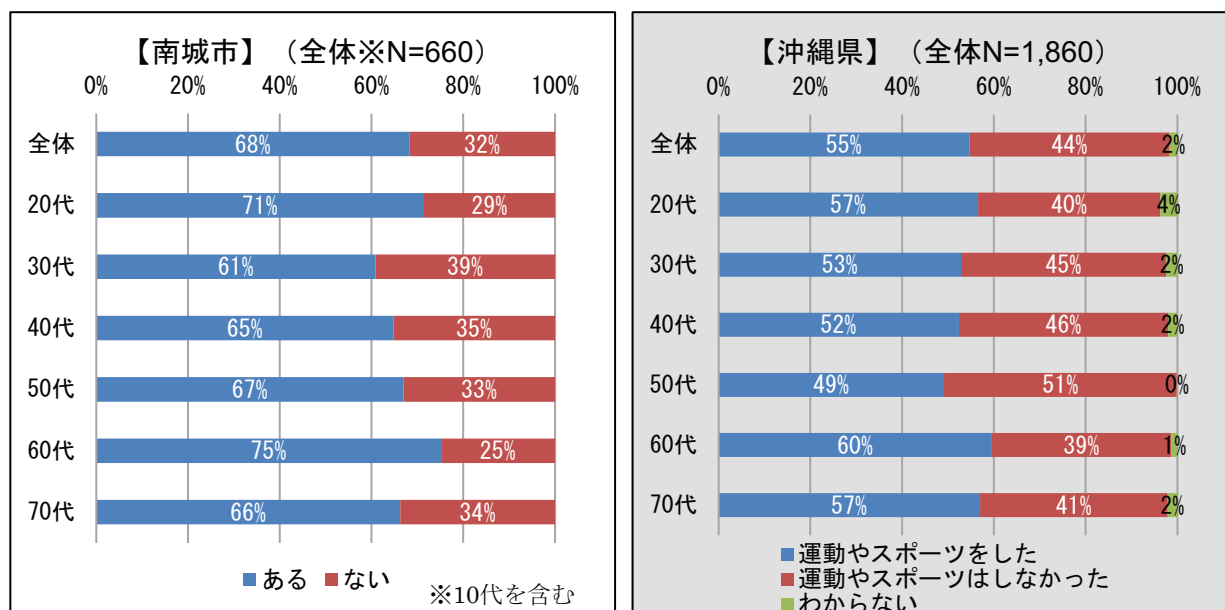
3) 運動・スポーツの実施状況

本市は県と比較して1年間で運動経験がある人が多いです。また週に1回以上運動やスポーツに取り組んでいる人の割合も多いことから日常的に運動に取り組んでいる人が多いと言えます。また、運動を行う目的として「健康・体力づくりのため」と回答した人が最も多く、1年間に行った種目では「ウォーキング・ジョギング」、誰と一緒にいったかという質問に対して「自分一人で」を回答した人がそれぞれ多く、あまりお金をかけず手軽に運動やスポーツに取り組む人が多い傾向にあります。

一方、1年間での運動経験がないと回答した人の理由として「時間がないから」が最も多く、運動実施率は子育て世代である30代が最も低く40代から再び増加傾向にあります。このことから子育て等で運動やスポーツを行う時間が取れず、一度運動から離れるものの40代以降に子育てが少し落ち着くと再び運動やスポーツに取り組む傾向にあると考えられます。

① 1年間に1日でも30分以上の運動をしたか（1年間での運動経験がある人）

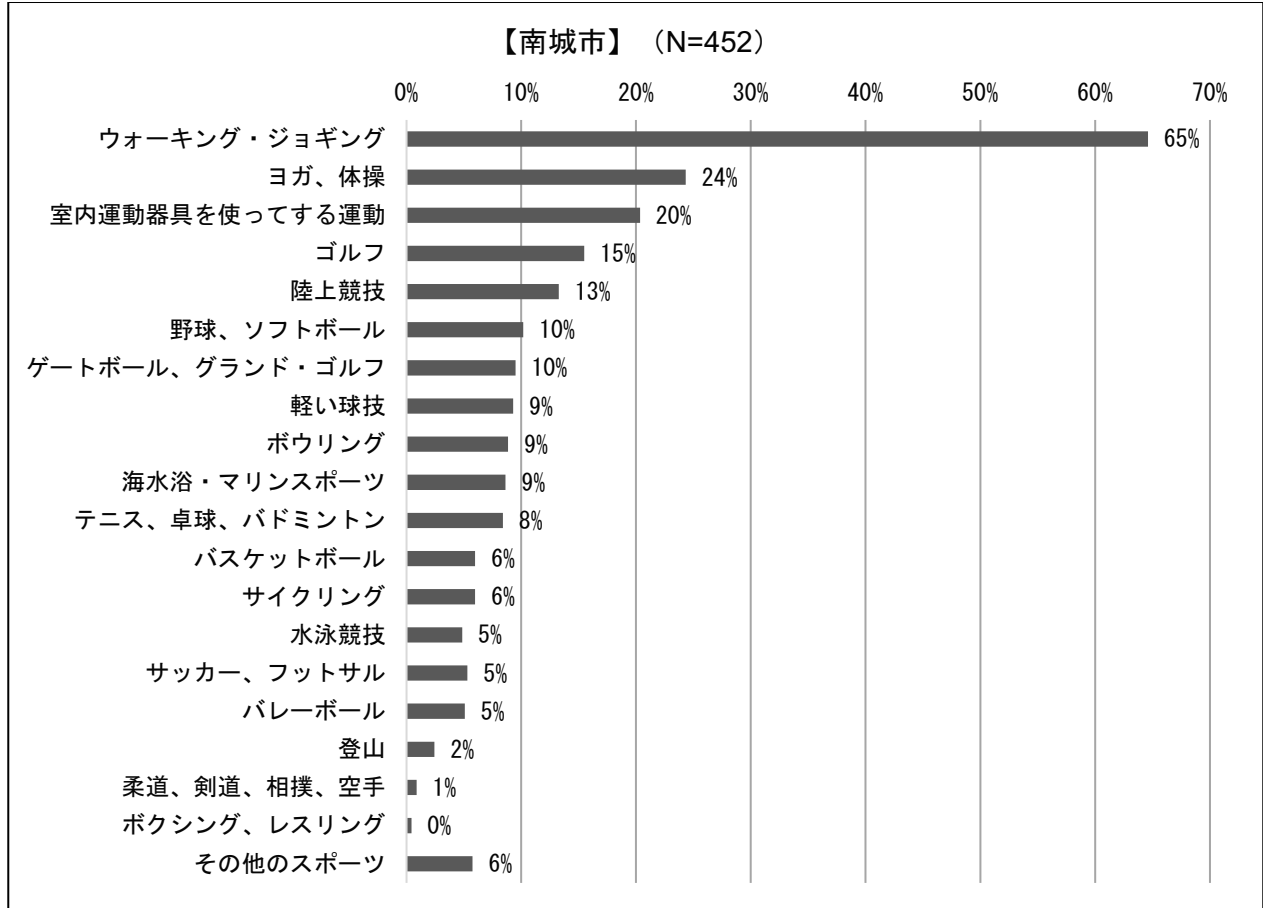
1年間に1日でも30分以上の運動をした人は、県と比較してどの世代も多く、特に50代については県よりも約2割程度多いです。また、県全体では年齢が上がるにつれ年間1日以上運動した人は減少傾向にありますが、本市では30代で減少するものの、40代、50代では再び増加しています。一方で、60代と70代を比較すると運動を行った人の割合は再び減少する傾向にあり、60代から70代にかけて県は3%減っているのに対し本市は9%減少しています。



出典：平成29年度の県民の体力・スポーツに関する意識調査

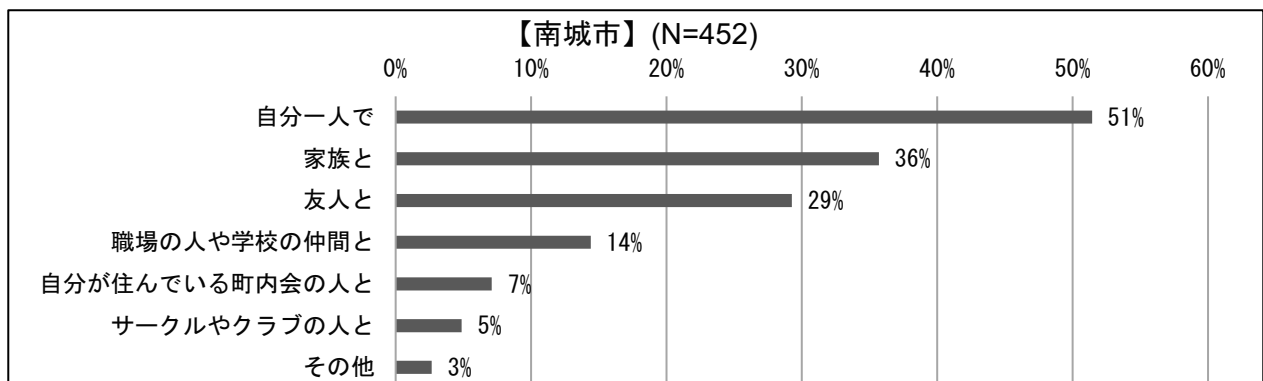
② 1年間に行った運動やスポーツの種目（あてはまるものすべて選択）

直近1年間に行った運動やスポーツの種目として「ウォーキング・ジョギング」が65%と最も多いです。次いで「ヨガ・体操」や「室内運動器具を使ってする運動」を行ったと回答する人の割合が高く、1人でも行える運動やスポーツの人気が高い傾向にあります。



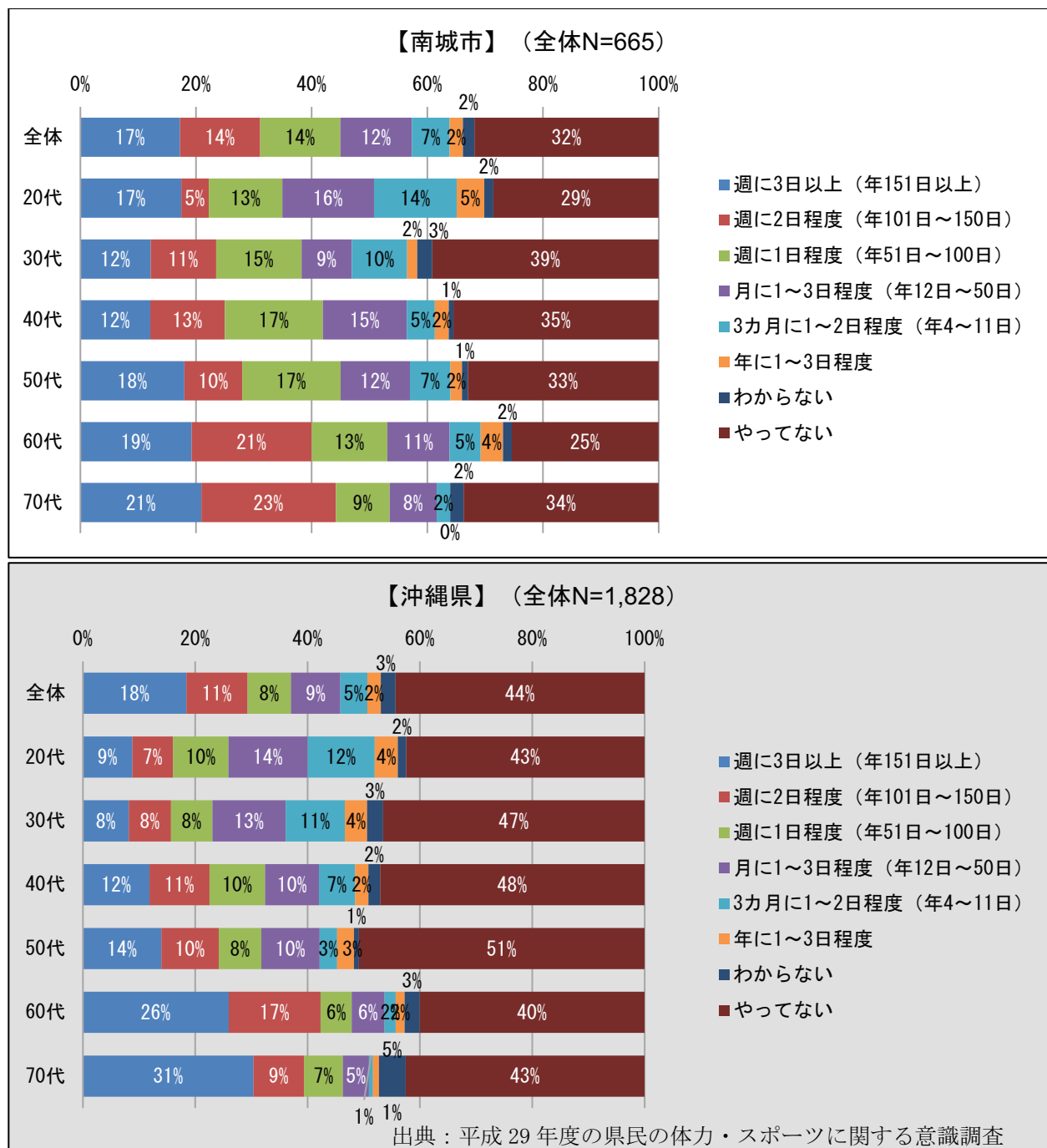
③ 1年間に誰と一緒に運動やスポーツを行ったか（主なもの2つまで選択）

「自分1人で」と回答した人が51%で最も多く、次いで、家族や友人等親しい人と一緒に行う人が多いです。



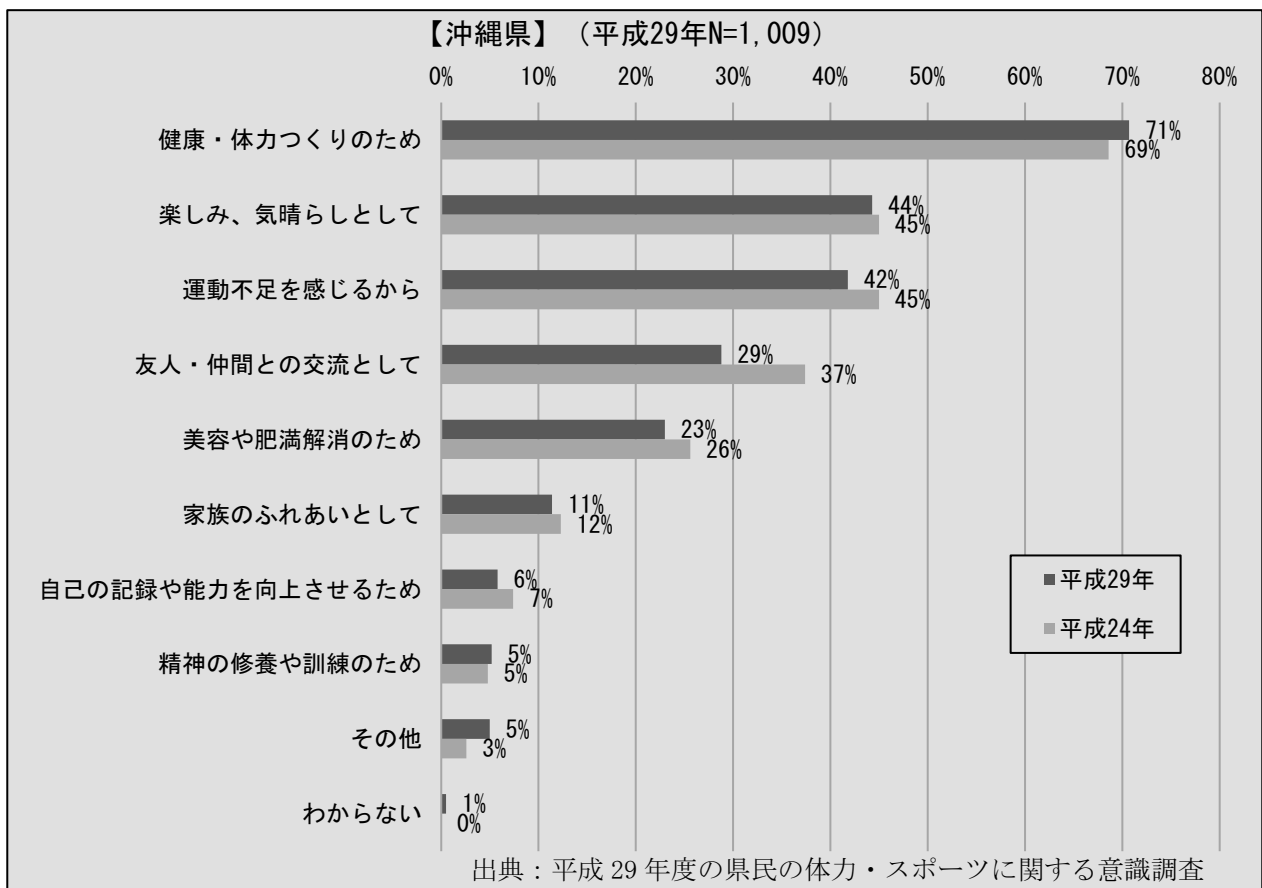
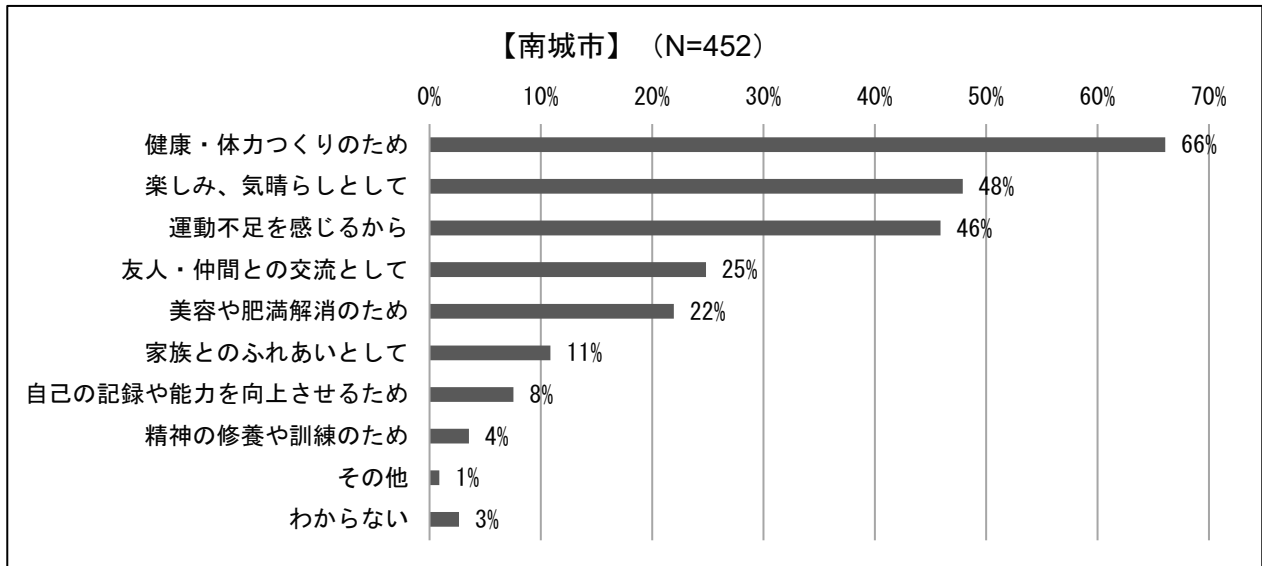
④ 1年間にスポーツを行った頻度（あてはまるもの1つ）

1年間に1日でも30分以上の運動を行った人の運動を行う頻度については、本市では週に1日以上運動している人が45%となり、県全体の37%と比較して8%多いです。さらに、年齢別の割合でみると年齢が上がるにつれて増加しています。一方で、本市の週に3日以上運動している人の60代、70代が県と比較して少なく、特に70代では1割程度、本市の方が少ないです。



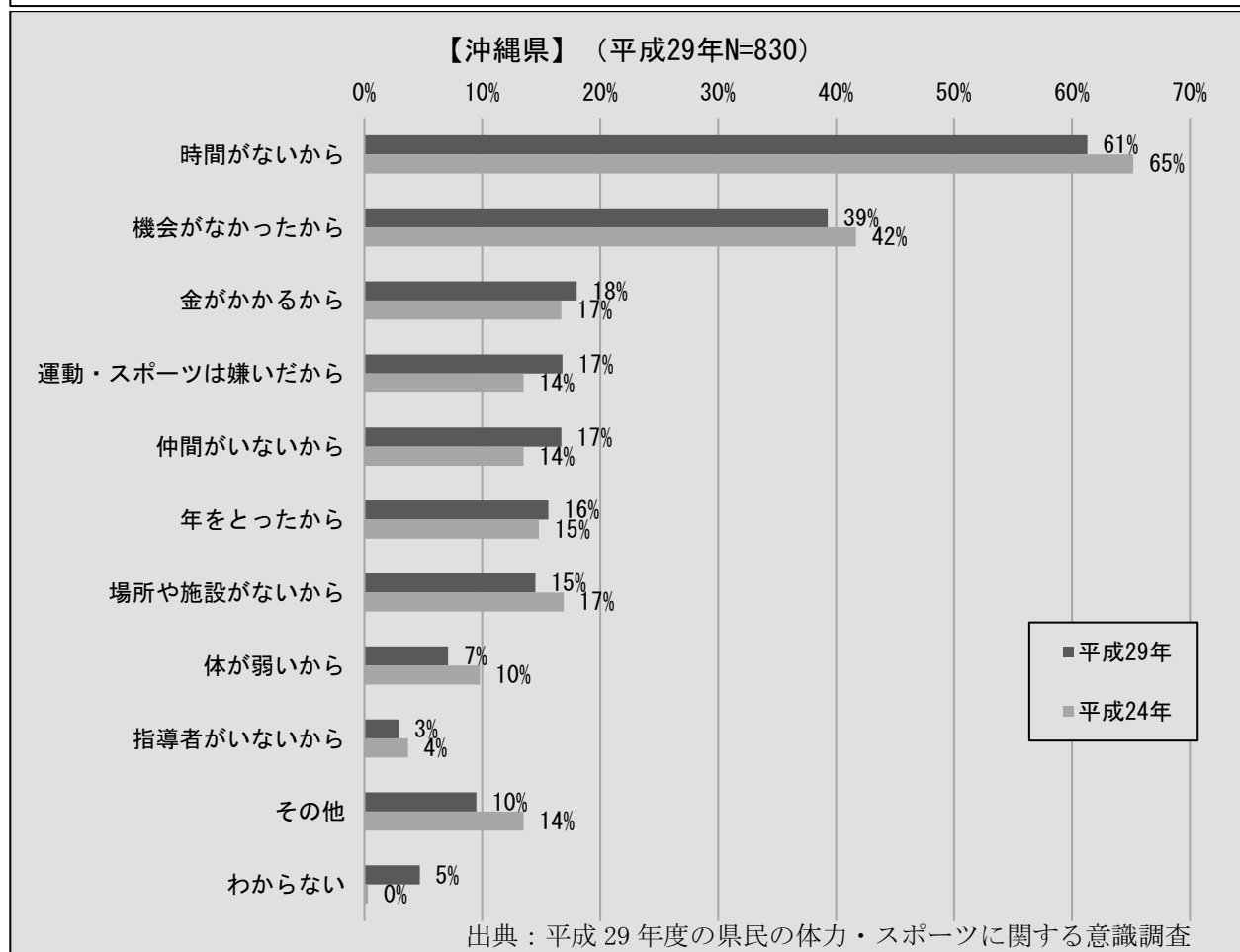
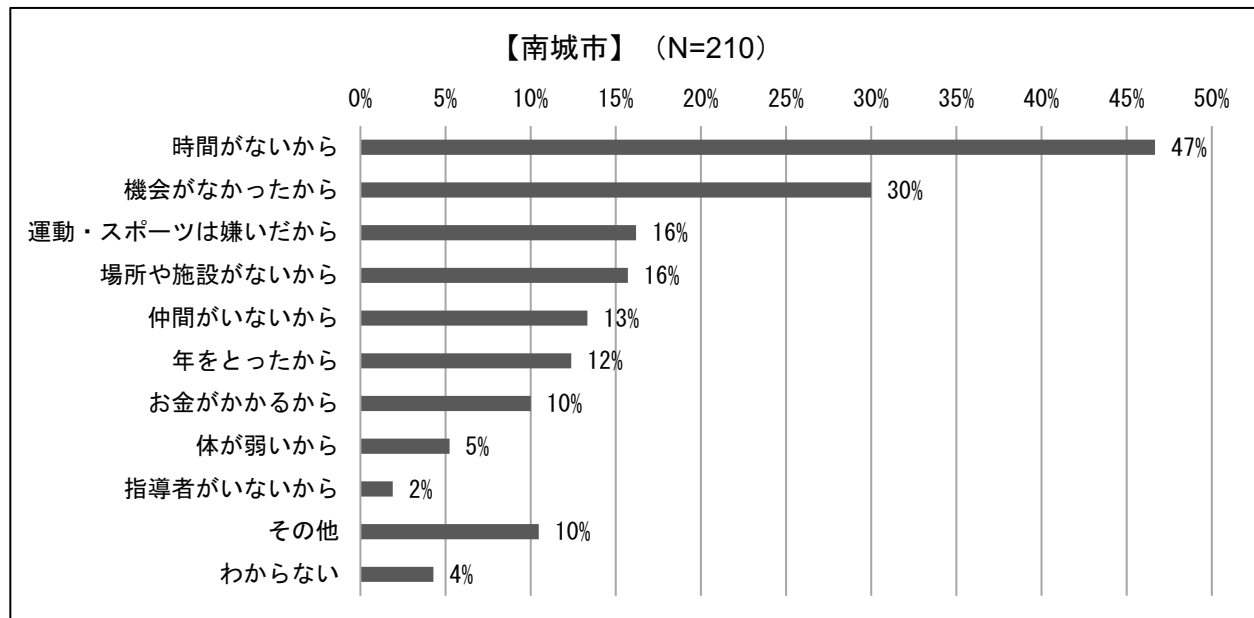
⑤運動やスポーツをした理由（あてはまるもの3つまで選択）

運動を行う理由は本市も県と同様に「健康・体力づくりのため」が最も多く、2番目以降に多い理由の順位も県と同様です。



⑥運動やスポーツをしなかった理由（あてはまるもの3つまで選択）

運動を行わない理由は本市も県と同様に「時間がないから」が最も多いです。また、「金がかかるから」を選択した人が県では18%なのに対し本市では10%で運動やスポーツを行うことに金銭面のハードルは低いと感じている人が多いです。

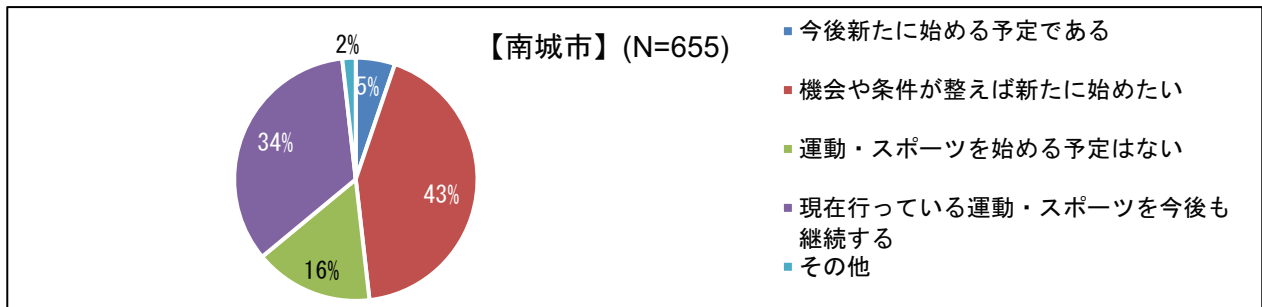


4) 今後の意向

今後新たに運動やスポーツを始めたいと考えている人は、機会や条件が整えば新たに始めたいと回答した人も含めると約50%と多く、その理由は「健康・体力づくりのため」、行いたい種目は「ウォーキング・ジョギング」と現在運動やスポーツを行っている人と同様に健康や体力の維持・向上のため手軽に運動やスポーツを行いたいと考えている人が多い傾向にあります。

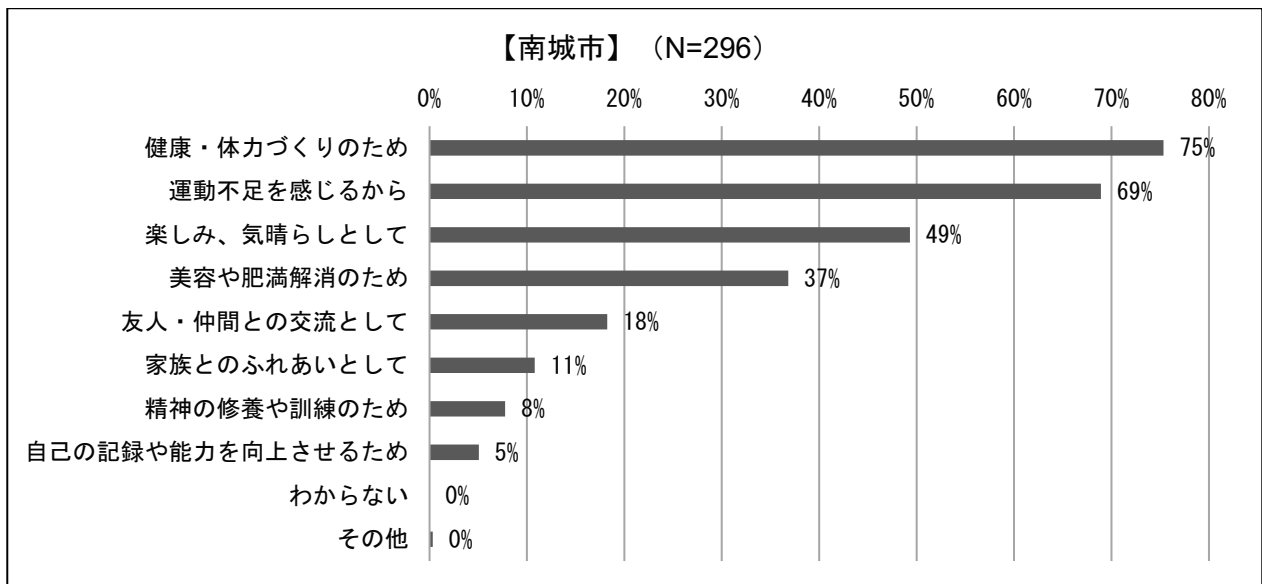
①今後、新たに運動・スポーツを行う予定について

今後の意向として、「今後新たに始める予定である」「機会や条件が整えば新たに始めたい」と回答した人が48%で半数近くの人が新たに運動やスポーツを始めたいと考えています。また、「現在行っている運動・スポーツを今後も継続する」と回答した割合は34%でした。



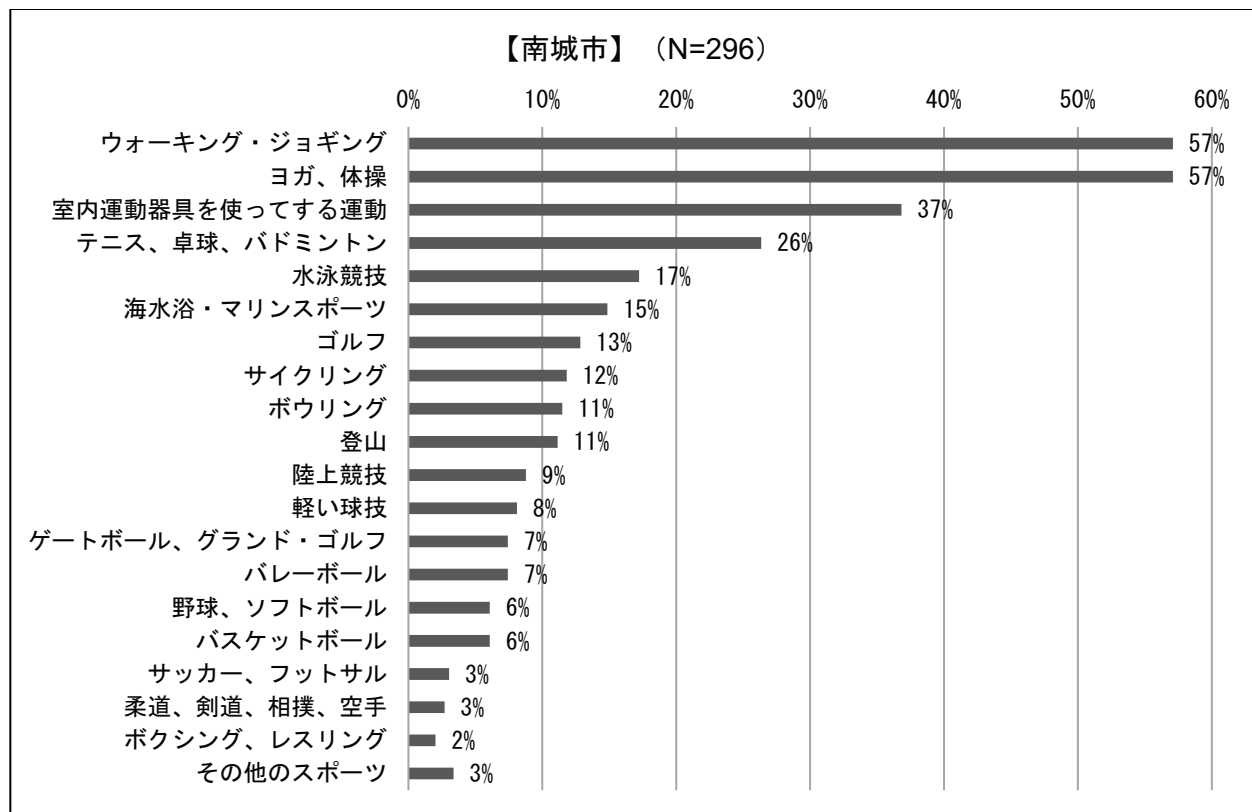
②今後、新たにスポーツ・運動を行いたいと考えている理由（あてはまるものすべて選択）

「健康・体力づくりのため」が75%と最も多く、次いで「運動不足を感じるから」が69%、「美容や肥満解消のため」が37%と自身の健康のために運動やスポーツを始めたいと考えている人が多い傾向にあります。



③今後、新たに運動・スポーツを行う場合どのような種目がしたいか（あてはまるものすべて選択）

今後新たに始めたい種目として「ウォーキング・ジョギング」「ヨガ、体操」「室内運動器具を使ってする運動」と回答した人の割合が高く、現在行っている運動やスポーツの種目を向う質問で上位の種目の人気が高い傾向にあります。

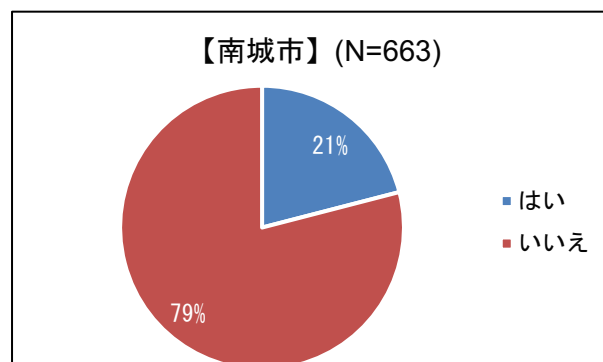


5) 市内スポーツ施設について

市内スポーツ施設を利用したと回答した人は全体の約2割と少なく、利用されている施設もばらつきがあります。施設を利用している人の感想として「施設・設備が充実しており、使いやすい」が多いものの、市民全体がスポーツ施設に望むことの上位の意見として「スポーツ施設の整備・充実」等施設の設備の充実に関するものが多いです。また、学校体育施設が一般に開放されていることを約6割の人が「知らない」と回答したことから既存の体育施設で行える種目や設備等についてあまり知られておらず市民への周知が必要であると考えられます。

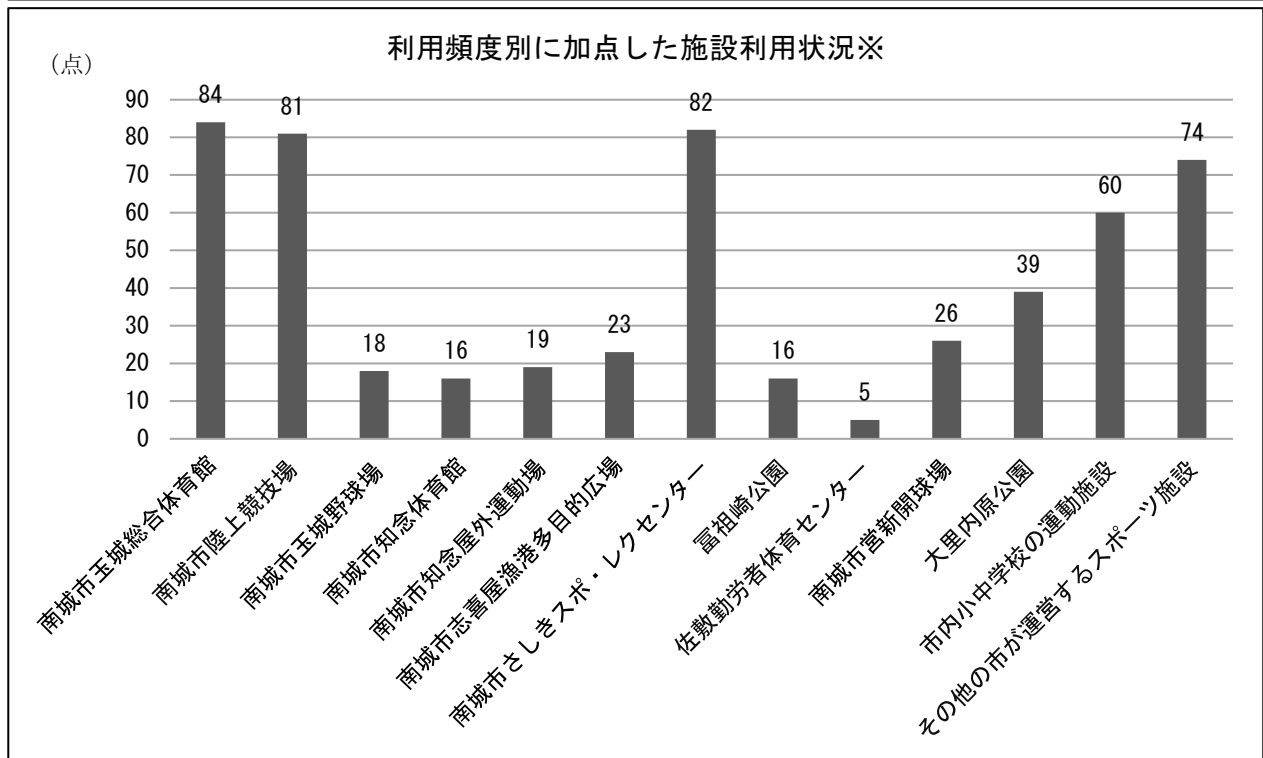
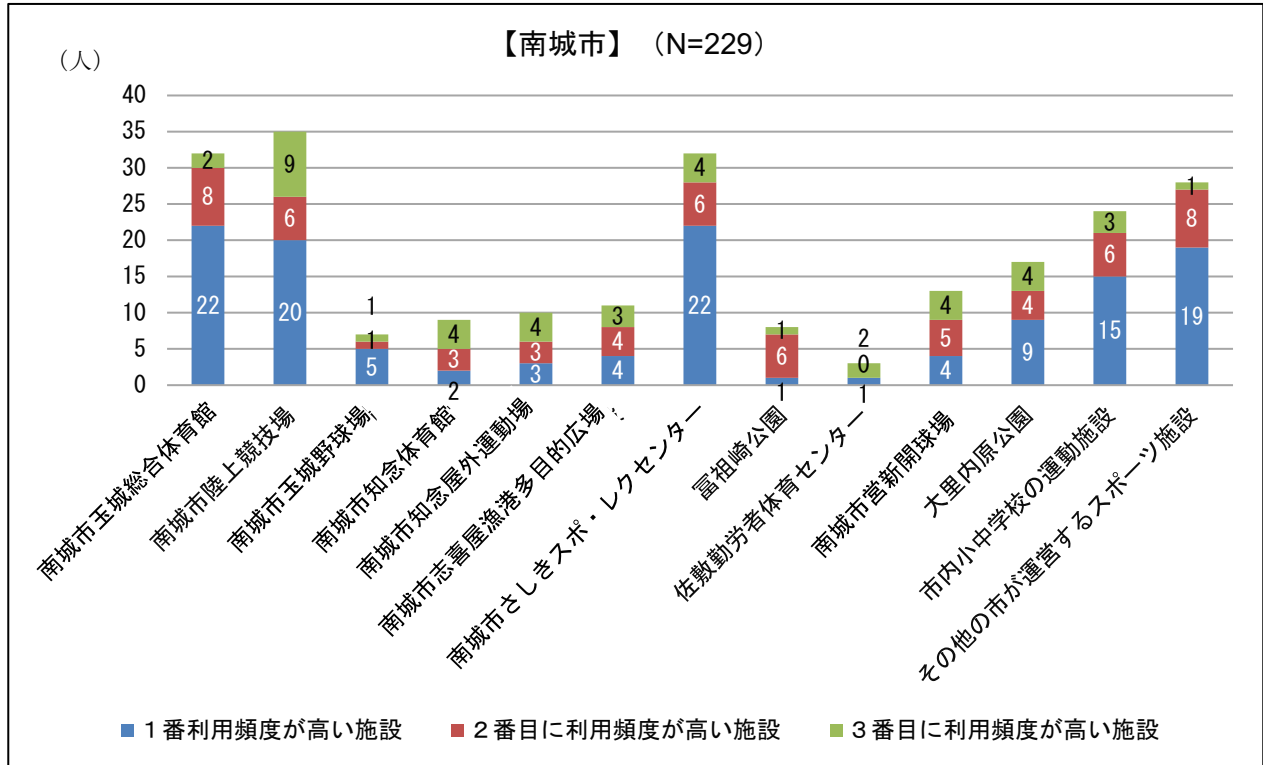
①この1年間に南城市が運営するスポーツ施設を利用したか

本市が運営するスポーツ施設を利用したと回答した人の割合は21%に留まりました。



②この1年間に利用した市が運営するスポーツ施設について

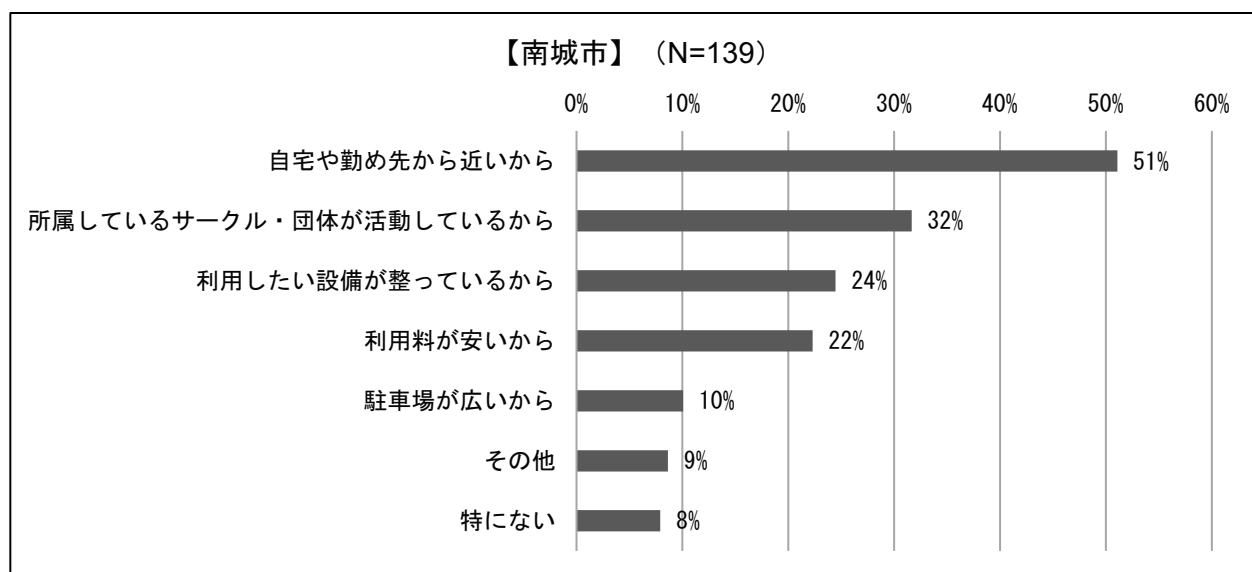
利用している人数は南城市陸上競技場が最も多く 35 人だったものの、利用頻度別に加点した利用状況では玉城総合体育館の利用が最も多いです。また、屋外の施設よりも屋内の施設の方が多く利用されている傾向にあります。



※各スポーツ施設利用者数に対して「1番利用頻度が高い施設」に3点、「2番目に利用頻度が高い施設」に2点、「3番目に利用頻度が高い施設」に1点を加点し、アンケート回答者の利用頻度に対応した利用状況を算出しました。

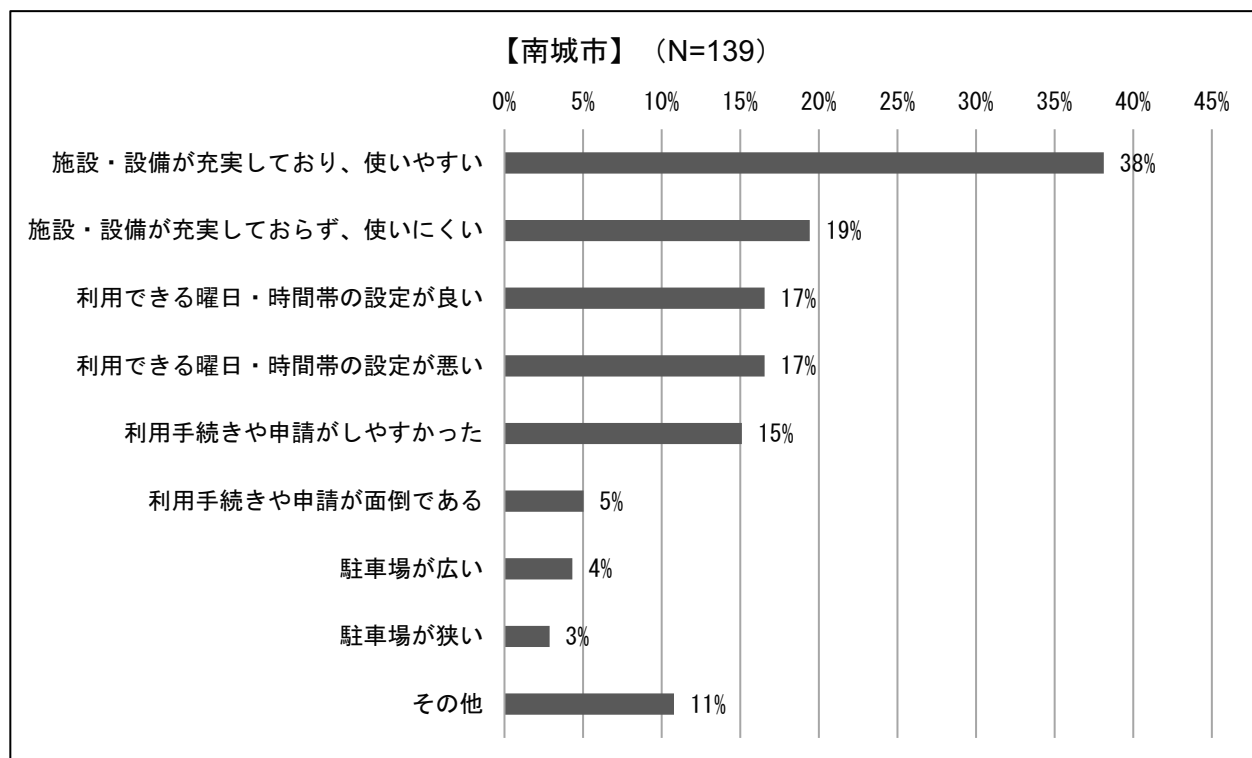
③最も利用したスポーツ施設について、その施設を利用した理由（あてはまるものすべて選択）

「自宅や勤め先から近いから」と回答した人の割合が51%で最も多く、スポーツ施設の設備よりも自宅や勤め先からの距離を優先している傾向にあります。



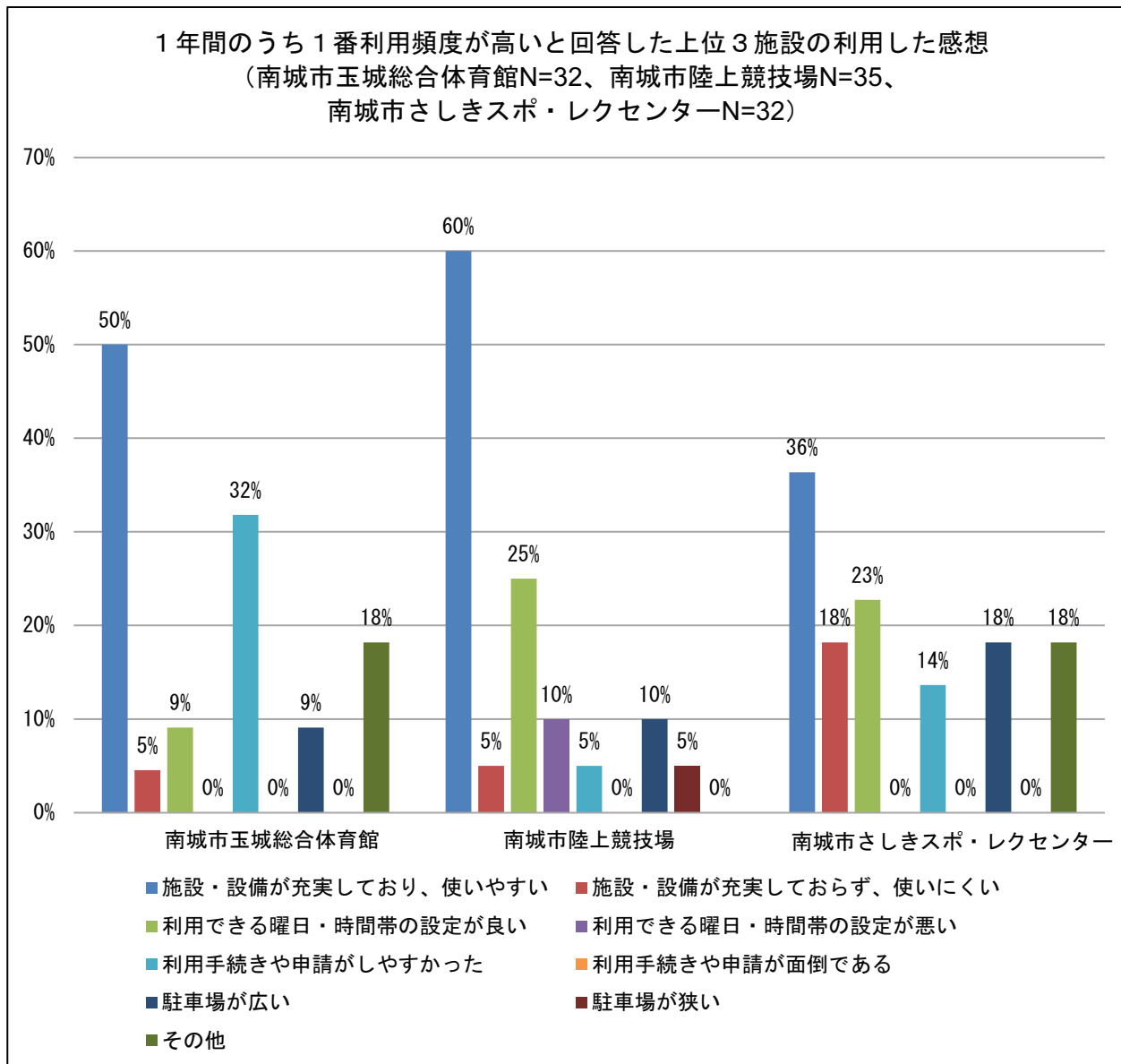
④最も利用した市が運営するスポーツ施設を利用した際の感想（あてはまるもの2つ選択）

「施設・設備が充実しており、使いやすい」と回答した人が38%で最も多いです。一方で「施設・設備が充実しておらず、使いにくい」と回答した人は19%で、市内のスポーツ施設を利用している人の多くは現状の施設に満足している傾向にあります。



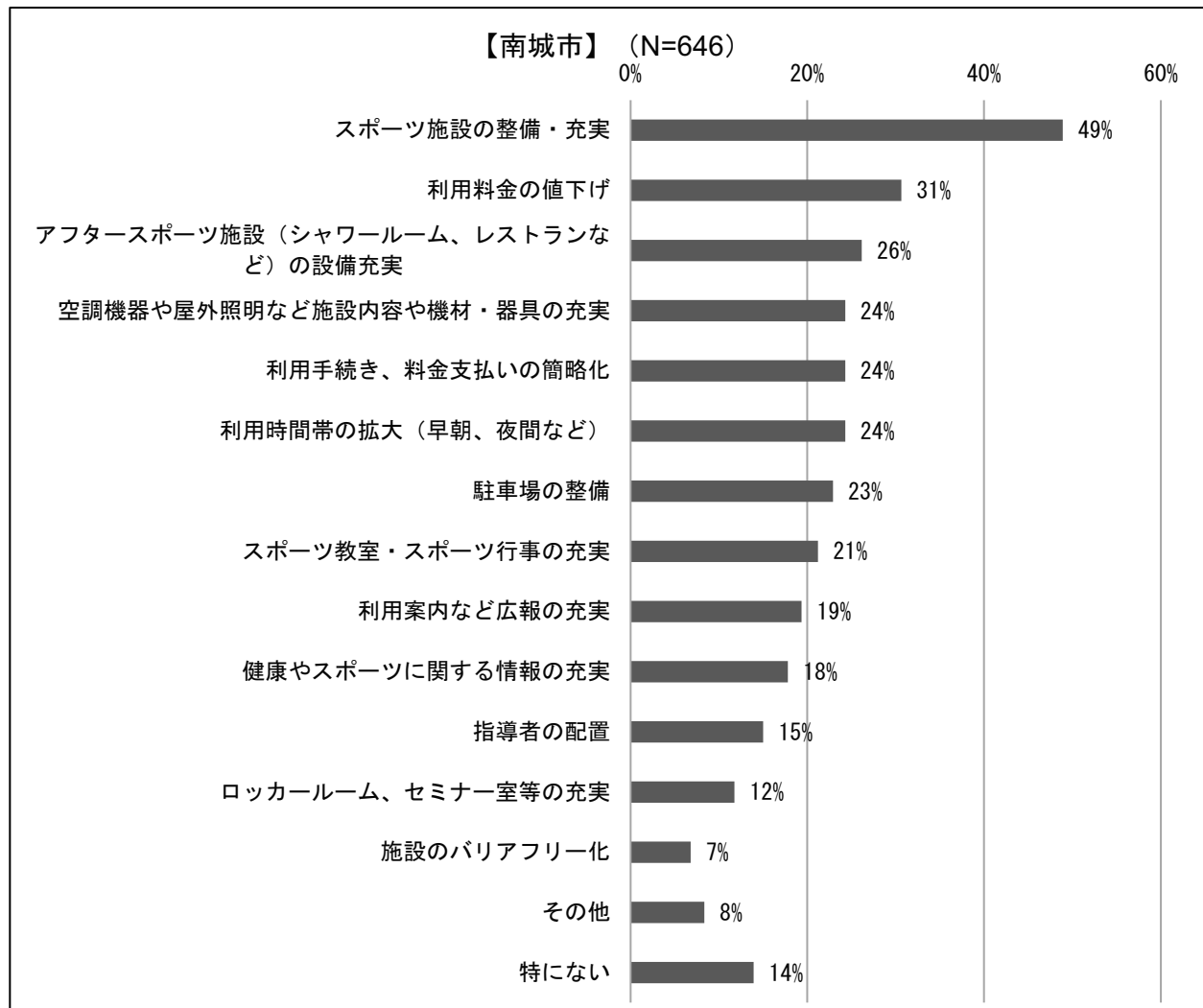
■ この1年間のうちに市が運営するスポーツ施設で1番利用頻度が高いと回答した人の数が多かった上位3施設の利用した感想（あてはまるもの3つまで選択）

この1年間のうち本市が運営するスポーツ施設において1番利用頻度が高いと回答が多かった3つの施設のうち、3施設とも「施設・設備が充実しており使いやすい」と回答した人の割合が最も多かったです。次いで、南城市玉城総合体育館では「利用手続きや申請がしやすかった」本市陸上競技場と南城市さしきスポ・レクセンターでは「利用できる曜日・時間帯の設定が良い」と回答した人の割合が多く、施設の設備や利用方法等について満足している利用者が多いです。



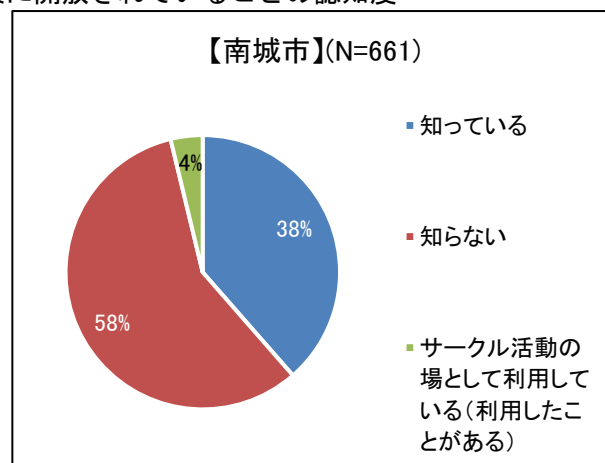
⑤南城市のスポーツ施設にどのような設備やサービスを望むか（あてはまるものすべて選択）

「スポーツ施設の整備・充実」と回答した人が49%で最も多く、「アフタースポーツ施設の整備充実」が3番目、「空調機器や屋外照明など施設内容や機材・器具の充実」が4番目とスポーツ施設の設備の充実を望む回答が多い傾向にあります。



⑥小中学校の体育館や運動場などの運動施設が一般に開放されていることの認知度

「知らない」と回答した人が58%で学校体育施設が開放されていることについて認知度が低いです。また、「サークル活動の場として利用している」と回答した人は4%とあまり利用されていません。



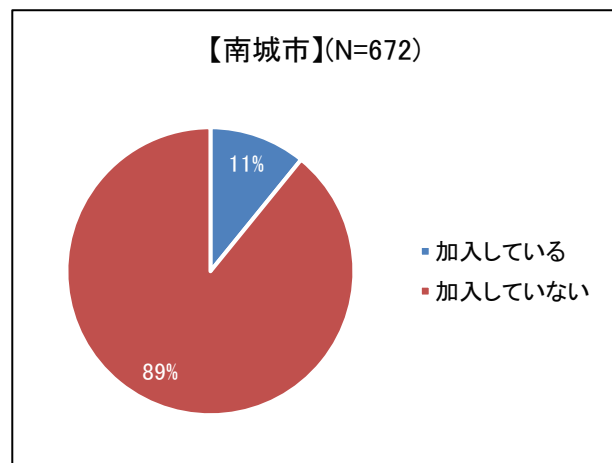
6) スポーツクラブでの活動について

スポーツクラブや同好会に加入している人の割合は11%で少ないです。加入しているクラブや同好会に所属する目的として「好きなスポーツ活動ができるから」が最も多く、行っている種目も複数人で行える種目と1人でも行える種目との差が小さいことから市内で同じ種目が好きな仲間とスポーツ楽しみたいと考えている人がクラブや同好会に加入している傾向にあると考えられます。

また、現在クラブや同好会に加入していない人の中で「加入したい」と考えている人は30%でクラブや同好会の種類は「市内の人を対象とした地域クラブや同好会」「総合型地域スポーツクラブ」と回答した人が多く、現在加入している人と同様に地域の人と運動やスポーツを楽しみたいと考えている人が多いです。

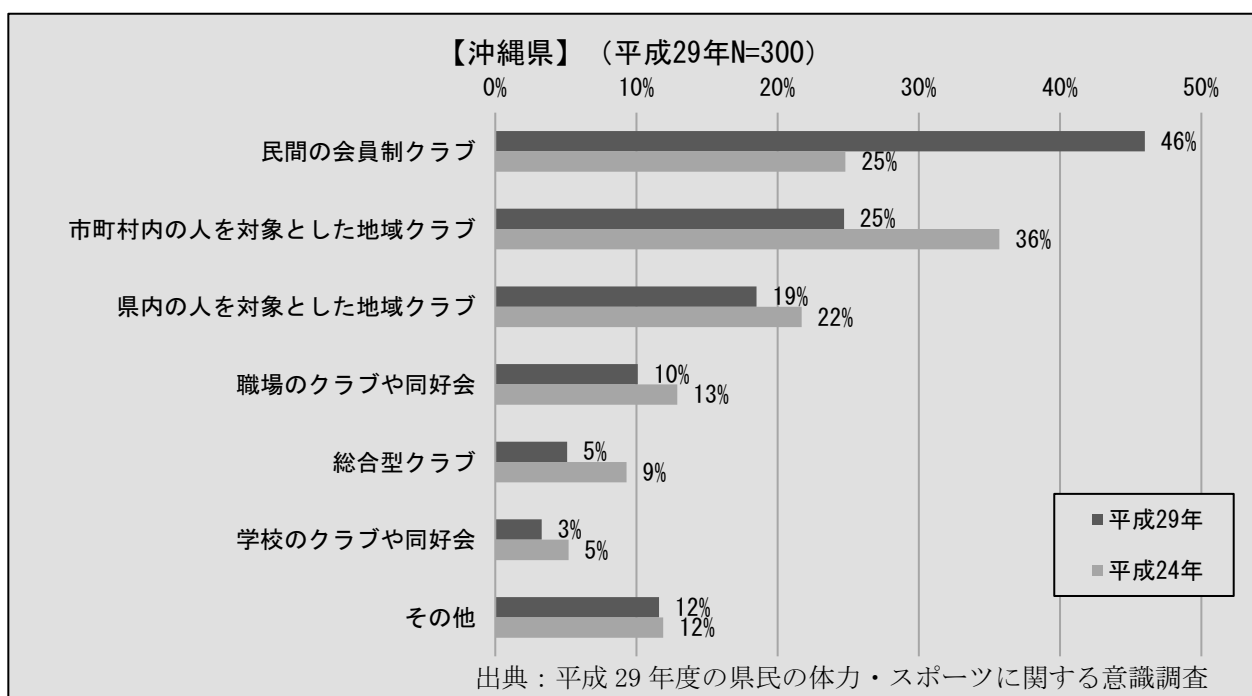
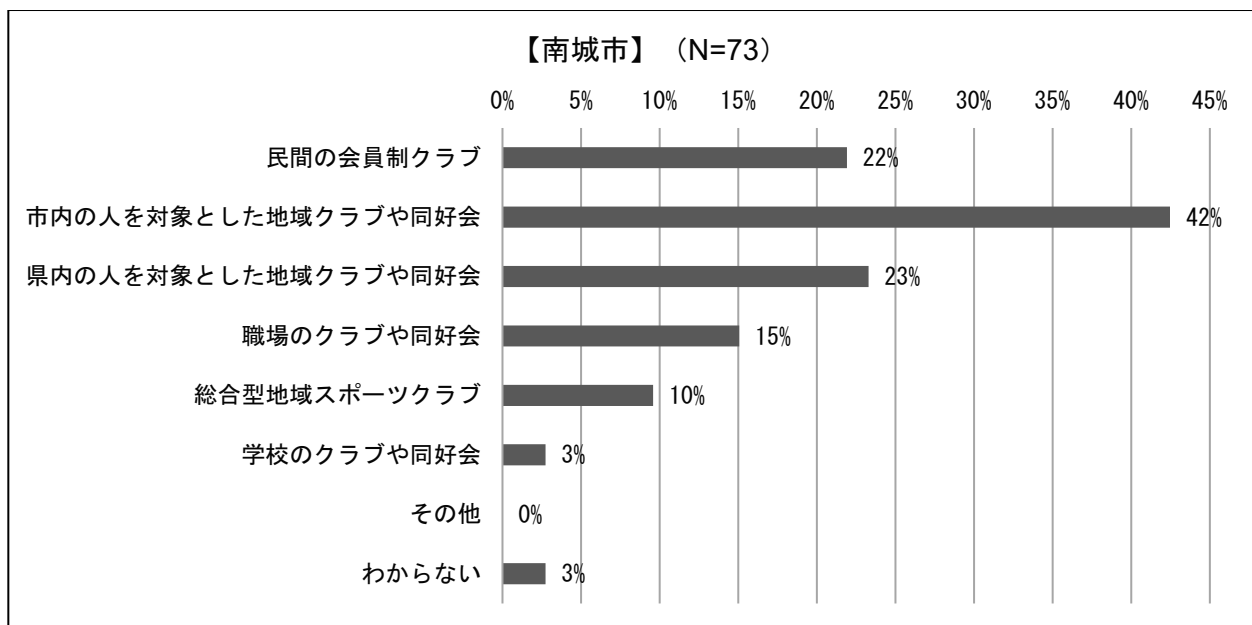
①市または民間のスポーツクラブや同好会へ入会しているか

「加入している」と回答した人11%、「加入していない」と回答した人が89%で民間のスポーツクラブや同好会へ参加している市民の割合は低いです。



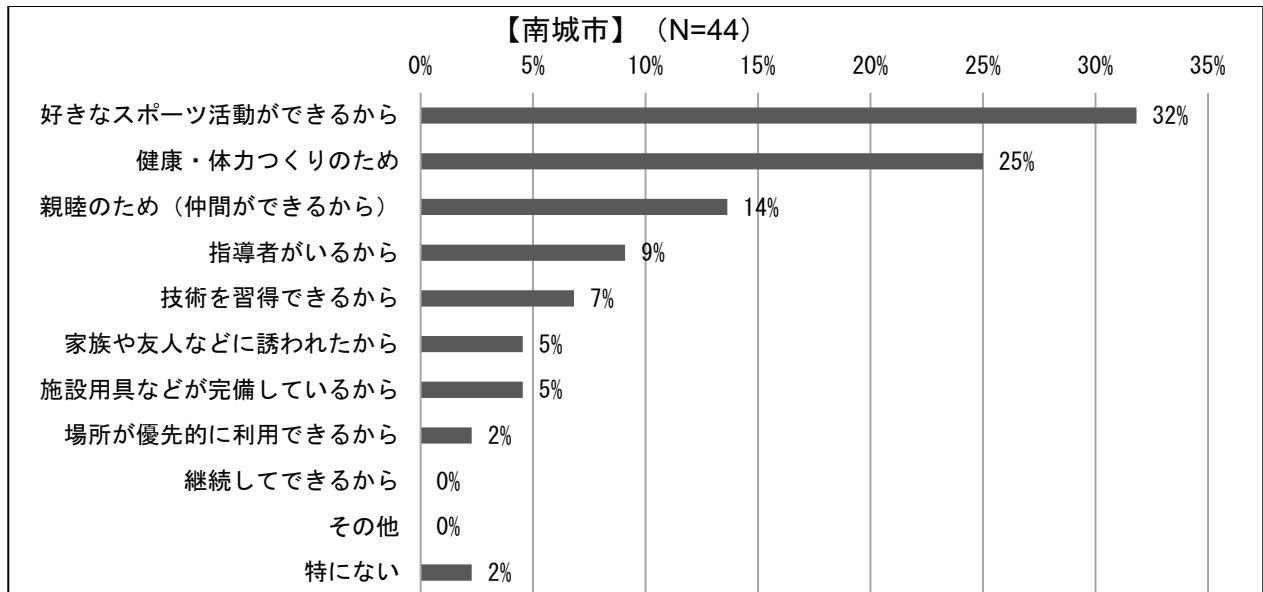
②加入しているクラブ、同好会の種類

本市では県全体と比較して「市内の人を対象とした地域クラブや同好会」、「県内の人を対象とした地域クラブや同好会」「総合型クラブ」に加入している人の割合が多く、特に「市内の人を対象とした地域クラブや同好会」は県と比較して約20%多いです。また、県全体では「民間の会員制クラブ」に加入している人の割合が46%で最も多いのに対し、本市では22%です。



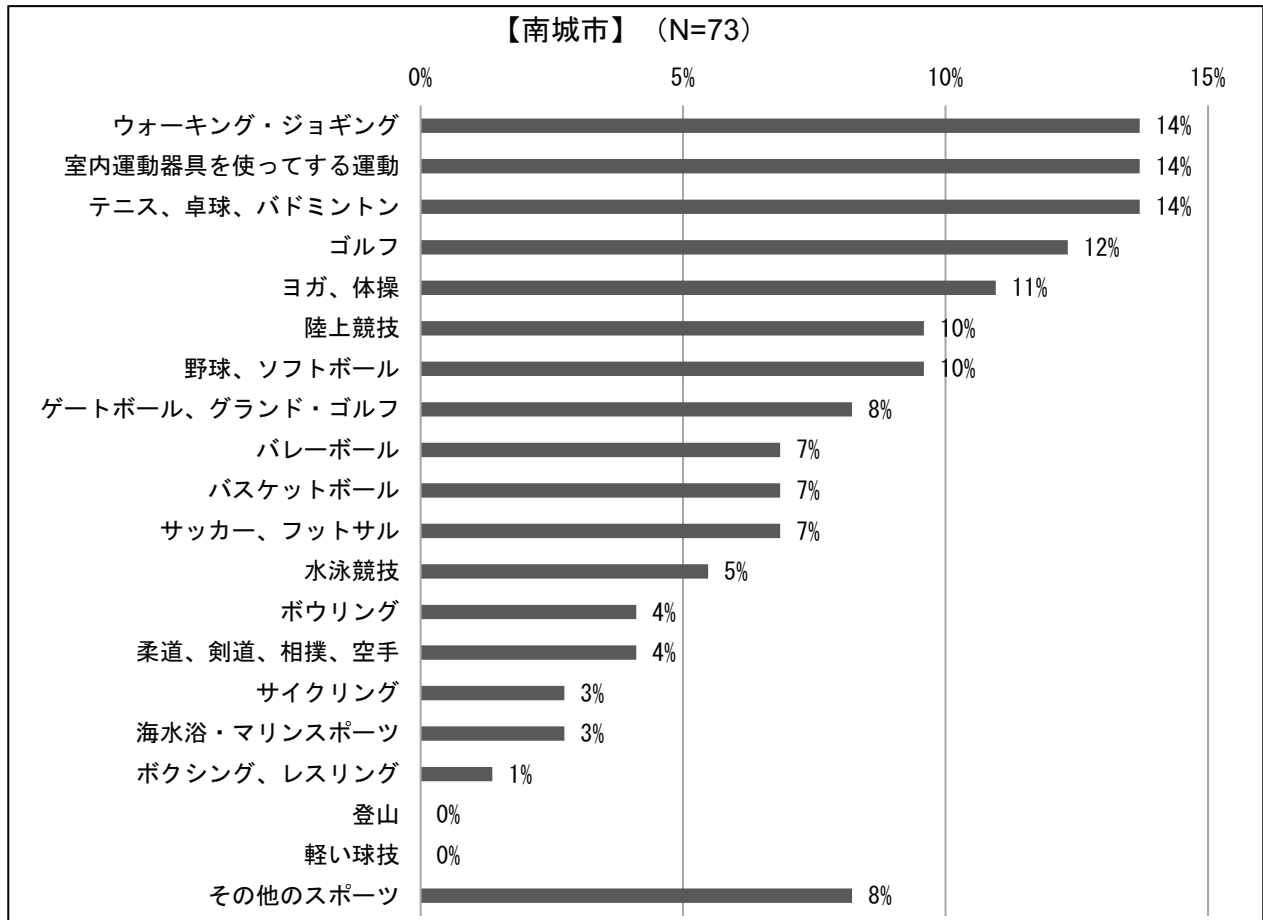
③クラブや同好会に加入した動機や目的

クラブや同好会に加入した動機や目的として「好きなスポーツ活動ができるから」が32%と最も多いです。



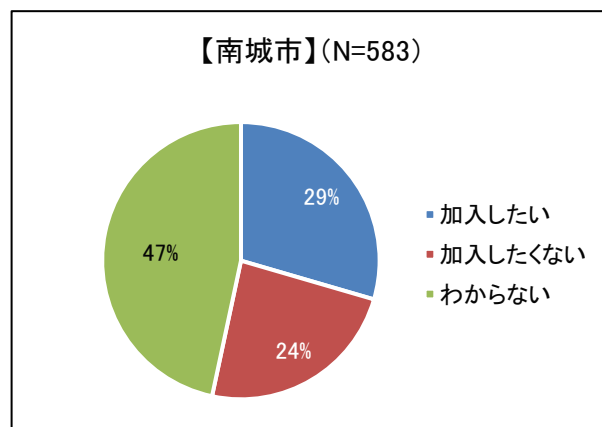
④スポーツクラブや同好会でどのような種目をしているか

「ウォーキング・ジョギング」「室内運動器具を使ってする運動」を行っている回答した人が多く、現在行っている運動・スポーツ、今後行いたい運動・スポーツの種目と同様に人気が高いです。



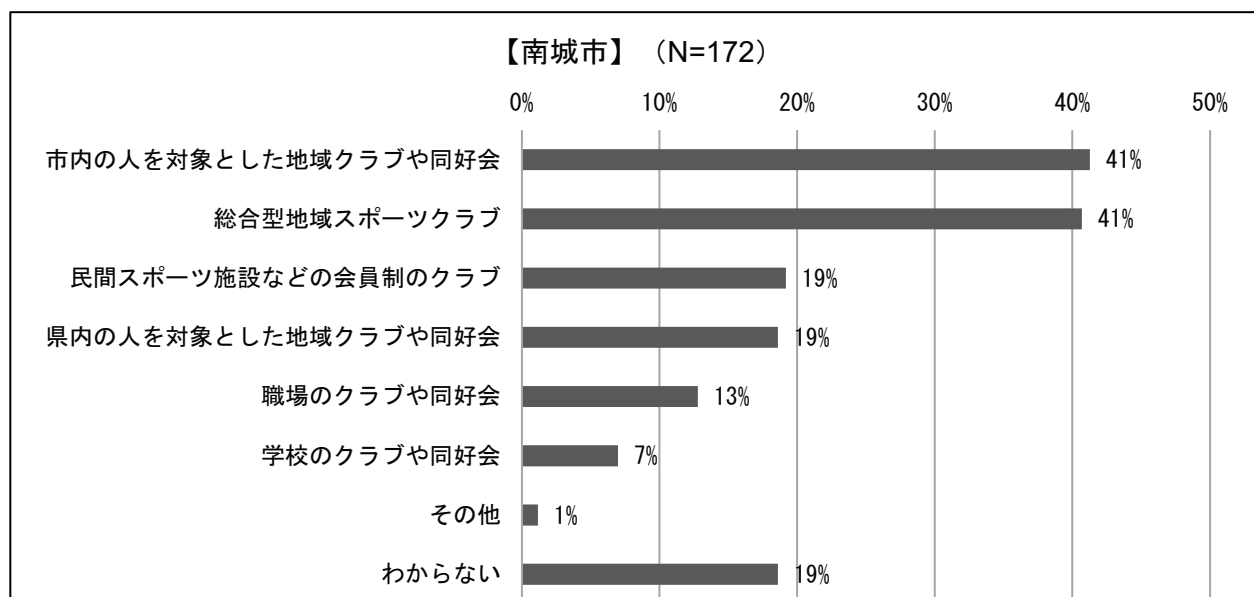
⑤好きな運動やスポーツのクラブ、同好会があれば加入したいと思うかについて

現在スポーツクラブや同好会に加入していない人の中で好きな運動やスポーツのクラブや同好会があれば「加入したい」と回答した人は29%でした。



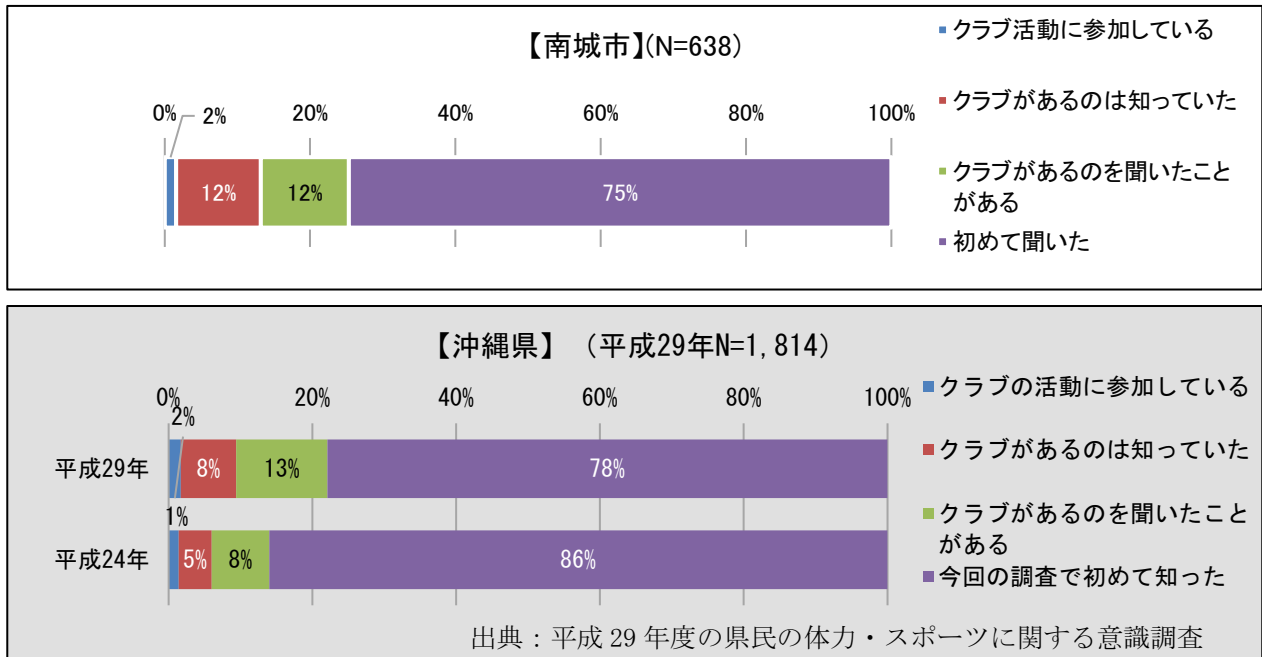
⑥加入したいクラブや同好会とは、どのようなものか（あてはまるもの2つまで選択）

現在スポーツクラブや同好会に加入しておらず、好きな運動やスポーツのクラブ、同好会があれば参加したいと回答した人が加入したいと思うクラブや同好会の種類として「市内の人を対象とした地域クラブや同好会」「総合型地域スポーツクラブ」と回答した人が多く、同じ地域の人と共に運動やスポーツを楽しみたいと考えている人が多い傾向にあります。



⑦「総合型地域スポーツクラブ」の認知度

総合型地域スポーツクラブについて「初めて聞いた」とする人が本市は75%、県は約80%で本市での認知度の方が高いです。

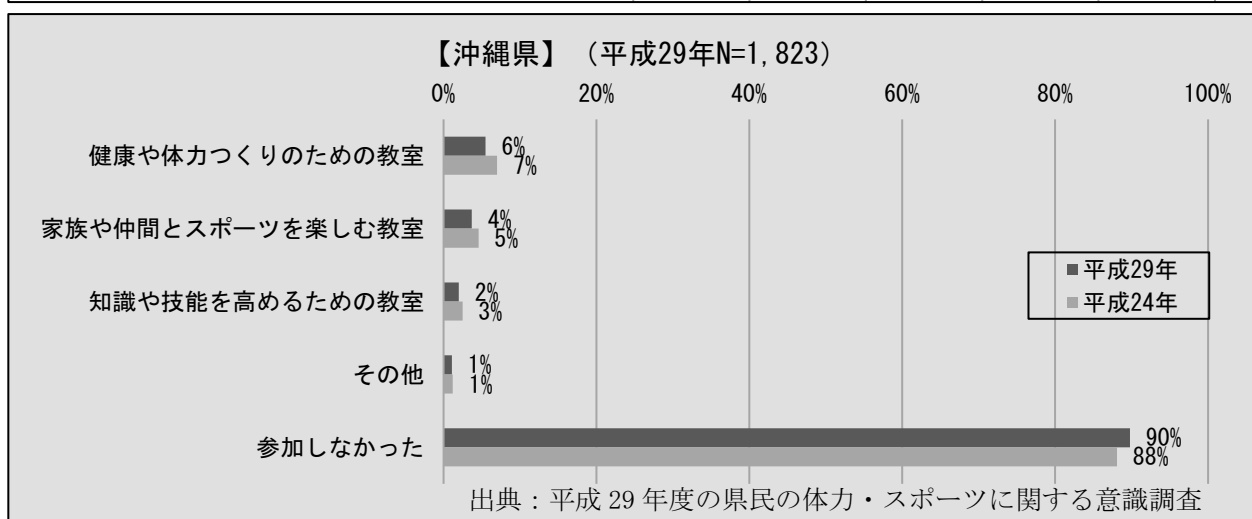
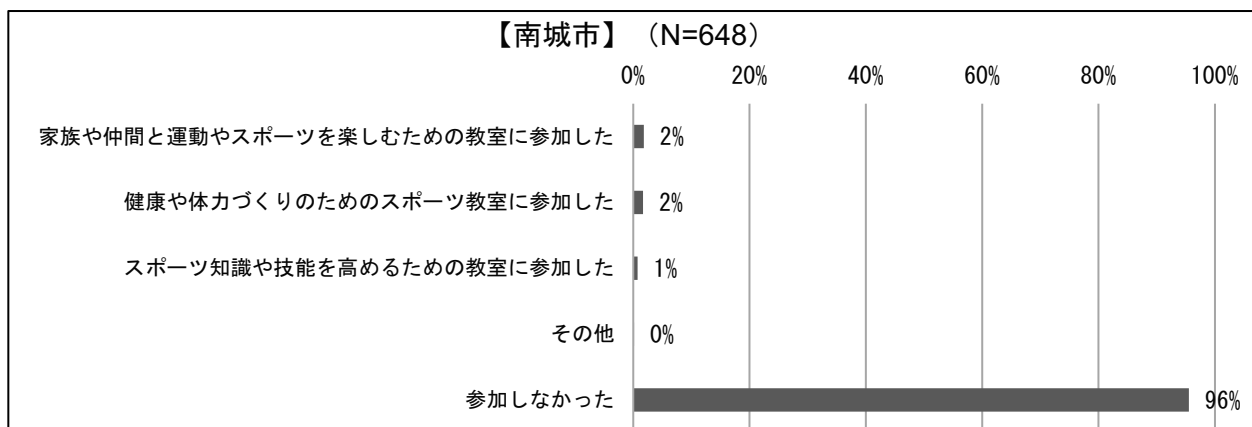


7) 地域スポーツイベントへの参加状況と今後の意向

今年実施した調査であるため新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の影響も考えられますが、スポーツ教室への参加やプロスポーツ選手の試合やキャンプを見学した人はそれぞれ10%未満、競技者や観戦客としてスポーツ行事へ参加した人は20%とイベントや行事等へ参加する人は少ないです。しかし、32%の人が「健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加したい」、21%の人が「家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加したい」と回答していることからスポーツ教室や行事を市民に広く周知することが必要だと考えられます。

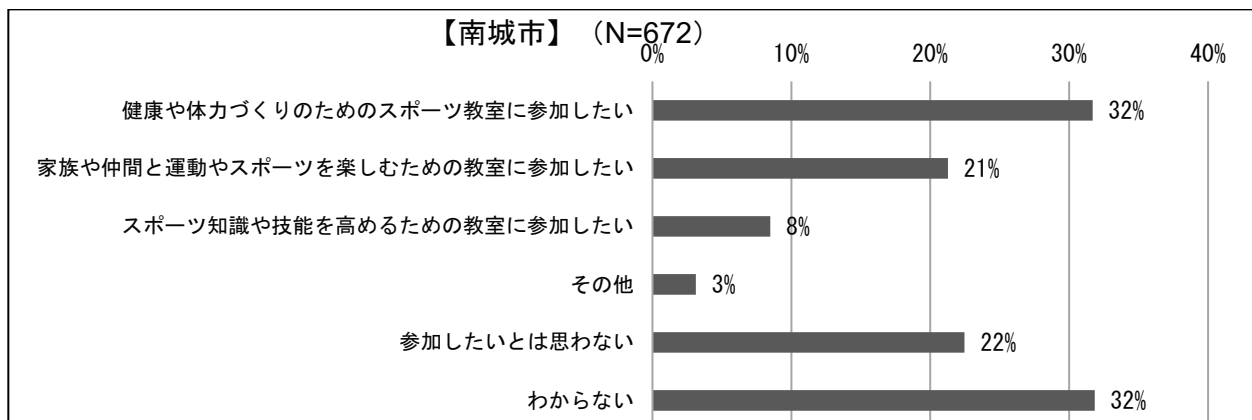
① 1年間に南城市または地域スポーツクラブが主催するスポーツ教室に参加したことがあるか（あてはまるもの全て選択）

本市、県共に「参加しなかった」と回答した人の割合が最も高く、今年実施した調査であるため新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の影響も考えられますが、本市の方が県全体よりも6%多いです。



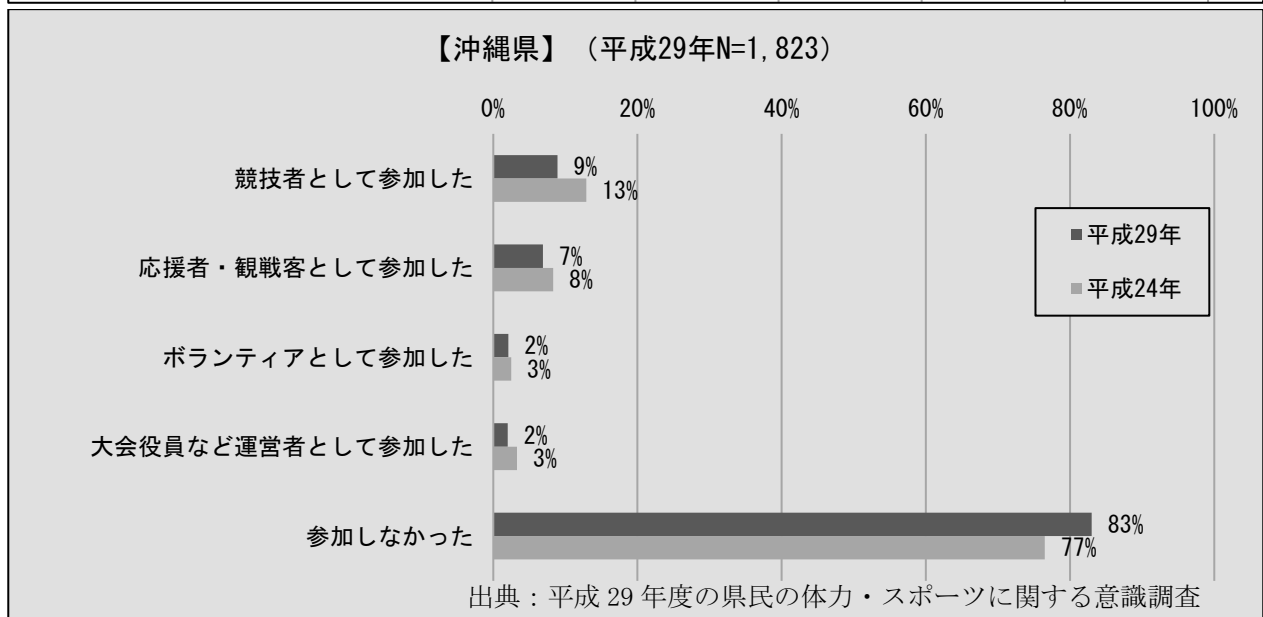
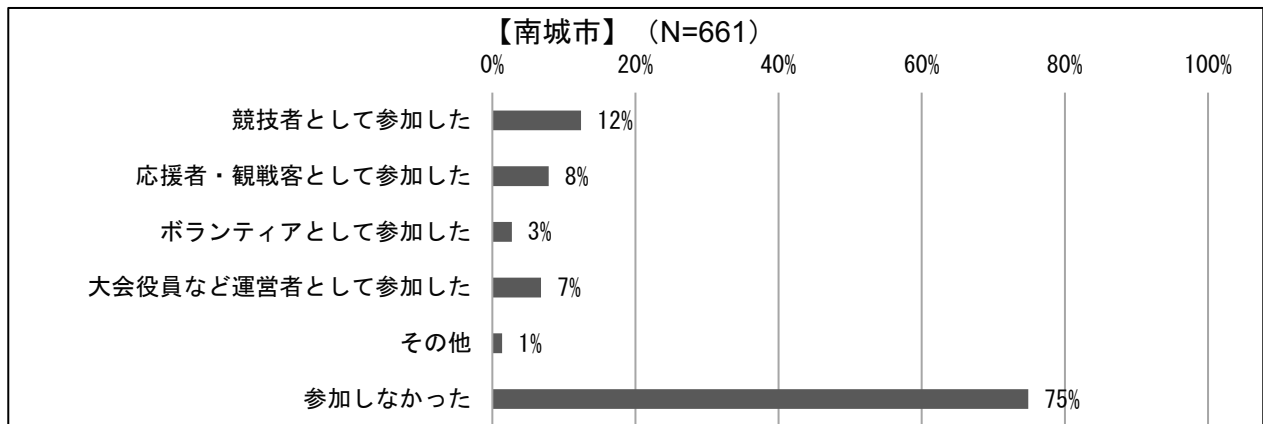
② 今後、南城市または地域スポーツクラブが主催するスポーツ教室に参加したいと思うか（あてはまるものすべて選択）

「健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加したい」が32%で最も多く、次いで「家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加したい」が21%でした。



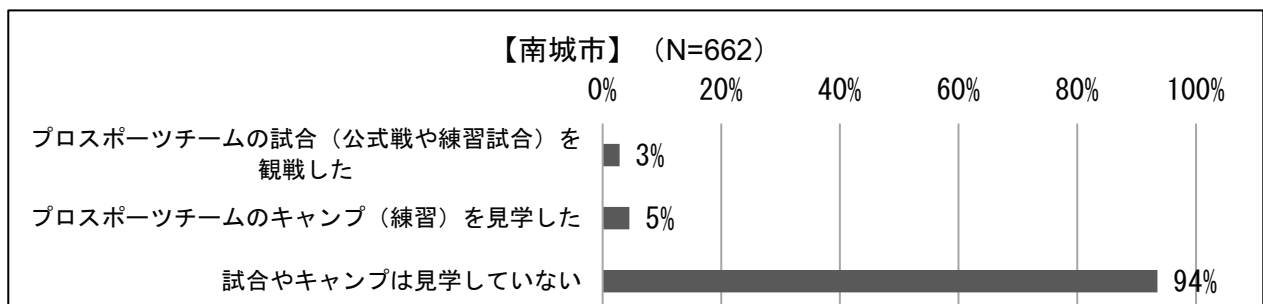
③この1年間に南城市または自治体が主催するスポーツ行事（大会など）に参加したか（あてはまるものすべて選択）

この1年間のうちスポーツ行事の参加について、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の影響も考えられるものの「競技者として参加した」と回答した人の割合が本市は12%と低いですが、県と比較すると県は8.9%で本市の方が多いです。また、応援やボランティア等競技者以外で参加したと回答した人の割合も県と比較して多いです。



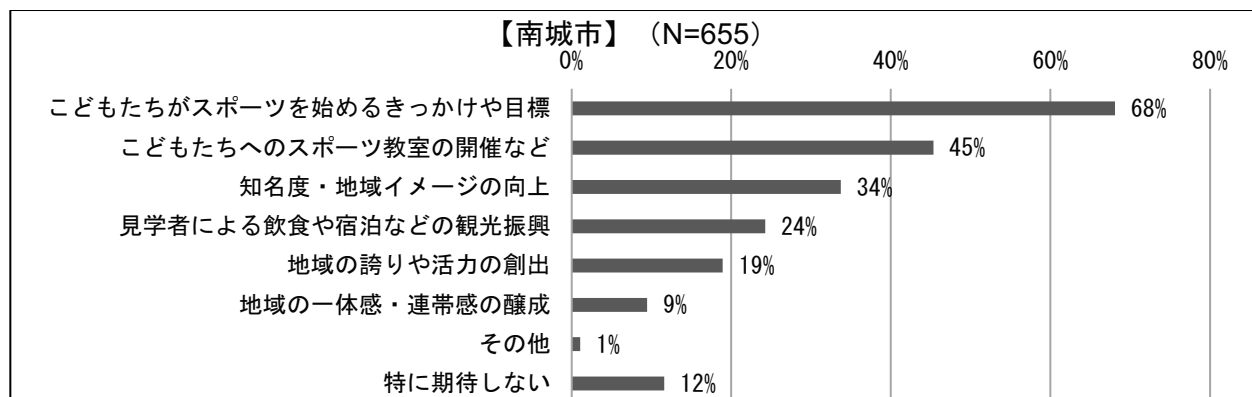
④1年間に南城市で開催されたプロスポーツチームの試合やキャンプ等を見学したことはあるか（あてはまるものすべて選択）

94%の人が「試合やキャンプは見学していない」と回答しました。



⑤プロサッカーチームがキャンプや試合などを行なうことに、どのような効果を期待するか（あてはまるもの3つまで選択）

プロスポーツチームのキャンプや試合等を行うことの効果について、「子どもたちがスポーツを始めるきっかけや目標」が68%で最も多く、次いで「子どもたちへのスポーツ教室の開催など」が46%で子どもたちに向けたスポーツの取り組みを期待する人が多い傾向にあります。

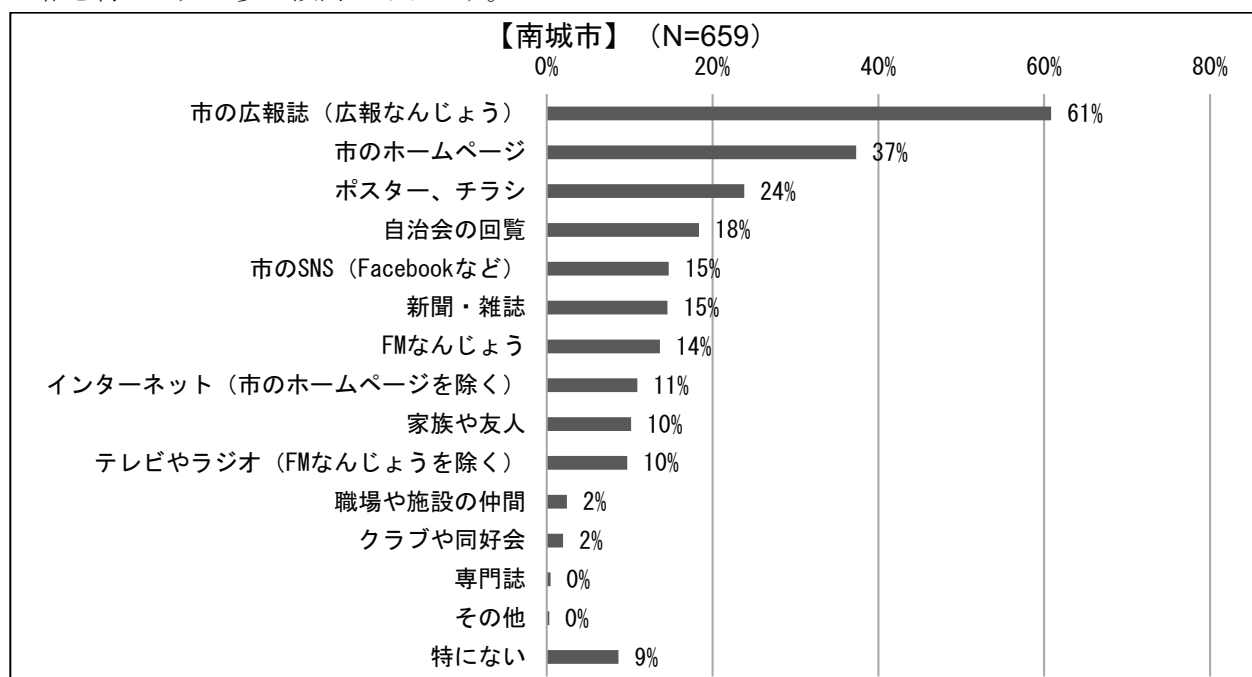


8) スポーツ情報の入手方法

スポーツ情報の入手方法として市が所有する媒体から入手したいと考えている人が多いです。提供してもらいたい情報として「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報」や「健康・体力づくり情報」と回答する人が多いです。一方で「スポーツ施設の案内」や「各種スポーツ教室の案内」「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」を提供してほしいという意見も多く、現在行っている運動やスポーツに関する情報を既存の媒体を活用し、より広く市民に周知する必要があります。

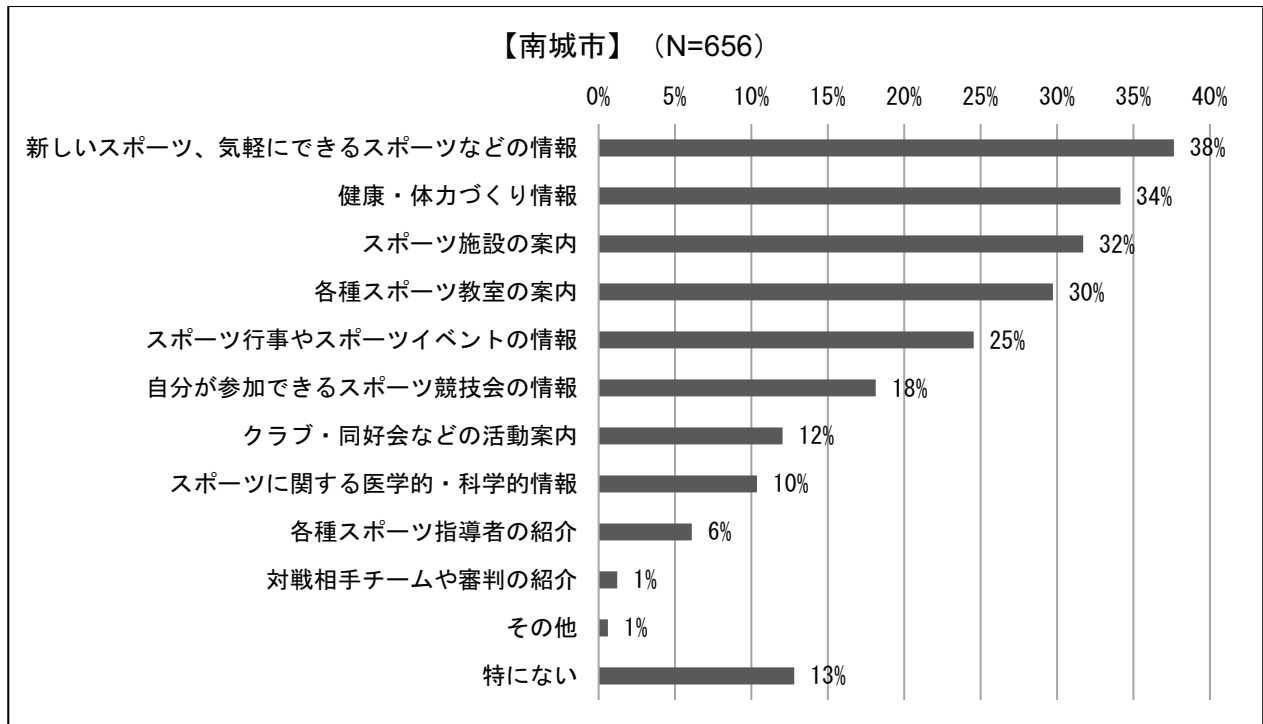
①市内で行われるスポーツに関する情報をどこから得たいか（あてはまるもの3つまで選択）

「市の広報誌」が61%で最も多く、次いで市のホームページが37%で市が所有する媒体から情報を得たい人が多い傾向にあります。



②運動やスポーツに関する情報のうち、市にはどのような情報を提供してほしいか（あてはまるもの3つまで選択）

「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報」が38%で最も多く、次いで「健康・体力づくり情報」が34%でした。また、「スポーツ施設の案内」や「各種スポーツ教室の案内」「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」等を提供してほしいと回答する人も多く、現在本市が行っている運動やスポーツに関する情報が市民にあまり知られていないことが考えられます。

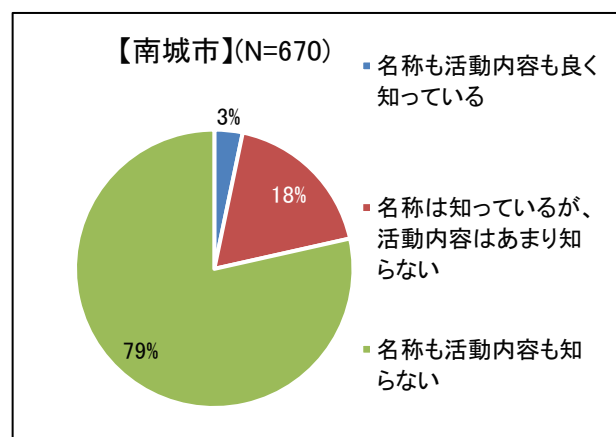


9) 今後の市のスポーツ推進について

現在スポーツ推進委員の名称や活動内容について市民の認知度は低いです。「興味・関心が湧く指導」ができるスポーツ指導員を確保・養成してほしいと回答した人が多く、スポーツ推進委員がその役割を担うことで市民からの認知度を向上できると考えられます。また、地域のスポーツを振興させるために市に対して運動やスポーツができる環境を整えてほしいと考えている市民が多いです。

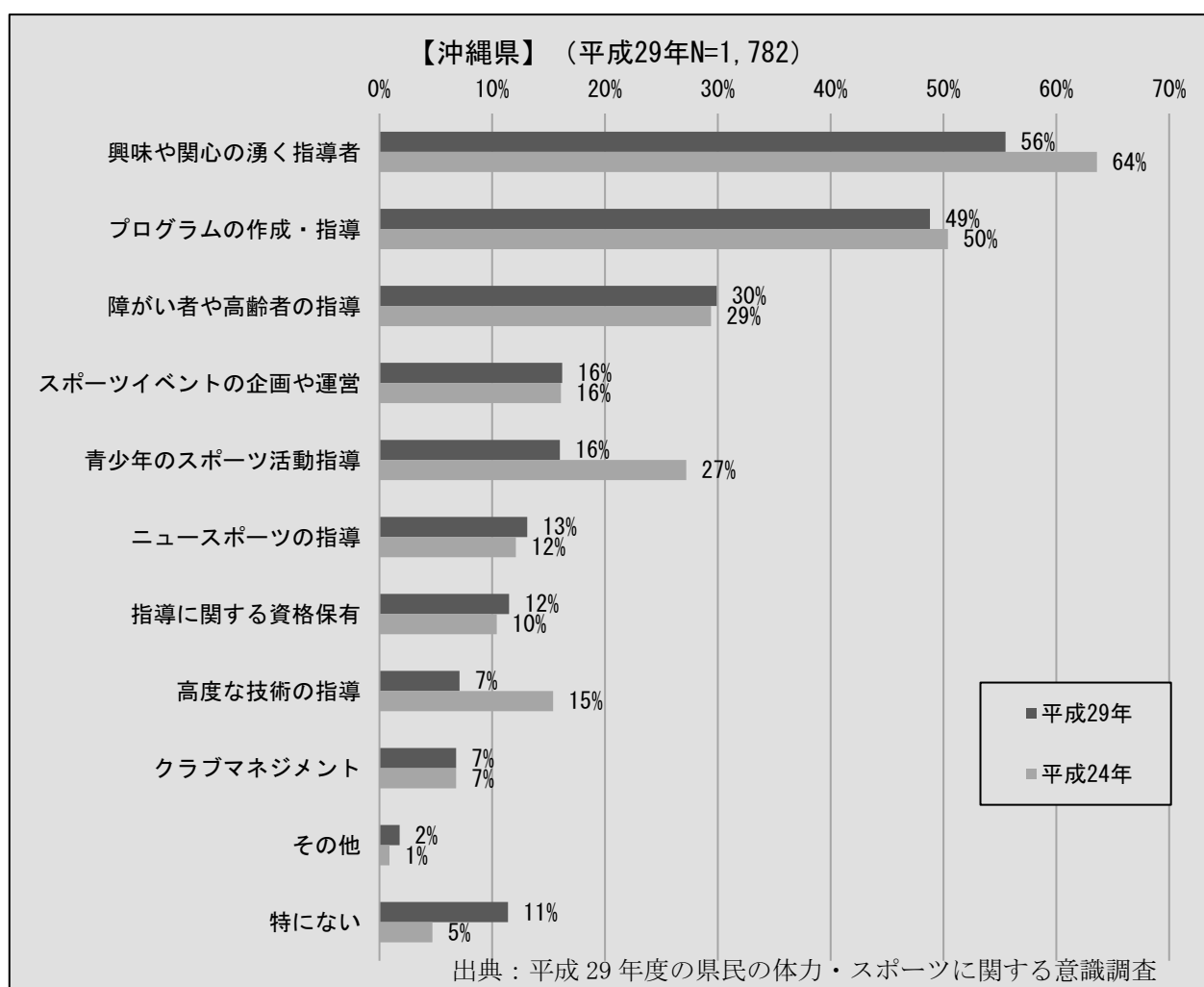
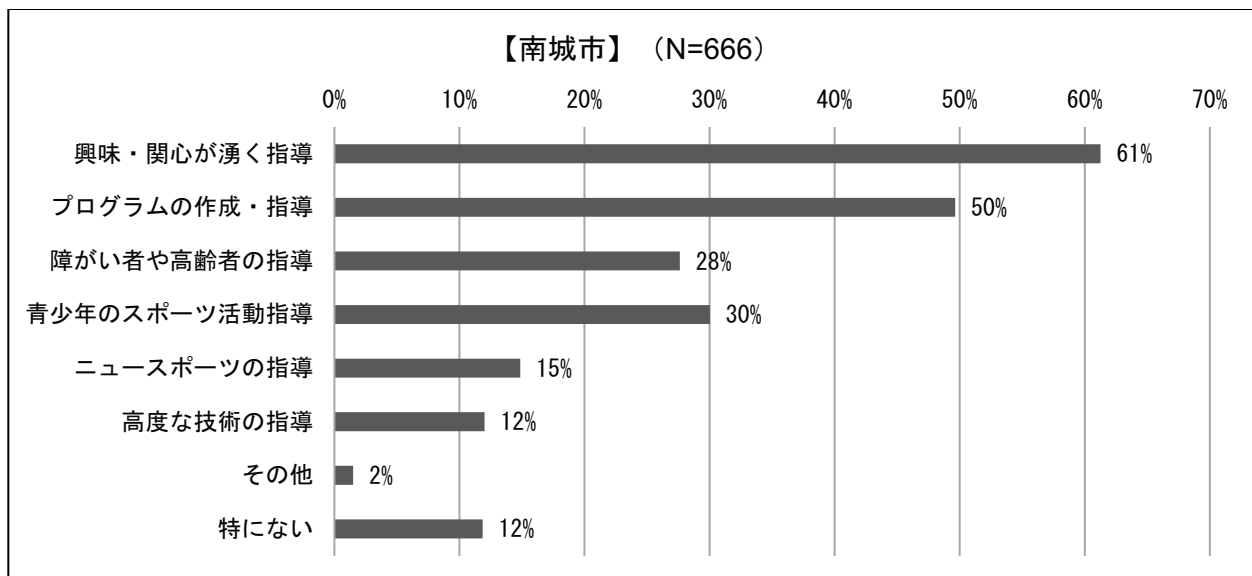
①スポーツ推進委員の認知度

「名称も活動内容も良く知っている」は3%のみで、「名称は知っているが、活動内容はあまり知らない」と回答した人も18%と少なく、スポーツ推進委員の認知度が低いです。



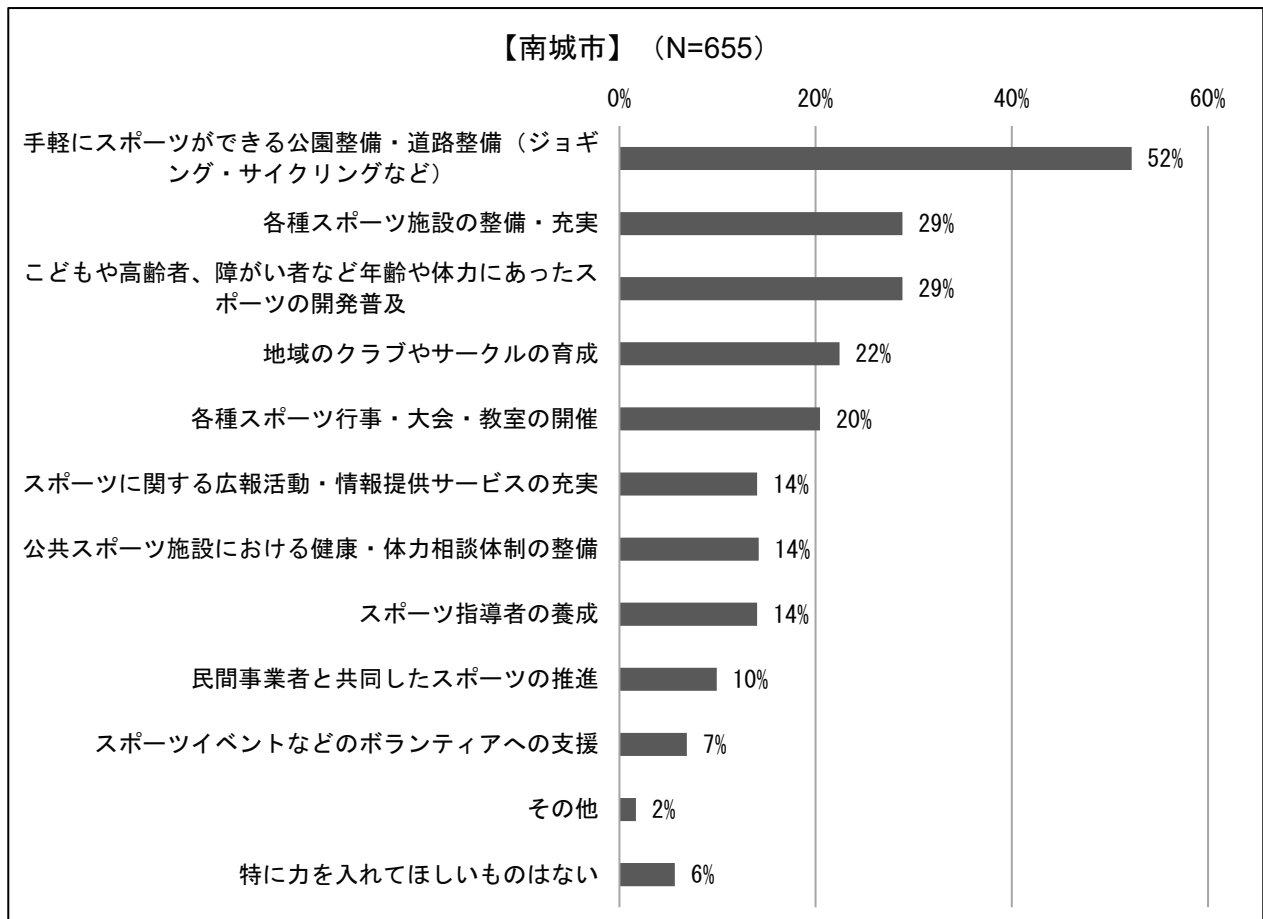
②どのようなスポーツ指導員を確保、養成してほしいか（あてはまるもの3つまで選択）

県では「青少年のスポーツ活動指導」よりも「障がい者や高齢者の指導」ができるスポーツ指導者を確保、養成してほしいと考えている人が多い一方で、本市では「青少年のスポーツ活動指導」ができるスポーツ指導者を確保、養成してほしいと考えている人が多いです。



③地域のスポーツをもっと振興させるために、市に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思うこと（あてはまるもの3つまで選択）

「手軽にスポーツができる公園整備・道路整備」が52%で最も多く、次いで「各種スポーツ施設の充実・整備」が29%で運動やスポーツを行える場を整えてほしいと考えている市民が多いです。また、「こどもや高齢者、障がい者など年齢や体力に合ったスポーツの開発普及」と回答する人も多く、誰でも気軽にスポーツに取り組める仕組みを検討する必要があります。



3. 児童・生徒アンケート

(1) アンケート結果

調査期間 令和2年8月31日～令和2年9月14日

調査対象 南城市内の学校に通う小学5年生338名、中学2年生302名

調査項目 運動やスポーツの実施状況、部活動やスポーツ少年団等での運動状況について、部活動やスポーツ少年団等以外での運動状況について、スポーツイベントへの参加について、属性

回収結果 全体618通（回収率97%）

小学5年生 334通（回収率99%）

中学2年生 284通（回収率94%）

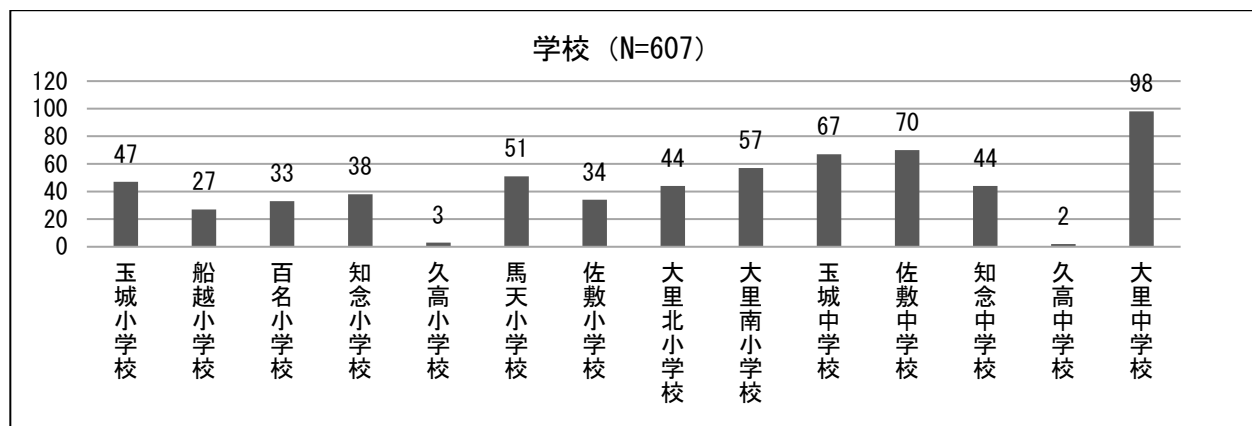
(2) 調査結果概要

本計画策定において実施した児童・生徒アンケートについて分析を行うとともに、県全体との比較を行うため、「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を用い、分析を行います。ただし、「自分の体力・運動能力に自信があるか」の項目は令和元年度では調査されていないため、平成30年度の全国と沖縄県の調査結果と比較を行います。

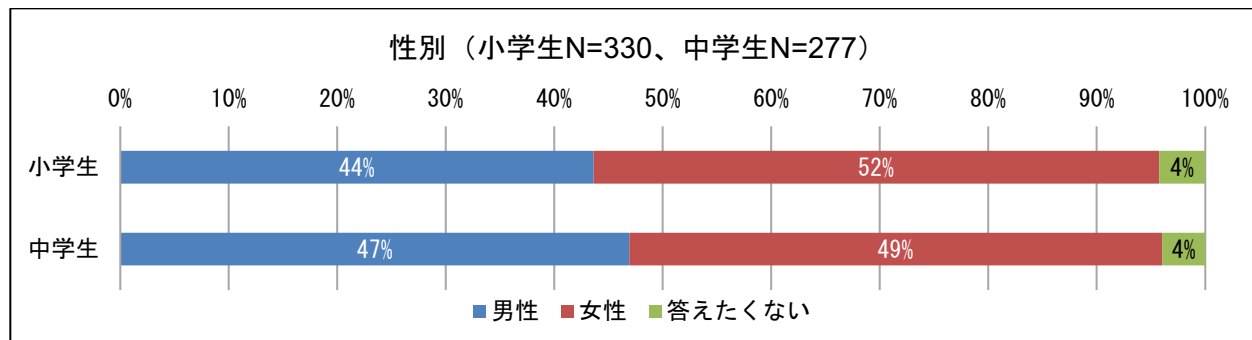
1) 属性

今回アンケート調査の対象となった小中学生の属性は以下のとおりです。

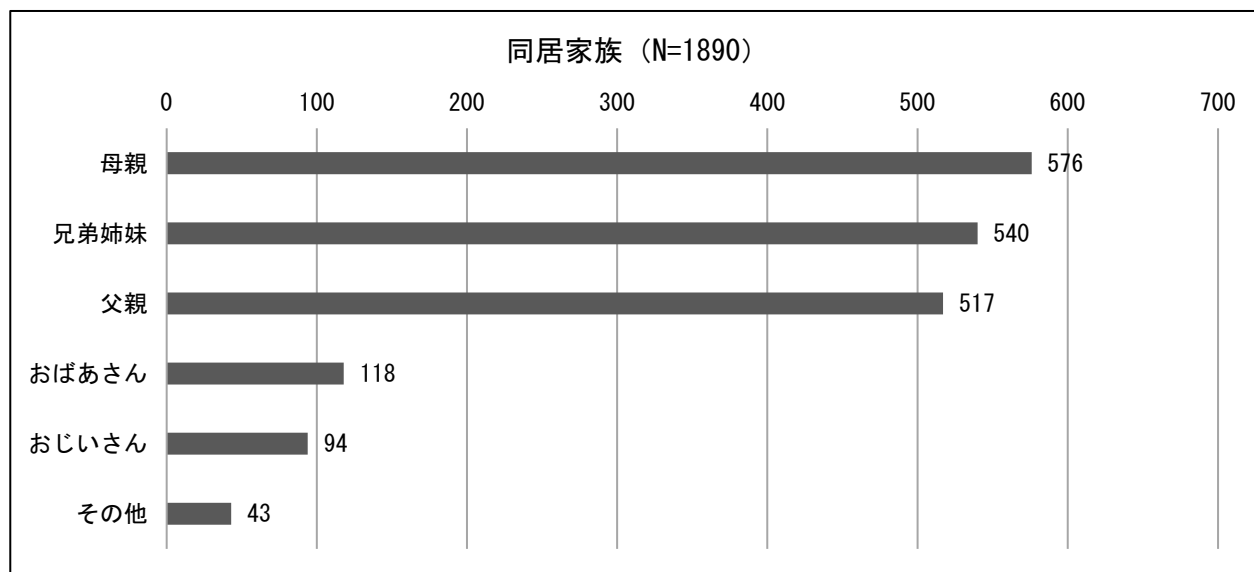
①学校



②性別



③同居家族（あてはまるもの全て選択）



2) 運動やスポーツの実施について

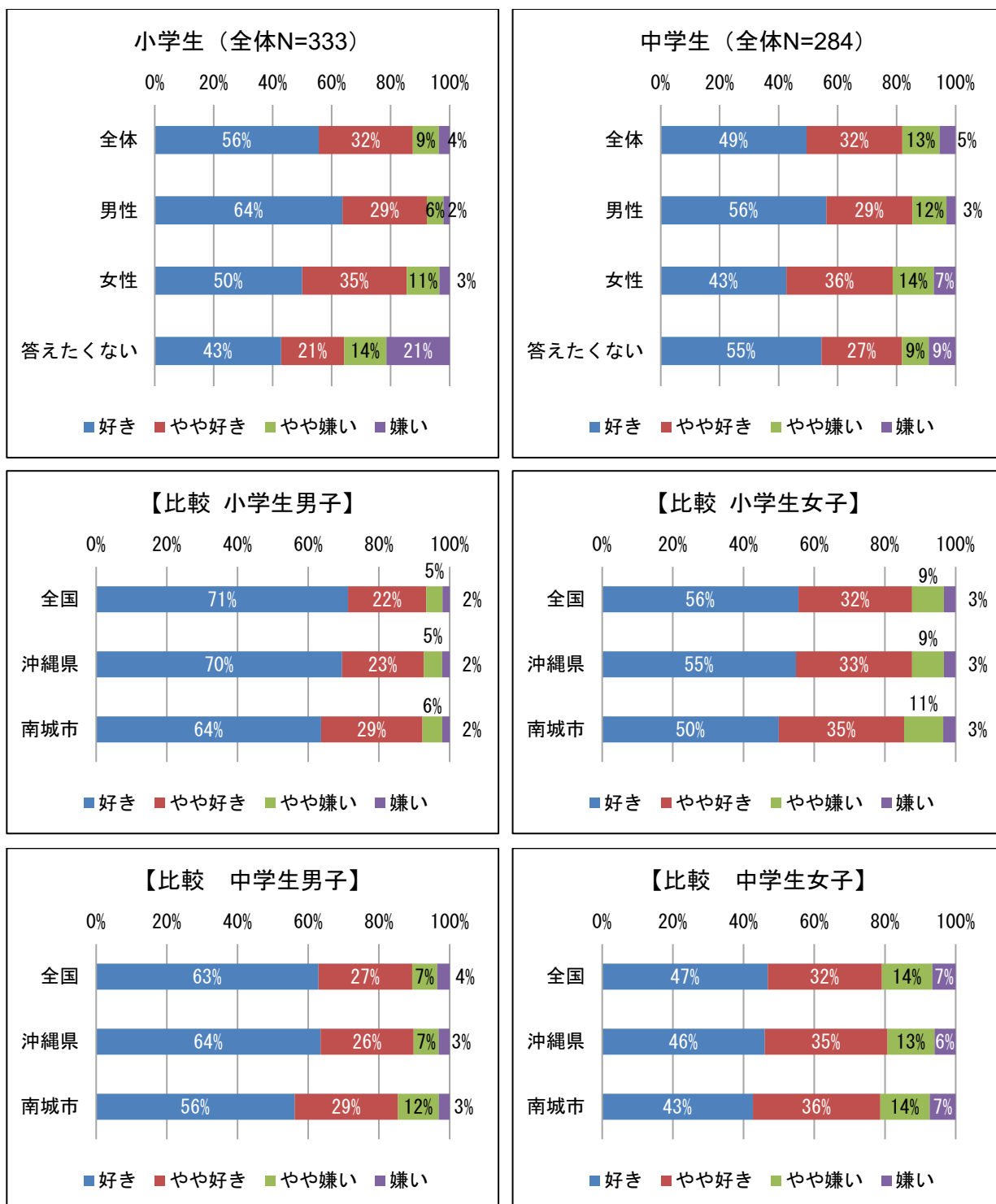
小中学生ともに運動やスポーツに対して「好き」や「やや好き」、運動やスポーツを「大切」「やや大切」だと回答する割合が高く前向きな感情を持っている児童・生徒が多く、体育の授業に対しても「楽しい」「やや楽しい」と感じる生徒が多いです。

全国や県と比較すると運動やスポーツに対し「好き」や「やや好き」と感じている人は本市においても同等程度ですが、自分の体力や運動能力に対しては「自信がある」「やや自身がある」と回答した人が小学生男子では全国や県よりも少ない傾向にあります。

①運動やスポーツをすることが好きか

小中学生の男女ともに約8割が運動やスポーツに対して「好き」「やや好き」と回答しましたが、その割合は中学生の方が少ないです。

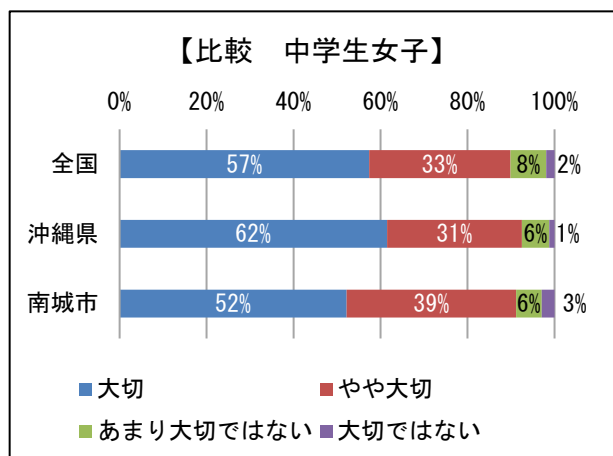
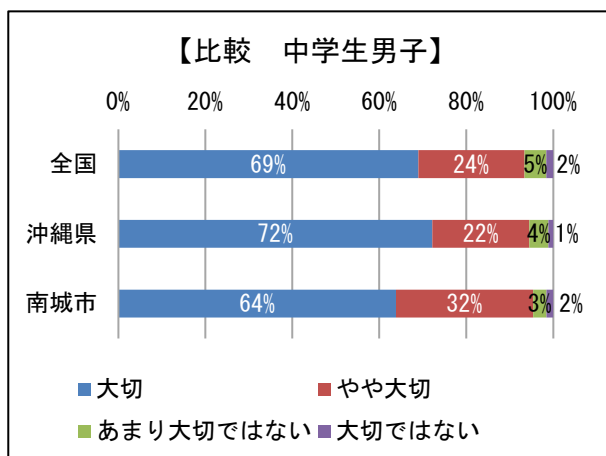
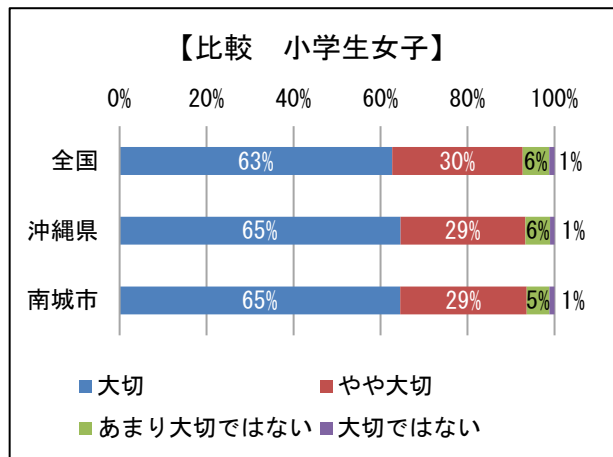
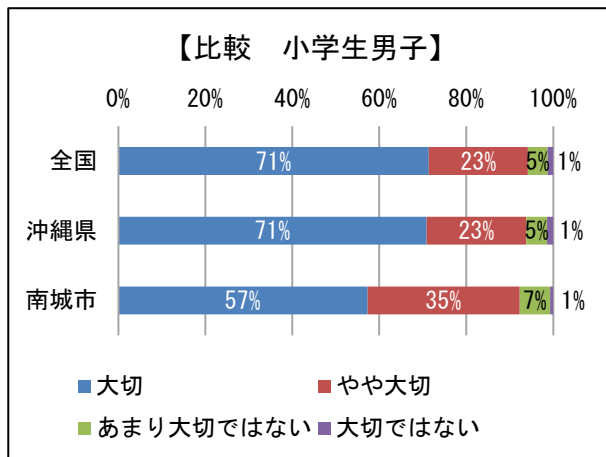
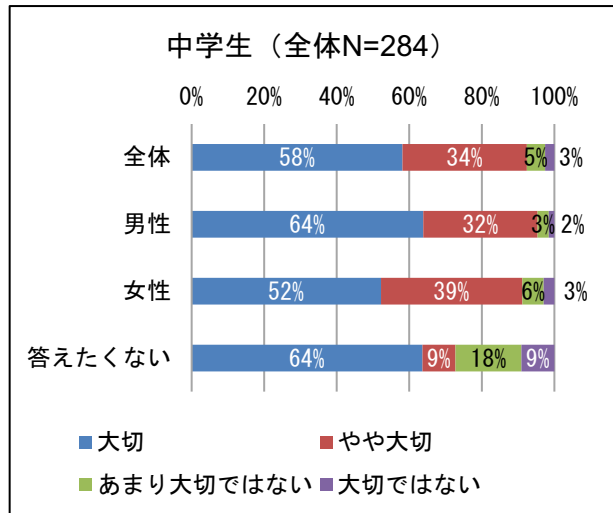
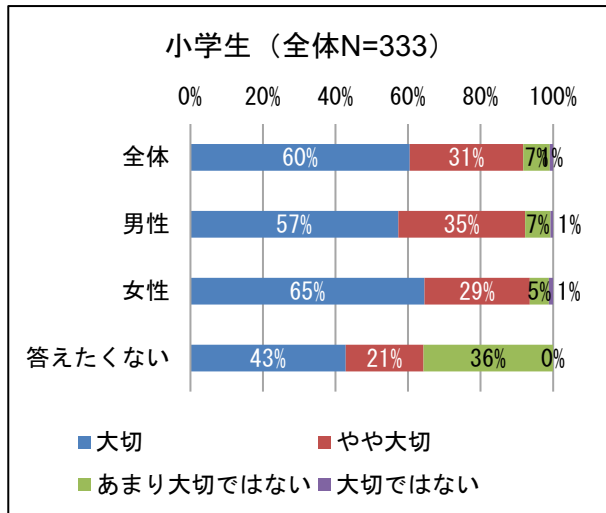
全国および県全体と比較すると、本市の小学生男女、中学生女子は「好き」「やや好き」と回答した人の割合が同等程度となっていますが、その中でも「好き」と回答した人は少ない傾向にあります。また、中学生男子については「好き」「やや好き」と回答した人は全国および県全体よりも少ないです。



②運動やスポーツは大切なものか

小中学生の男女ともに約90%が運動やスポーツは「大切」「やや大切」と回答しました。小学生では男性よりも女性のほうが8%「大切」と回答している人の割合が高いのに対し、中学生では女性よりも男性の方が「大切」と回答した人の割合が8%高いです。

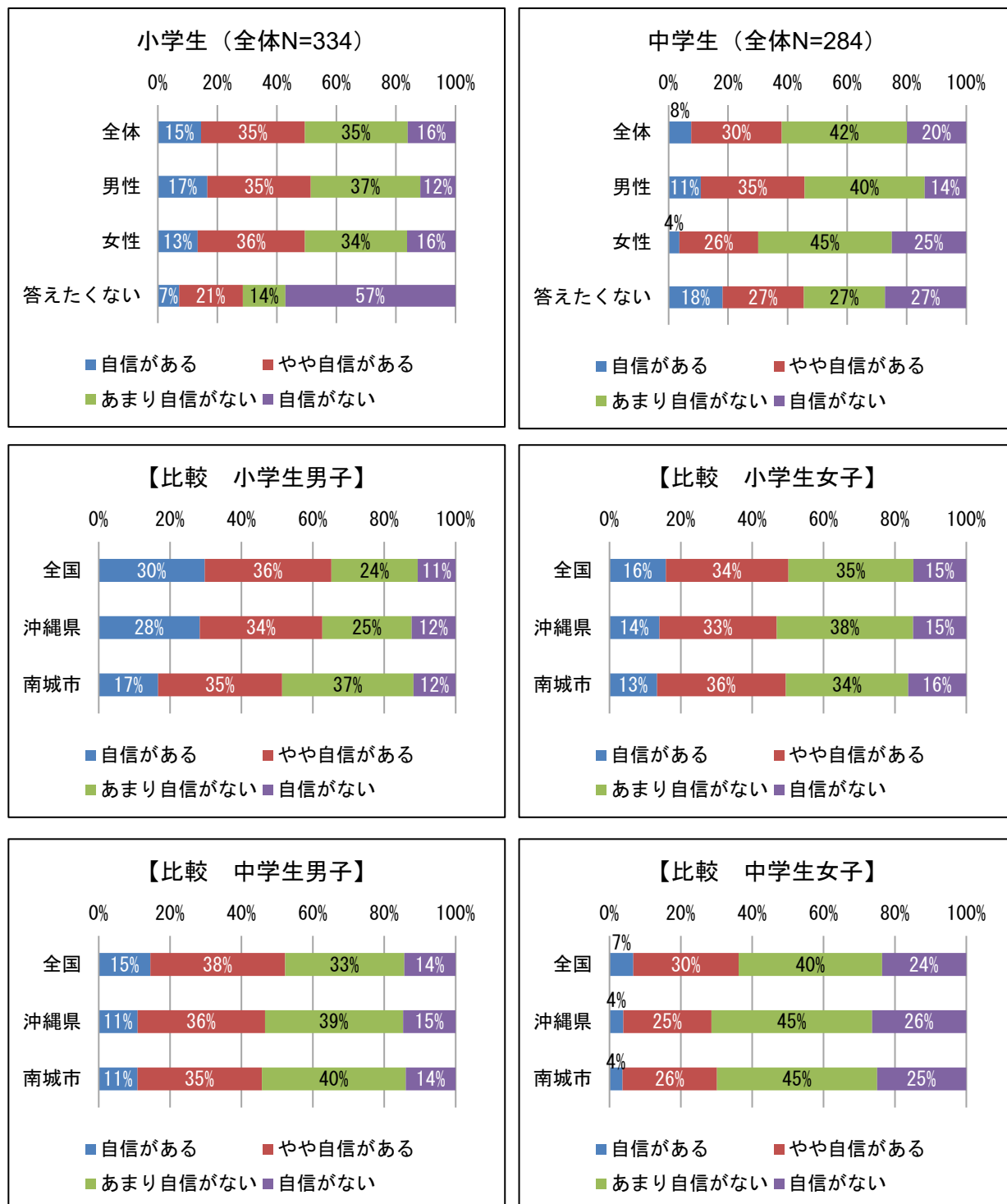
全国および県全体と比較すると小中学生の男女とも「大切」「やや大切」と回答した人は同程度ですが、小学生男子と中学生男女で「大切」と回答した人が全国および県全体よりも少ない割合となりました。特に小学生男子では全国および県全体よりも約10%低いです。



③自分の体力・運動能力に自信はあるか

男性と女性を比較すると小中学生共に女性よりも男性の方が「自信がある」「やや自信がある」と回答する人が多く、特に中学生の女性ではその割合が30%に留まりました。また、男女ともに小学生に比べ中学生の方が自分の体力・運動能力に対して「自信がある」「やや自信がある」と回答した人の割合が少ないです。

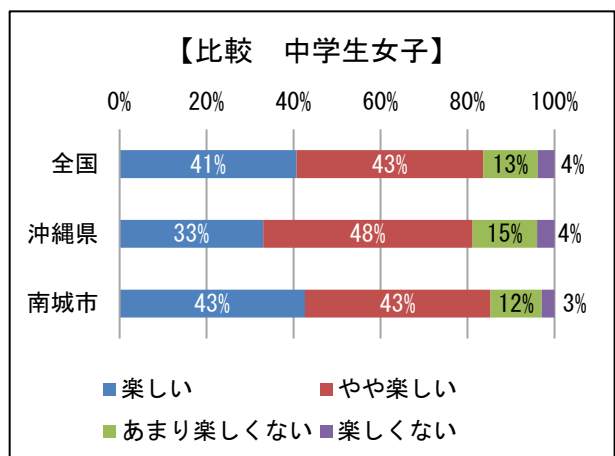
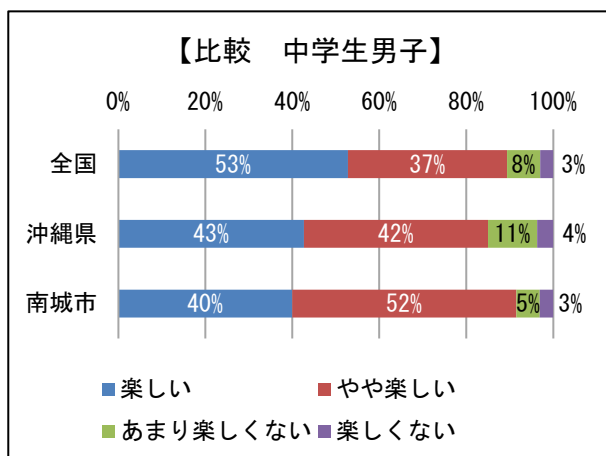
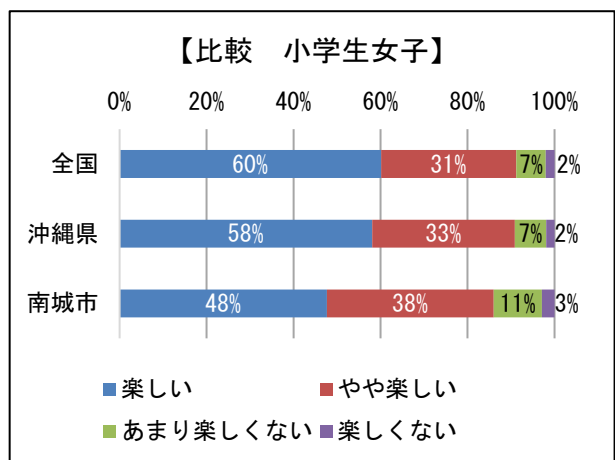
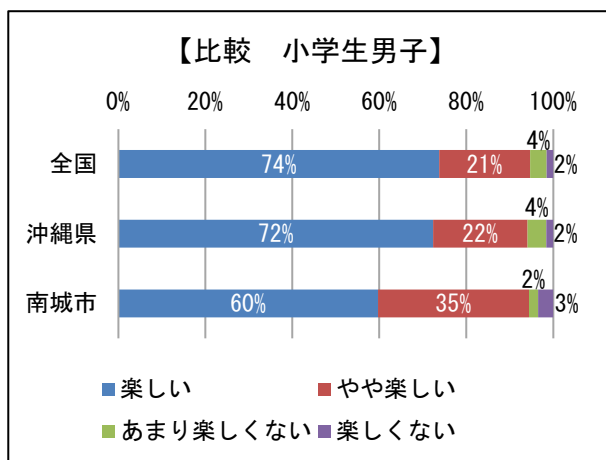
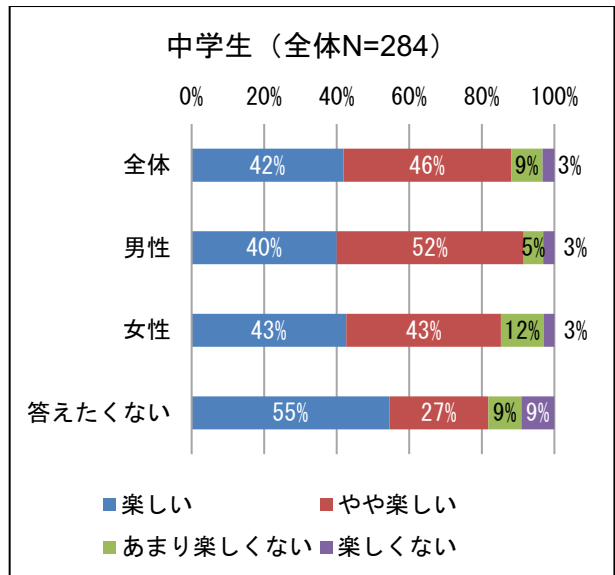
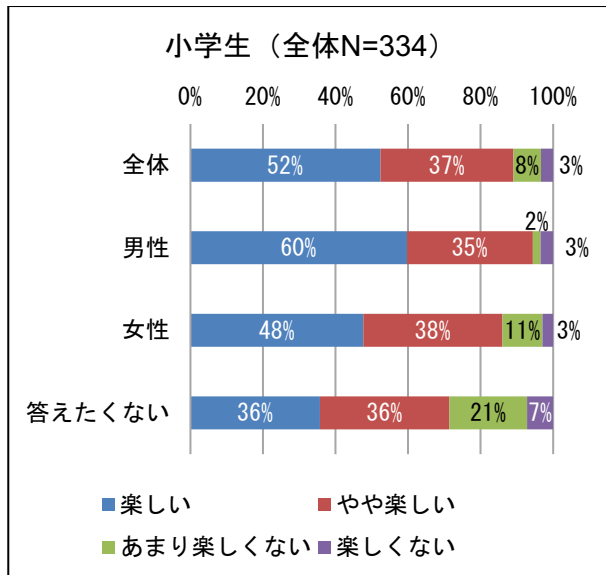
さらに、全国および県全体と比較すると、小学生男子の「自信がある」の割合が約10%低く、また、中学生女子の「自身がある」「やや自信がある」は全国と比較しても6%低いです。



④ 体育の授業は楽しいか

全体的にみると小中学生共に約90%の児童・生徒が体育の授業が「楽しい」「やや楽しい」と回答しました。性別で比較すると小中学生ともに男性の方が「楽しい」「やや楽しい」と回答した割合が高いです。

全国および県全体と比較すると、小学生男女の「楽しい」と感じている人の割合が約10%少ないです。一方で中学生女子は「楽しい」と感じる人の割合が県全体よりも約10%多いです。



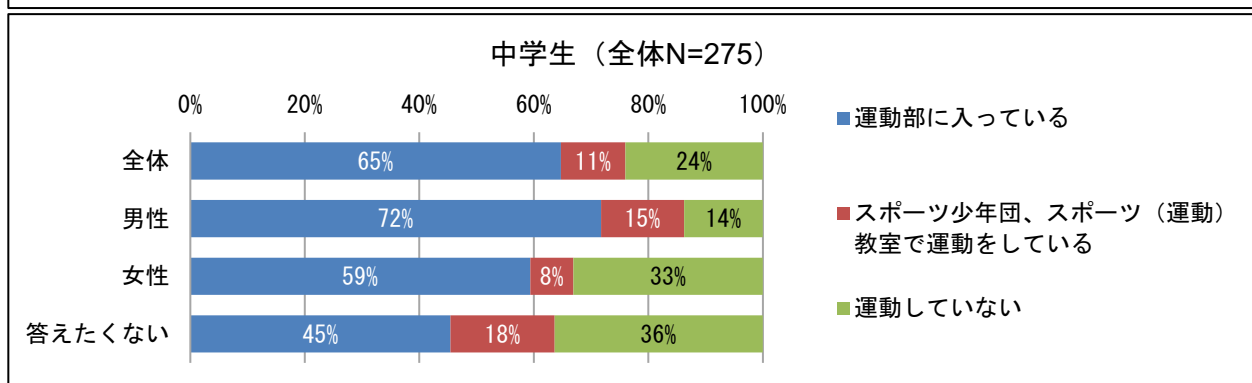
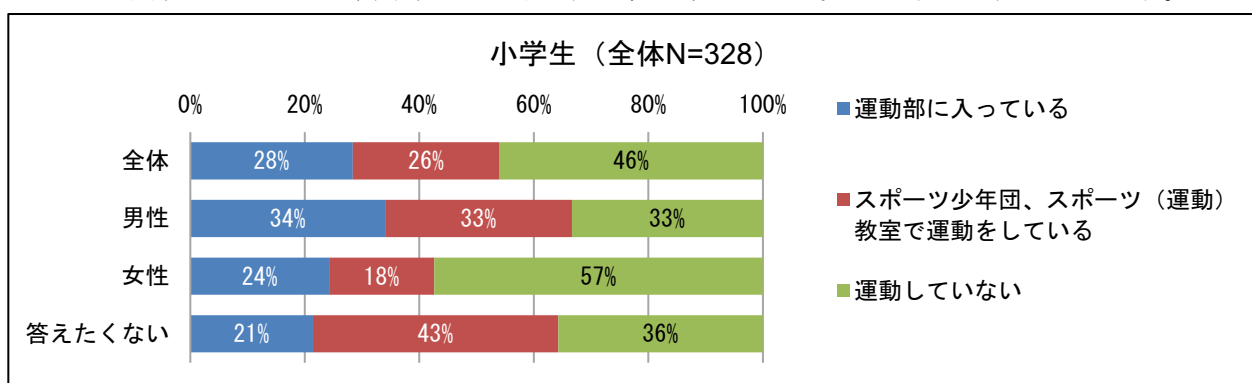
3) 部活動やスポーツ少年団、スポーツ（運動）教室などでの運動状況について

小学生に比べ中学生の部活動やスポーツ少年団、スポーツ（運動）教室での運動している生徒が多く、小中学生ともにバスケットボールや野球等球技の人気が高いです。

部活やスポーツ少年団、スポーツ教室で運動をしていない理由として「とくに理由がない」が最も多く、さまざまな種目に親しむ機会や環境を提供する等運動やスポーツに取り組みたいと思うきっかけ作りを行うことで市内のスポーツ人口の増加に繋がることが考えられます。

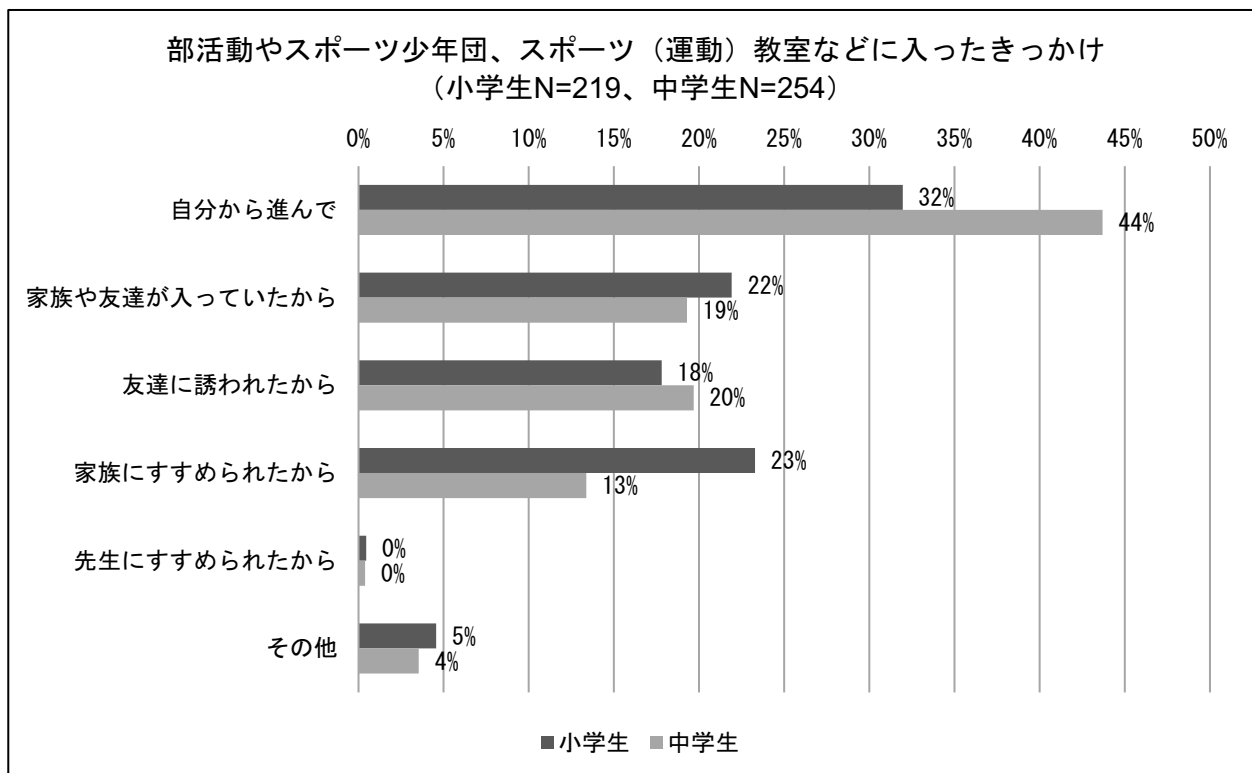
①部活動やスポーツ少年団、スポーツ教室などで運動をしているか（あてはまるもの全て選択）

小学生に比べ中学生の運動部加入率が高く、中学生全体では小学生全体に比べ体育の授業以外で運動している生徒の割合が22%多いです。また、男女で比較すると小中学生共に男性に比べ女性の運動部やスポーツ少年団等の加入率が低く、小学生では男女で24%もの差があります。



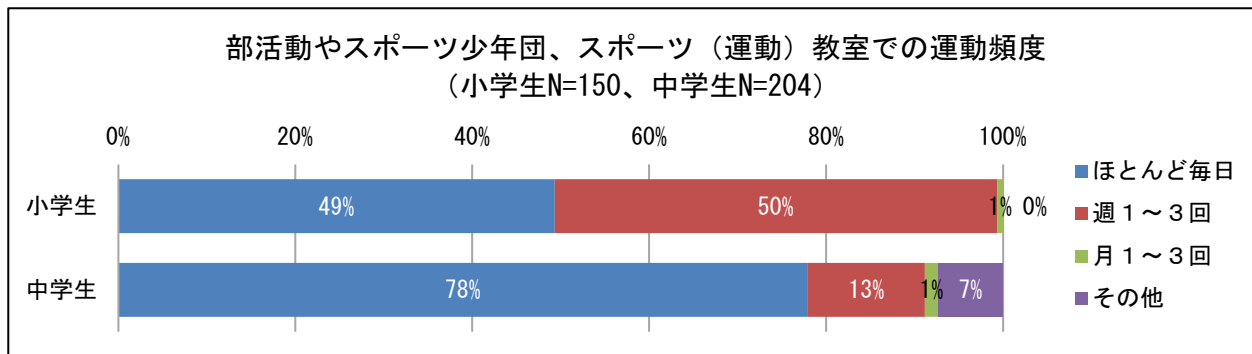
②部活動やスポーツ少年団、スポーツ（運動）教室などに入ったきっかけ（あてはまるもの全て選択）

運動系の部活動やスポーツ少年団、スポーツ教室などに入ったきっかけとして、小中学生ともに「自分から進んで」が最も多いです。次いで「家族や友だちが入っていたから」「家族にすすめられた」「友達に誘われたから」等、身近な人がきっかけで運動やスポーツを始める児童生徒が多いです。



③部活動やスポーツ少年団、スポーツ（運動）教室での運動やスポーツを行う頻度（ひとつだけ選択）

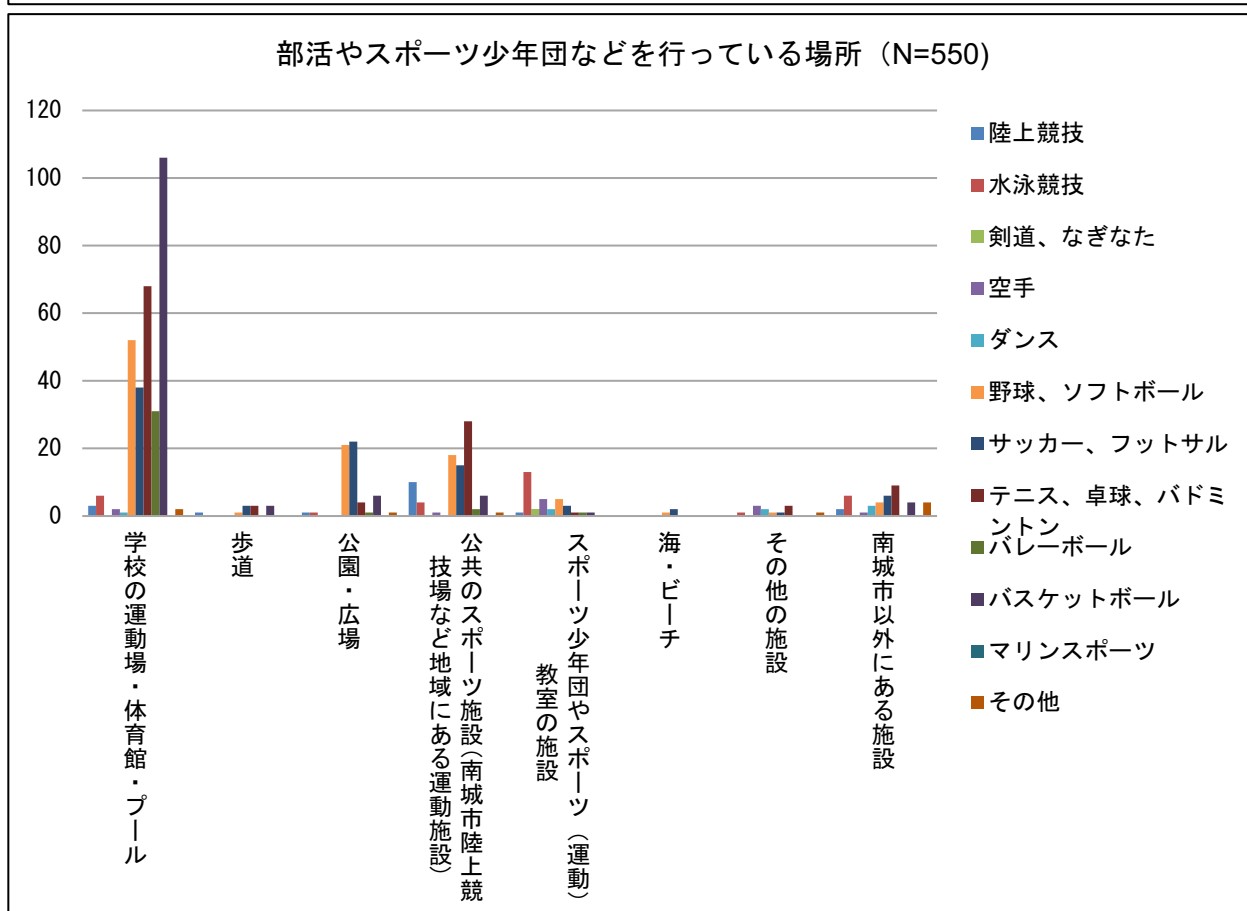
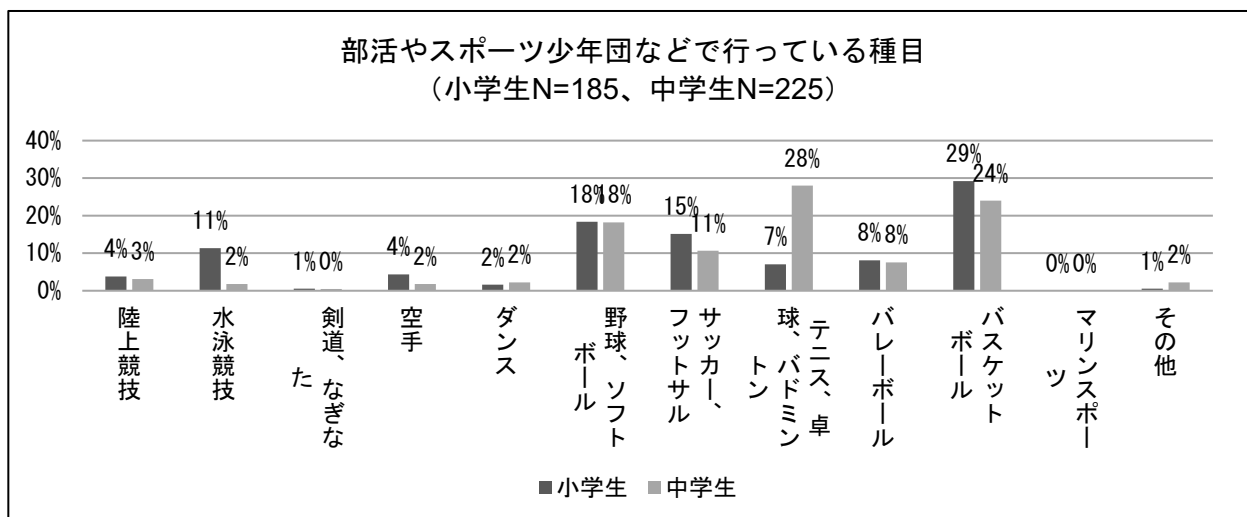
小中学生ともに部活動やスポーツ少年団等に参加している児童・生徒の90%以上が週に1日以上運動やスポーツを行っており、中学生では78%の生徒が「ほとんど毎日」と回答しました。



④部活やスポーツ少年団でやっている運動やスポーツの種目と練習場所（あてはまるもの全て選択）

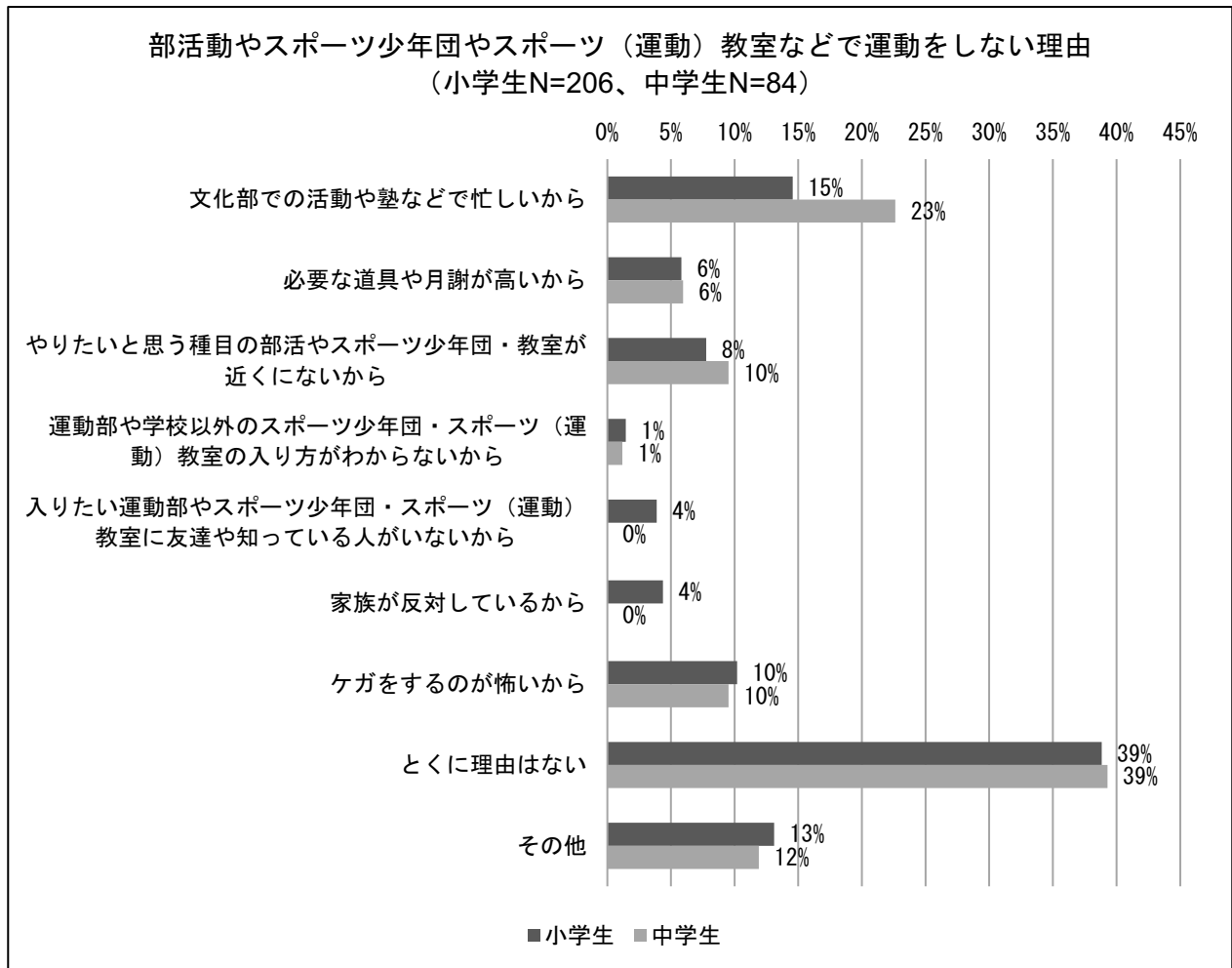
部活やスポーツ少年団等で行っている種目として球技の人气が高く、特に「バスケットボール」が小中学生ともに人气があります。また、小学生に比べ中学生では「テニス、卓球、バドミントン」、中学生に比べ小学生では「水泳競技」の人气が高いです。

部活やスポーツ少年団等を行っている場所として、「学校の運動上・体育館・プール」が最も多く、次いで「公共のスポーツ施設」「公園・広場」と市の施設を活用して活動している団体が多いです。



⑤あなたが部活動やスポーツ少年団やスポーツ（運動）教室などで運動をしない理由（あてはまるもの全て選択）

小中学生ともに「とくに理由はない」が最も多いです。次いで「文化部での活動や塾などでいそがしい」が多いです。また、「やりたいと思う種目の部活やスポーツ少年団・教室が近くにないから」と回答した人が小学生では5番目、中学生では4番目に多く、部活動やスポーツ少年団等で行えるスポーツの種目の選択肢を増やすことが必要だと考えられます。

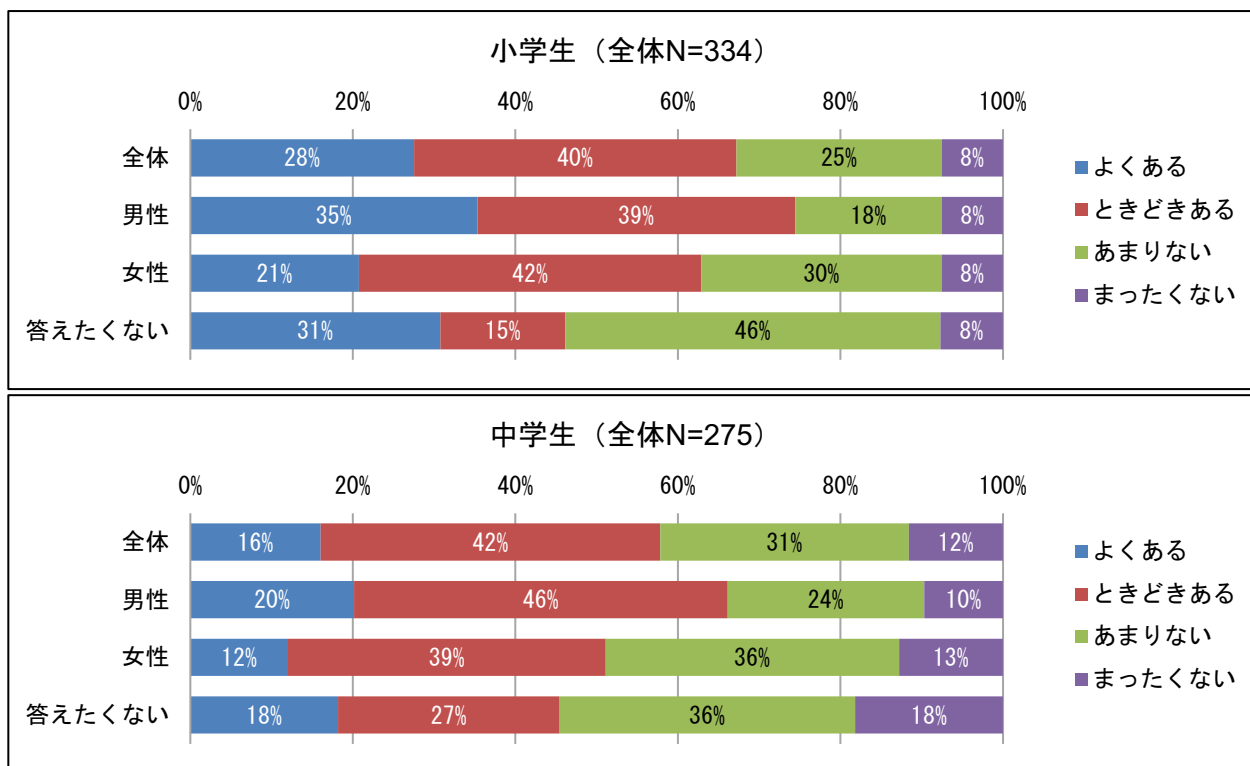


4) 部活動やスポーツ少年団、スポーツ（運動）教室など以外での運動状況

小学生に比べ中学生の運動部やスポーツ少年団等以外で運動する人の割合が低く、週に1回以上運動やスポーツを行う人の割合も低いです。また、運動部やスポーツ少年団等以外で運動やスポーツを行わない理由として中学生は「時間がない」や「運動部やスポーツ少年団でやっているから」と回答した人の割合が多く、部活動等で既に運動スポーツを実施しているために必要性を感じられない、または時間的に実施する余裕がない人も多いと考えられます。

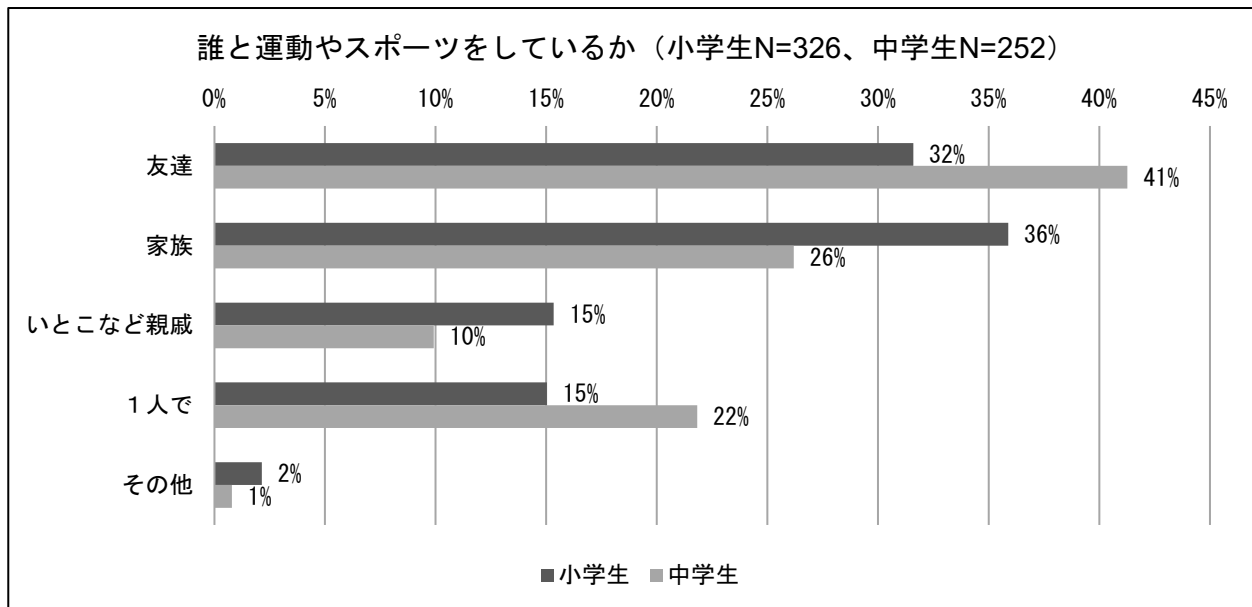
①放課後や学校が休みの日に、部活動やスポーツ少年団、スポーツ（運動）教室など以外で運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがあるか（ひとつだけ選択）

小学生と比べ中学生では部活動やスポーツ少年団など以外で体を動かすことが「あまりない」「まったくない」と回答する人の割合が多く、小学生全体と中学生全体を比較すると小学生全体では中学生全体に比べ「あまりない」「まったくない」と回答する人の割合が10%多いです。また、男女別に比較すると男性に比べ女性のほうが「あまりない」「まったくない」と回答する人の割合が多く、中学生女子では「あまりない」「まったくない」と回答する人が半数程度います。



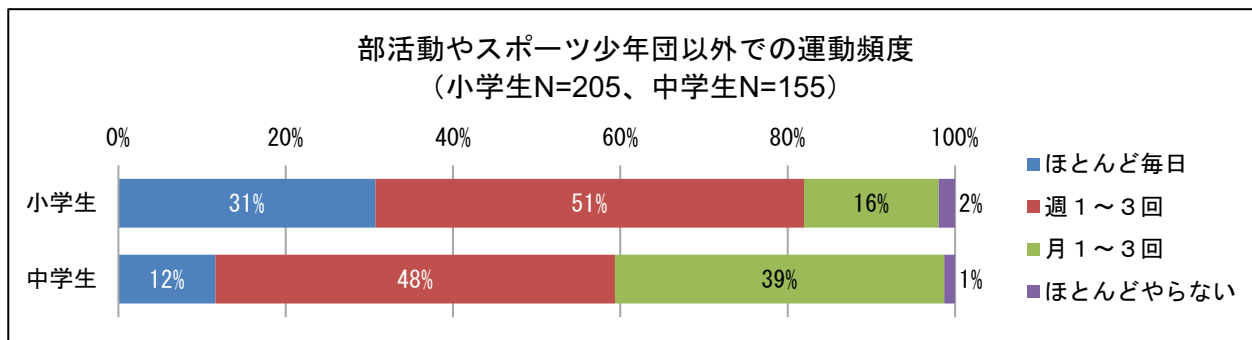
②部活動やスポーツ少年団、スポーツ（運動）教室などの活動以外でだれと運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをしているか（あてはまるもの全て選択）

小中学生ともに「友達」や「家族」と回答する人が多く、特に中学生では41%が「友達」と回答しました。また、中学生では小学生に比べ「1人で」と回答する人の割合が7%多いです。



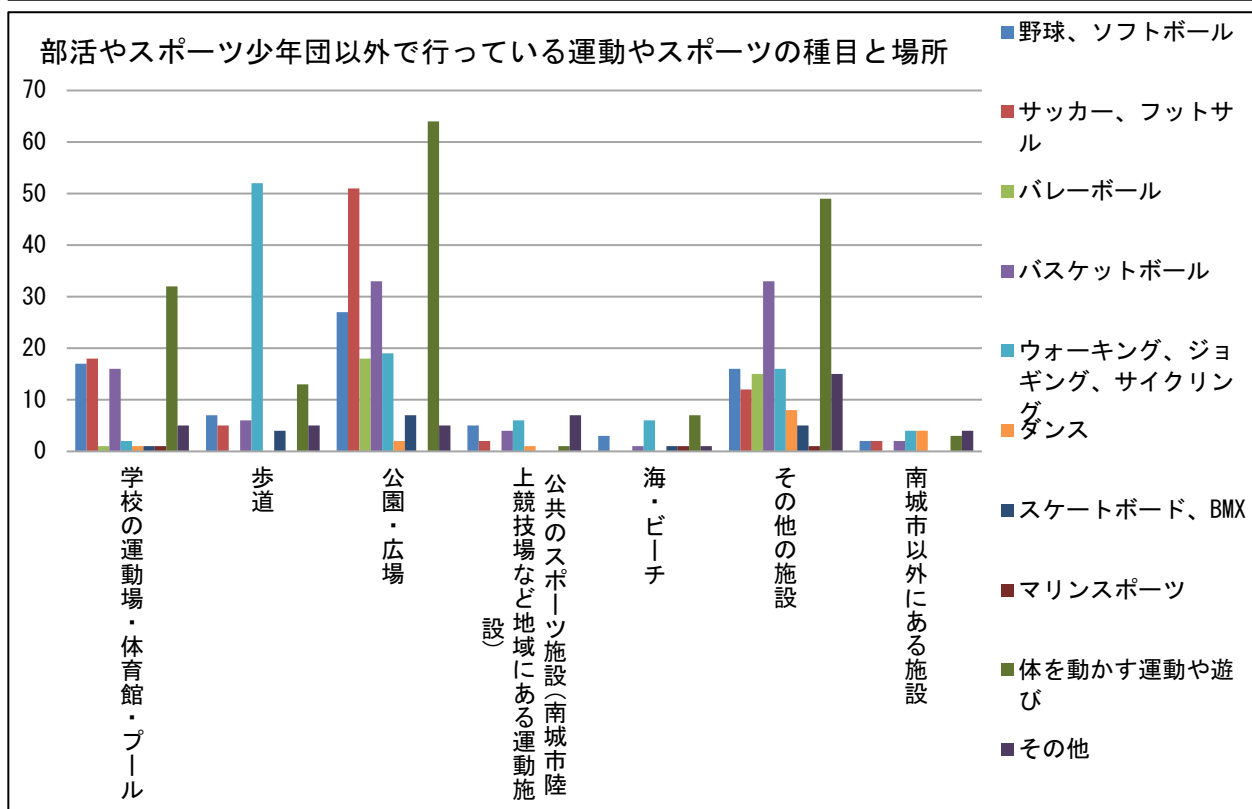
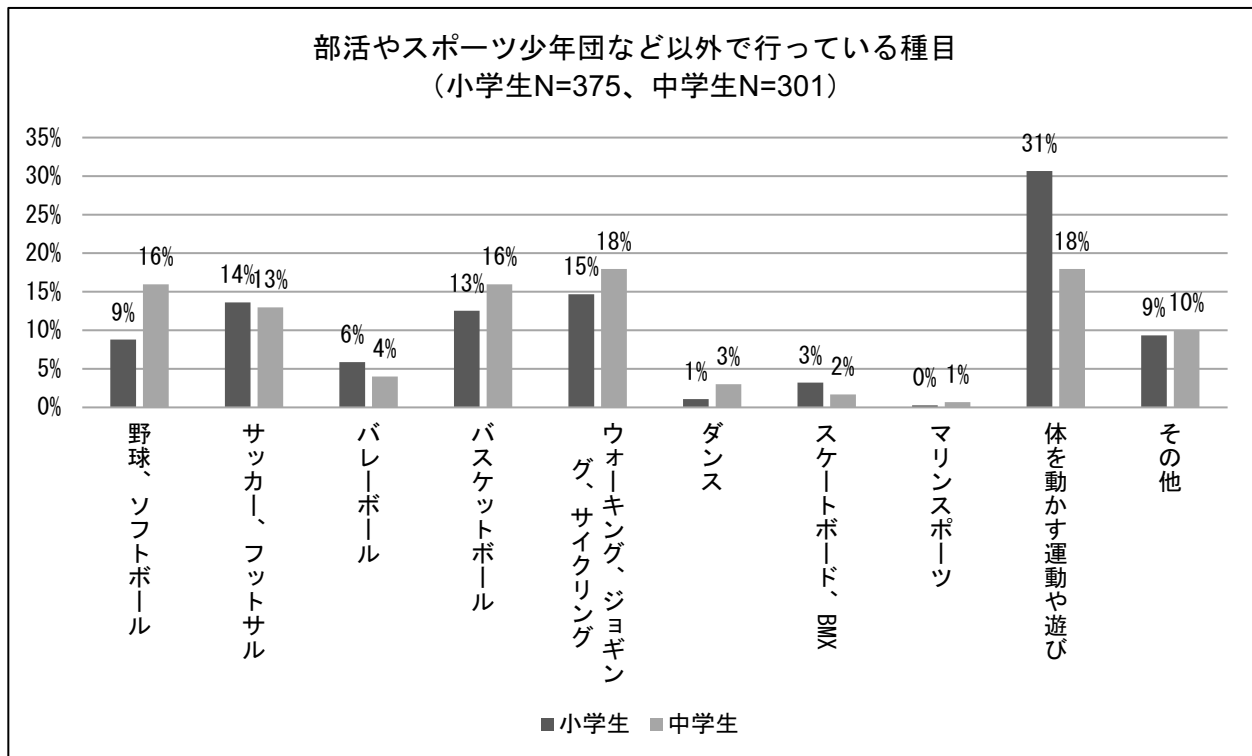
③部活動やスポーツ少年団、スポーツ（運動）教室などの活動以外で運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをだいたいどのぐらいしているか（ひとつだけ選択）

小学生は週に1回以上、部活動等以外で体を動かしている児童が82%なのにならば、中学生では週に1回以上体を動かしている人は60%に留まっています。



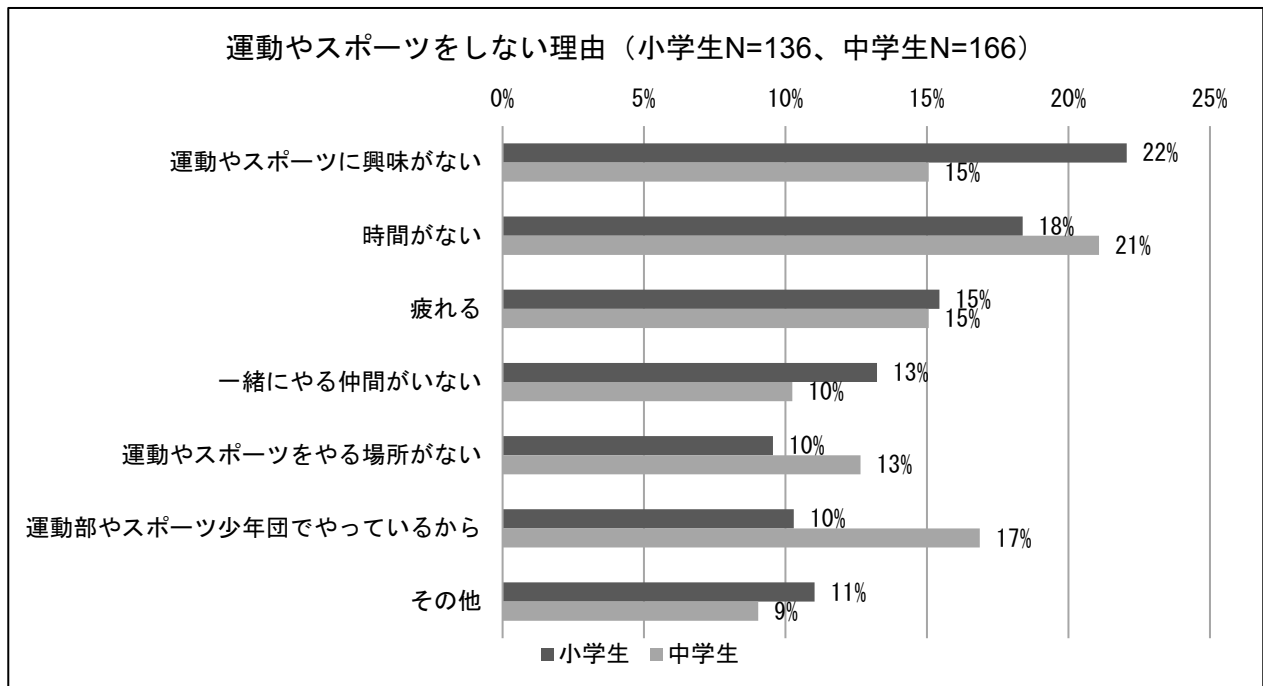
④部活やスポーツ少年団以外でやっている運動やスポーツの種目と場所（あてはまるもの全て選択）

小中学生ともに「体を動かす運動や遊び」が最も多く、行っている場所もさまざまです。次いで、「ウォーキング、ジョギング、サイクリング」の人气が高く、人数に限らず気軽に行うことができるため人気があると考えられます。



⑤部活動やスポーツ少年団、スポーツ（運動）教室などの活動以外で運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをしない理由（あてはまるもの全て選択）

小学生では「スポーツに興味がない」中学生では「時間がない」が最も多いです。また、中学生は小学生に比べ「運動部やスポーツ少年団でやっているから」の割合が多く、部活等の活動頻度がほぼ毎日とした生徒は82%であることから部活動等で行っている以外の種目を行う時間がないことが考えられます。

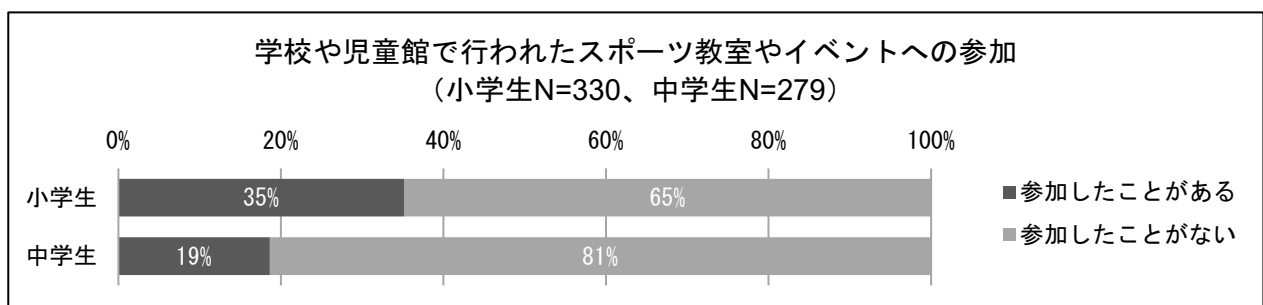


5) 地域のスポーツイベントへの参加について

スポーツ教室やスポーツイベント、スポーツ行事等の参加率は小学生に比べ中学生の参加率が低いです。プロスポーツチームのキャンプや試合を観戦した人の割合は小中学生共に低い一方で、今後参加したいと思うスポーツイベントについては「プロの選手や有名なコーチが教えてくれるイベント」と回答する人の割合が高く、様々な種目でより気軽に参加できるイベントを開催すると中学生の市内イベントや行事への参加率が上がることが考えられます。

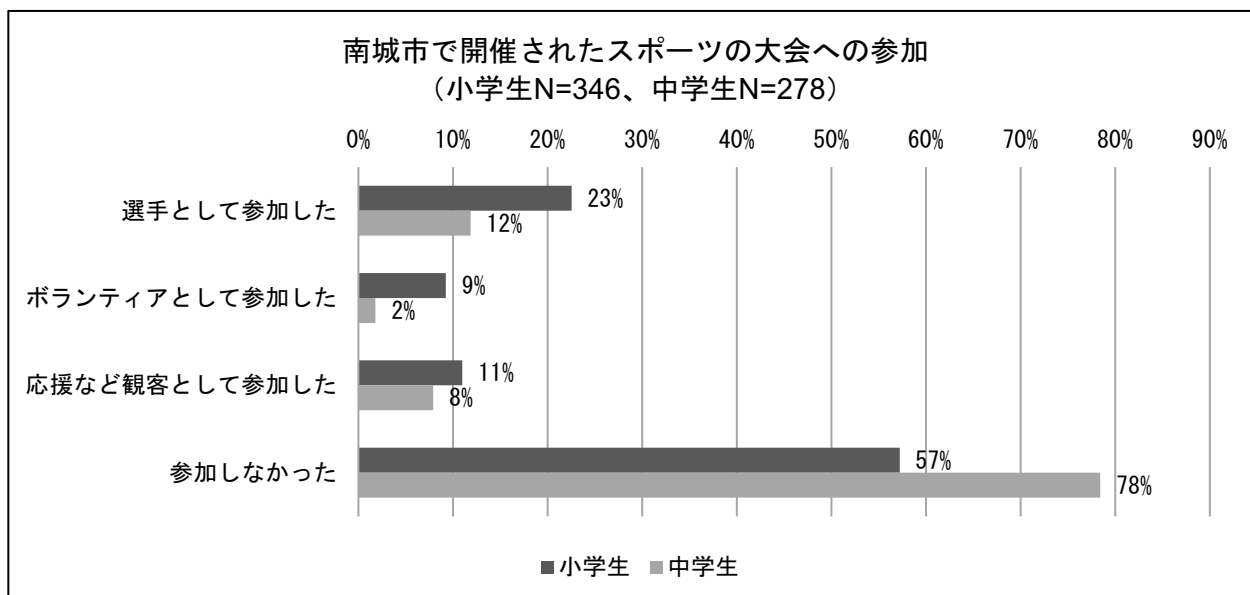
①この1年間に学校や児童館で行われたスポーツ教室やイベントへの参加

小学生、中学生ともに「参加したことがない」の割合が多く、特に中学生は81%が1年間の間に「参加したことがない」と回答しています。



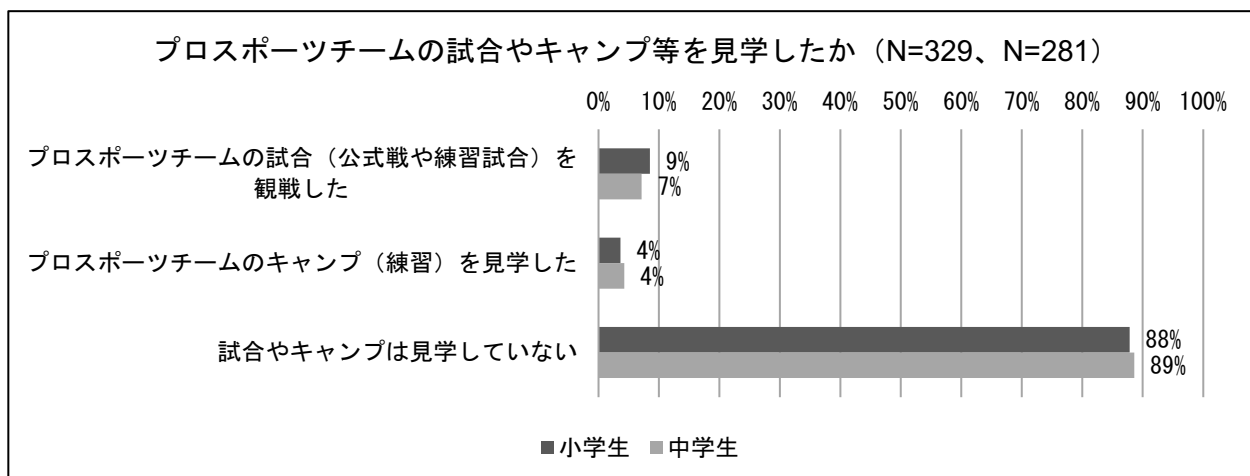
②この1年間に南城市で開催されたスポーツの大会に参加したか（あてはまるもの全て選択）

小中学生ともに半数以上が「参加しなかった」と回答しました。小学生の「選手として参加した」の割合が中学生と比較して多い理由として小学生向けサッカー大会である『なんじいCUP』や体育協会が開催している陸上大会等があることが考えられます。



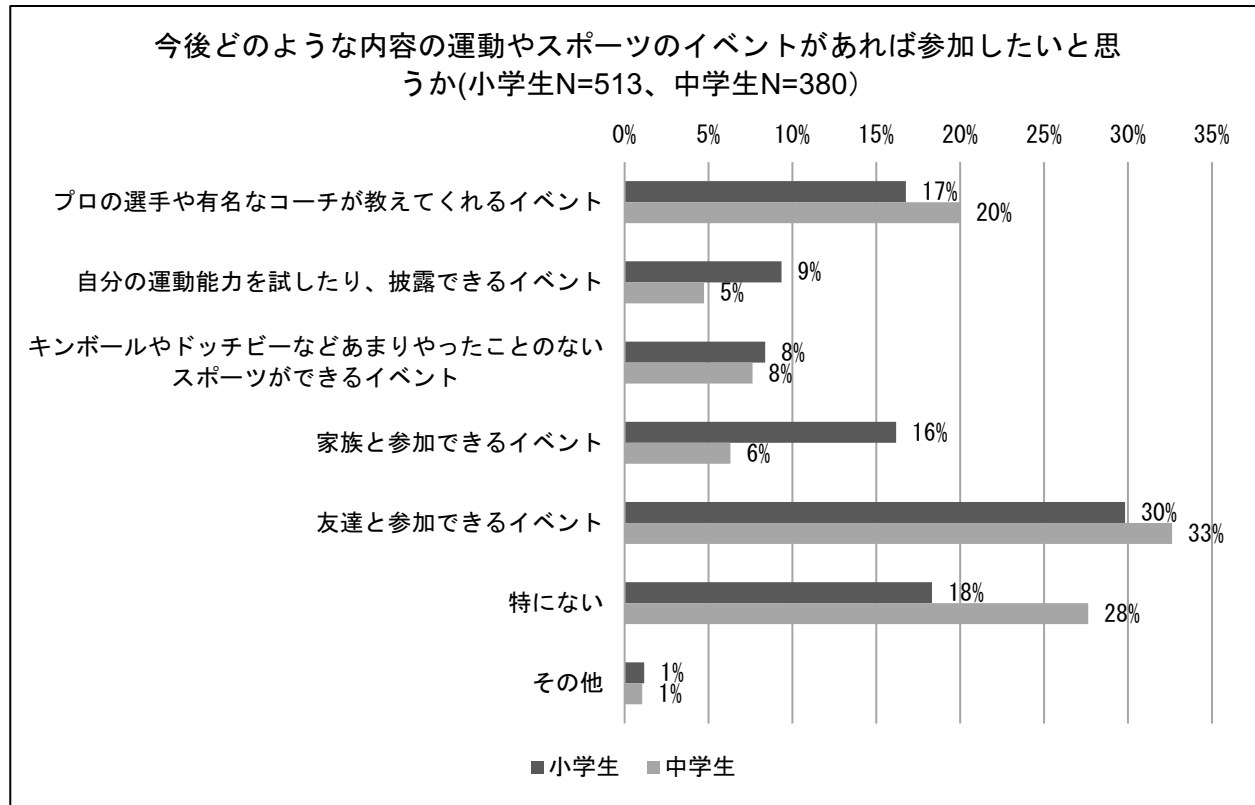
③この1年間に南城市で開催されたプロスポーツチームの試合やキャンプ等の見学について（あてはまるもの全て選択）

小中学生共に「試合やキャンプは見学していない」と回答する人の割合が小中学生ともに約90%で多くの児童生徒が見学を行っていません。



④今後どのような内容の運動やスポーツのイベントがあれば参加したいと思うか（あてはまるもの全て選択）

小中学生共に「友達と参加できるイベント」と回答した人の割合が最も高いです。また、小学生では中学生に比べ「家族と参加できるイベント」と回答する人の割合が2倍以上高いです。



4. 計画策定の体制と経過

(1) 南城市スポーツ推進審議会名簿

氏名	団体名	備考
當山 全章	南城市体育協会 会長	会長
親川 英彦	スポーツ推進委員協議会 会長	
大湾 政芳	スポーツ少年団 本部長	副会長
竹下 晴康	南城市教育委員会 指導主事	
金城 道年	総合型地域スポーツクラブ	
永吉 盛哲	南城市役所市民部長	
城間 みゆき	南城市役所福祉部長	
糸数 義人	南城市役所企画部長	
玉城 勉	南城市土木建築部長	
宮城 正	南城市社会福祉協議会 事務局長	
座間味 洋貴	沖縄県スポーツ協会	

(2) 南城市スポーツ推進計画策定検討部会名簿

氏名	所属・職名
知念 俊樹	都市建設課
比嘉 貴大	健康増進課
生盛 にらい	生きがい推進課
普天間 秀人	子育て支援課
玉寄 兼明	教育指導課 指導主事
仲村 悟	政策調整室
宮城 要	観光商工課
仲村 孝士	企画課
大城 洋介	まちづくり推進課
比嘉 昌代	社会福祉協議会
當山 拓哉	南城市体育協会

(3) 策定経過

年	月 日	内 容 等
令和2年	7月28日	第1回南城市スポーツ推進計画策定検討部会 議事 ・業務の内容について ・市民アンケート、児童・生徒アンケート案について
	8月18日	教育長から諮問
	8月18日	第1回南城市スポーツ推進審議会 議事 ・業務の内容について ・市民アンケート、児童・生徒アンケート案について
	8月31日～ 9月14日	児童・生徒アンケート調査実施
	9月9日～ 10月15日	市民アンケート調査実施
	9月30日～ 10月5日	庁内関係課ヒアリング
	9月30日～ 10月30日	市内スポーツ関連団体ヒアリング
	11月11日	第2回南城市スポーツ推進計画策定検討部会 議事 ・スポーツ推進について課題の整理（案）について
	11月24日	第2回南城市スポーツ推進審議会 議事 ・スポーツ推進について課題の整理（案）について
令和3年	2月10日	第3回南城市スポーツ推進計画策定検討部会 議事 ・施策案について
	2月17日	第4回南城市スポーツ推進審議会 議事 ・施策案について
	3月18日	第4回南城市スポーツ推進計画策定検討部会 議事 ・施策案について ・南城市スポーツ推進計画書について
	3月23日	第5回南城市スポーツ推進審議会 議事 ・施策案について ・南城市スポーツ推進計画書について
	4月1日～ 4月20日	パブリックコメントの実施
	5月11日	教育長へ答申

5. 南城市スポーツ推進計画諮問書・答申書

(1) 諮問書

南教生第395号
令和2年8月18日

南城市スポーツ推進審議会会長 殿

南城市教育委員会
教育長 上原 廣子

南城市スポーツ推進計画策定について（諮問）

南城市スポーツ推進計画の策定について、南城市スポーツ推進審議会規則（平成18年南城市教育委員会規則第38号）第2条の規定により諮問いたします。

諮問事項

南城市スポーツ推進計画策定について

諮問理由

スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条の規定に基づき地方公共団体はスポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画(スポーツ推進計画)を定めるよう努める必要があるため。

(2) 答申書

南 教 生 第 9 0 号
令和 3 年 5 月 1 1 日

南城市教育委員会
教育長 上原 廣子 殿

南城市スポーツ推進審議会
会 長 當 山 全 章

南城市スポーツ推進計画策定について（答申）

令和 2 年 8 月 1 8 日付南教生第 3 9 5 号にて本審議会に諮問のありました
「南城市スポーツ推進計画策定」について、別紙のとおり答申いたします。

